

令和6年度

真和志分教室

年間指導計画

時間割

令和6年度 高等部(真和志分教室) 年間指導計画 目次

Ⅱ 課程Aグループ

科目・学年	ページ
国語1年	真和志分－1
国語2年	真和志分－4
国語3年	真和志分－7
社会1年	真和志分－11
社会2年	真和志分－13
社会3年	真和志分－15
数学1年	真和志分－17
数学2年	真和志分－19
数学3年	真和志分－21
理科1年	真和志分－23
理科2年	真和志分－25
理科3年	真和志分－27
音楽1年	真和志分－29
音楽2年	真和志分－31
音楽3年	真和志分－33
美術1年	真和志分－35
美術2年	真和志分－37
美術3年	真和志分－39

科目・学年	ページ
保健体育1年	真和志分－41
保健体育2年	真和志分－43
保健体育3年	真和志分－45
職業1年	真和志分－48
職業2年	真和志分－50
職業3年	真和志分－52
家庭1～3年	真和志分－54
外国語1年	真和志分－55
外国語2年	真和志分－57
外国語3年	真和志分－59
情報2年	真和志分－61
情報3年	真和志分－62
道徳1～3年	真和志分－63
総合的な探究の時間1年	真和志分－65
総合的な探究の時間2年	真和志分－67
総合的な探究の時間3年	真和志分－69
特別活動1年	真和志分－71
特別活動2年	真和志分－73
特別活動3年	真和志分－75
時間割	真和志分－77

令和6年度 高等部 1年（Ⅱ課程Aグループ） 国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
3/105	ゆい教室1学年 1名		参考図書 『くらしに役立つ国語』 (東洋館出版社)

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に触れることができる。(小2) (思判表力) 言葉が表す事柄を想起したり受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができる。(小3) (学・人) 言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。(小2)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して		(知及技) 日常でよく使われている語句や漢字を読むことができる。(小3ア(ウ)) (思判表力) 学習した語句や漢字を教師と一緒に読んだり、書いたり、表現の幅を広げ、活用することができる。(小2A工) (学・人) 言葉がもつよさを感じるとともに、言葉を使おうとすることができる。(小2)	(知・技) 日常でよく使う語句や漢字を正しい読み方で読もうとしている。 (思・判・表) 簡単な事柄と語句を結び付け、思い浮かべたり、選んだりしている。 (主学) 言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	C読む 新聞や本に親しもう	C読む 新聞や本から興味のある情報を読み取る。
	2	(知及技) 身近な人との会話を通して、言葉には事物の内容を表す働きがあることに気付くことができる。(小3ア(ウ)) (思判表力) 挨拶をしたり、簡単な台詞などを表現したりすることができる。(小2A工) (学・人) 相手に届く声の大きさを考え、適切な言葉遣いで話そうとすることができる。(小2)	(知・技) 身近な人との会話を通して、言葉には事物の内容を表す働きがあることに気付いている。 (思・判・表) 挨拶や受け答えなど、決まった言い方を使っている。 (主学) 適切な言葉遣いで話そうとしている。	A聞く・話す 自己紹介をしよう 他己紹介をしよう	自己紹介・他己紹介をする。 ①自己紹介の素材集め ②自己紹介(発表) ③他己紹介の素材集め(共同学習のペアインタビュー) ④他己紹介(インタビューしたことを発表)
	2	(知及技) 図書室の場所、いろいろな本や図鑑があることを知るができる。(小3Cイ、ウ) (思判表力) 身近な人の話に慣れ、簡単な事柄と語句などを結び付けることができる。(小2Aア) (学・人) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようすることができる。	(知・技) いろいろな本や図鑑があることを知ろうとしている。 (思・判・表) 簡単な事柄と語句を結び付け、思い浮かべたり、選んだりしている。 (主学) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	C読む 図書館オリエンテーション 本を探そう	図書に親しむ ①利用方法や図書室に置いてある本について知る。 ②興味関心のある本を図書室で探す。 ③図書室のマナーを守り、読書をする。
	8	(知及技) 姿勢や口形に気を付けて話すことができる。(小3ア(イ)) (思判表力) 挨拶や受け答えなど、決まった言い方を使うことができる。(小2A工) (学・人) 相手に届く声の大きさを考え、教師や友達へ伝えようすることができる。(小2)	(知・技) 姿勢や口形を見ながら、気を付けて話している。 (思・判・表) 挨拶や受け答えなど、決まった言い方を理解している。 (主学) 相手に届く声の大きさを考え、教師や友達へ伝えようとしている。	A聞く・話す 挨拶や会話をする力を高めよう(共同学習の先生インタビュー)	共同学習の先生方インタビュー 生活の中で使う挨拶、場面に合った言葉遣いや態度について学習する。
	5	(知及技) 出来事や経験したことを伝え合う体験を通して、いろいろな文の表現があることに興味をもつことができる。(小3ウ(イ)) (思判表力) 出来事の写真等を通して、伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声で表すことができる。(小2Aア) (学・人) 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、身振りや音声で伝えようすることができる。(小2)	(知・技) 教師からの言葉に注目し、示された校外学習場面の写真に興味を持っている。 (思・判・表) 校外学習の写真や事物等の話を聞き、伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表している。 (主学) 校外学習に関する場面や事物等の写真を通して、積極的に友達や教師へ思いを伝えようとしている。	A聞く・話す B書く 校外学習を終えて	校外学習について5W1H(いつ、どこで、だれと、なにを、なぜ、どのようにした。)で、そのときの気持ちを想起しながら文を作成したり、写真を並べたりし、発表する。

前期	8	(知及技) いろいろな筆記具を正しく持ち、文字の形に注意しながらなぞったり、書いたりすることができる。 (小2イウ) (思判表力) 自分や先生の名前を仮名や簡単な漢字で表すことができる。(小2Bイ) (学・人) 文字に興味を持ち、書こうとすることができる。(小2)	(知・技) 筆記具の持ち方や姿勢を正し、文字の形に注意しながら書いている。 (思・判・表) 自分や先生の名前を仮名や簡単な漢字で表そうとしている。 (主学) 友達や先生の名前に関心を持ち、読み書きしようとしている。	B書く 新聞を作ろう	共同学習の教科担当の先生へインタビューをした写真や行事の写真を新聞へ貼ったり、書いたりして新聞作成をする。
	4	(知及技) 教師と一緒に読み聞かせなどに親しみ、いろいろな本や資料があることを知ることができる。(小2イア) (思判表力) 読み聞かせなどを通して、出来事など話の大体を聞き取ることができる。(小2AA) (学・人) 平和に関する資料に関心を持つ態度を養う。(小2)	(知・技) 教師と一緒に読み聞かせなどに親しみ、いろいろな本や資料があることを理解している。 (思・判・表) 読み聞かせなどを通して、出来事など話の大体を聞き取っている。 (主学) 平和に関する資料に関心を持つとしている。	A聞く・話す C読む 平和学習	平和のために貢献した人物について、本や資料をみて学ぶ。
	4	(知及技) はがきの「あて名」や文面の正しい書き方を知ることができる。 (小2イウ) (思判表力) 身近なことについて、伝えたいことを思い浮かべたり選んだりすることができる。(小2BA) (学・人) 言葉によって自分の思いや考えを持ち、伝えようすることができる。(小2)	(知・技) はがきの「あて名」や文面の正しい書き方を理解している。 (思・判・表) 身近なことについて、伝えたいことを思い浮かべたり選んだりする。 (主学) 言葉によって自分の思いや考えを持ち、伝えようとしている。	B書く 手紙の書き方① (お礼の手紙・暑中見舞い)	校外学習等でお世話になった方へ感謝の気持ちを込めて手紙を書いたり、暑中見舞いを作成したりし、投函する。
	4	(知及技) 出来事や経験したことを伝え合う体験を通して、いろいろな語句や文の表現に触れることができる。 (小2イア) (思判表力) 体験したことなどについて、伝えたいことを考えることができる。(小2AA) (学・人) 体験したことを振り返り、出来事などについて伝え合おうとすることができる。(小2)	(知・技) 出来事や経験したことを伝え合う体験を通して、いろいろな語句や文の表現に触れている。 (思・判・表) 体験したことなどについて、伝えたいことを考えている。 (主学) 体験したことを振り返り、出来事などについて伝え合おうとしている。	夏休みの思い出	夏休みの出来事を振り返り、写真等の画像を取り込んだスライドを活用して発表する。
	10	(知及技) 読み聞かせなどに親しみ、いろいろな本や資料があることを知ることができる。(小2イア) (思判表力) 本などを見て、好きな場面を伝えることができる。(小2CE) (学・人) 読書に親しみ、言葉や言葉でのやり取りのよさを感じようとするることができる。(小2)	(知・技) 読み聞かせなどに親しみ、いろいろな本や資料があることを理解している。 (思・判・表) 本などを見て、好きな場面や好きな言葉を考えて教師や友だちに伝えようとしている。 (主学) 読書に親しんだり、文字を書くことへの興味・関心を持つとしている。	A聞く・話す B書く C読む 本に親む (ブックレビューを書く)	ブックレビューを書くための、次の学習活動を行う。 ①読み聞かせ ②読書 ③ブックレビューを書く。
	6	(知及技) 昔話や伝承などの読み聞かせを聞いたり、正しい姿勢で音読したりすることができる。(小3段階ア力)、ウ(ア)) (思判表力) 生活に身近な方言に慣れ、簡単な事柄と語句などを結び付けたり、語句などから事柄を思い浮かべたりすることができる。(小2AA) (学・人) 地域の昔話や方言に関心を持ち、沖縄の文化を理解しようとするることができる。(小2)	(知・技) 言葉の響きやリズム、明瞭な発音などに注意して文章を読んでいる。 (思・判・表) 生活に身近な方言に慣れ、簡単な事柄と語句とを結び付けている。 (主学) 地域の昔話や方言に関心を持ち、沖縄の文化を理解しようとしている。	A聞く・話す しまくとぅばの日 (昔話・しまくとぅばカルタ)	沖縄の昔話やしまくとぅばのカルタを活用し、生活に身近な方言について学習する。
	9	(知及技) 詩や俳句、川柳の言葉の響きやリズムに親しむことができる。(小3ウ(ア)) (思判表力) 伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすることができる。(小2BA) (学・人) 詩や俳句、川柳を通して、言葉のリズムに親しもうとすることができる。(小2)	(知・技) 詩や俳句、川柳の、言葉の響きやリズムに親しんでいる。 (思・判・表) 伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりしようとしている。 (主学) 言葉のリズムに親しもうとしている。	A聞く・話す B書く 言葉遊びと創作	詩や俳句、川柳を鑑賞する。 詩や川柳を創作する。
	4	(知及技) はがきの「あて名」や文面の正しい書き方を知ることができる。 (思判表力) 身近なことについて、伝えたいことを思い浮かべたり選んだりすることができる。(小2BA) (学・人) 言葉によって自分の思いや考えを持ち、伝えようすることができる。(小2)	(知・技) はがきの「あて名」や文面の正しい書き方を理解している。 (思・判・表) 身近なことについて、伝えたいことを思い浮かべたり選んだりする。 (主学) 言葉によって自分の思いや考えを持ち、伝えようとしている。	B書く 手紙の書き方② (お世話になった方へ感謝の手紙・年賀状)	共同学習や実習等でお世話になった方々への感謝の手紙を書く。 年賀状を作成する。

後期	2	(知及技) 伝統的な日本の年始文化を知ることができる。 (思判表力) 簡単な指示や説明を聞き、その指示等に応じた行動をすることができる。(小2 Aイ) (学・人) かるた遊びや百人一首などの日本古来の遊びに関心を持つことができる。(小2)	(知・技) 伝統的な日本の年始文化について理解している。 (思・判・表) 簡単な指示や説明を聞き、その指示等に応じた行動をしようとしている。 (主学) かるた遊びや百人一首などの日本古来の遊びに関心を持っている。	A聞く・話す 日本の文化に親しもう	かるたや福笑い等、日本の正月遊びをする。
	5	(知及技) 姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら丁寧に書くことができる。(小2イウ) (思判表力) 書きたいことや伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすることができる。(小2 Bア) (学・人) 毛筆に興味を持ち、書こうとすることができる。(小2)	(知・技) 正しい姿勢や筆の持ち方に留意し、文字の形を意識して書こうとしている。 (思・判・表) 書きたいことや伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりしている。 (主学) 毛筆に興味を持ち、書こうとしている。	B書く 書き初め(今年の一字)	毛筆による創作に取り組む。
	6	(知及技) 表示や標識に使われている語句を読み、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付くことができる。(小3アエ) (思判表力) 日常生活でよく使われている表示などの特徴に気付き、読もうとしたり、表された意味に応じた行動をしたりすることができる。(小2 Cウ) (学・人) 生活に身近な表示や標識に関心を持ち、その意味を考えることができる。(小2)	(知・技) 表示や標識に使われている語句を読み、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付いている。 (思・判・表) 身の回りの表示を見てその特徴に気づいたり、表示に応じた行動をしようとしたりしている。 (主学) 生活に身近な表示や標識に関心を持ち、その意味を考えようとしている。	C読む 身近な表示	校内外の表示や標識の意味や内容を学ぶ。
	12	(知及技) 日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ることができる。(小3アウ) (思判表力) 教師と一緒に絵本などを見て、登場するものを思い浮かべたり、大体を捉えたりすることができる。(小2 Cアイ) (学・人) 語句を読んだり物語に親しんだりすることができる。(小2)	(知・技) 日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字などを読んでいる。 (思・判・表) 絵本などを見て、登場するものを思い浮かべたり、大体を捉えたりしようとしている。 (主学) 語句を読んだり物語に親しんだりしようとしている。	A聞く・話す C読む いろいろな話を読もう	物語を読んで、話の内容を楽しみながら文字の学習をしたり読解に取り組んだりする。
	14	(知及技) 身近な人との会話を通して、見聞きしたり、体験したりしたことを表す言葉の意味と行動を結びつけることができる。(小3アウ) (思判表力) 場面や行動についてイメージしたことを言葉や動作で表すことができる。(小2 Aエ) (学・人) 感じ取ったことを伝えようとするすることができる。(小2)	(知・技) 身近な人との会話を通して、言葉には事物の内容を表す働きがあることに気付いている。 (思・判・表) 場面や行動についてイメージしたことを言葉や動作で表そうとしている。 (主学) 感じ取ったことを言葉や動作で伝えようとしている。	A聞く・話す B書く C読む 表現力を高めよう 後期の振り返り 作品集作り	国語の授業のスライドを見て、これまでの作品集を作る。 ①自分自身の毎時間の振り返り表を見る。 ②できたこと、次の学年へ向けての課題についてメモ書きする。 ③課題解決のための計画を立てる。 ④スライドを作成し、まとめたことを発表する。 ⑤これまで取り組んできたプリントや作品を製本する。
留意点 引継ぎ等	年間を通じて、真和志高等学校との交流及び共同学習を行い、障害の有無に関わらず共に学ぶ経験を重ね、社会性を養う。				

令和6年度 高等部2年（Ⅱ課程Aグループ）国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
3/105		ゆい教室2学年 1名			『くらしに役立つ国語』 (東洋館出版社)
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技) 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に触れ、親しむことができる。(小3) (思判表力) 出来事の順序を思い出す力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を身に付け、思い付いたり考えたりすることができる。(小3) (学・人) 言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。(小3)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して		(知及技) 日常でよく使われている語句や漢字を読むことができる。(小3アウ) (思判表力) 文などに対して感じたことを伝えること。(小3B工) (学・人) 言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようすることができる。(小3)	(知・技) 日常でよく使う語句や漢字を正しい読み方で読もうとしている。 (思・判・表) 簡単な事柄と語句を結び付け、思い浮かべたり、選んだりしている。 (主学) 言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	B書く C読む 新聞や本に親しもう 語句や漢字の読み書き	B書く C読む ①新聞や本から興味のある情報を読み取る。 ②日常でよく使われる語句や漢字の読み書きに取り組む。
	8	(知及技) 日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ることができる。(小3アウ) (工) (思判表力) 挨拶など決まった言い方を使うことができる。(小3A工) (学・人) 言葉がもつよさを感じるとともに、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようすることができる。(小3)	(知・技) 日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を理解しようとしている。 (思・判・表) 挨拶など決まった言い方を使うとしている。 (主学) 言葉がもつよさを感じるとともに、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	A聞く・話す 自己紹介をしよう 他己紹介をしよう B書く 表記と言葉(誤りやすい表記)	自己紹介・他己紹介をする。 ①自己紹介の素材集め ②自己紹介(発表) ③他己紹介の素材集め(共同学習のペアインタビュー) ④他己紹介(インタビューしたことを発表) ⑤仮名遣い、送り仮名、漢字の学習
	3	(知及技) いろいろな本や図鑑があることを知ることができる。(小3イイ)、ウ(工) (思判表力) 易しい読み物などを読み、時間的な順序など内容の大体を捉えることができる。(小3Cイ) (学・人) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。	(知・技) いろいろな本や図鑑があることを知ろうとしている。 (思・判・表) 易しい読み物などを読み、時間的な順序など内容の大体を捉えようとしている。 (主学) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	A聞く・話す C読む 図書館オリエンテーション 各分類からおすすめの本を探そう	図書に親しむ ①利用方法や図書室に置いてある本について知る。 ②各分類から興味関心のある本を図書室で探す。 ③本を読み、おすすめの場面を紹介する。
	4	(知及技) 普通の言葉との違いに気を付けて、丁寧な言葉を使うことができる。(中1ア(力)) (思判表力) 挨拶や受け答えなど、決まった言い方を使うことができる。(小3A工) (学・人) 相手に届く声の大きさを考え、教師や友達へ伝えようすることができる。(小3)	(知・技) 丁寧語を使って話している。 (思・判・表) 挨拶や受け答えなど、決まった言い方を使うとしている。 (主学) 相手に届く声の大きさを考え、教師や友達へ伝えようとしている。	A聞く・話す 挨拶や会話をする力を高めよう「共同学習の先生方インタビュー」	共同学習の先生方インタビュー ①生活の中で使う挨拶、場面に合った言葉遣いや態度について学習する。 ②聞きたいことをメモにまとめておく ③先生方へ丁寧な言葉を使ってインタビューをする。 ④メモを利用してまとめる。

前期	4	(知・技) 出来事や経験したことを伝え合う体験を通して、いろいろな語句や文の表現に触れることができる。(小3ウ(イ)) (思判表力) 経験したことを思い浮かべ、伝えたいことを考えることができる。(小3 Aイ) (学・人) 自分の経験した思いや考えを相手にわかりやすく伝えようとするることができる。(小3)	(知・技) 「最初に」「次に」「最後に」など事柄の順序を表す言葉について理解している。 (思・判・表) 校外学習の写真から想起し、伝えたいことを考え、大まかにまとめている。 (主学) 自分の経験した思いや考えを伝えようとしている。	A聞く・話す B書く 順序立てて書く 「校外学習を終えて」	校外学習について作文を書く。 ①写真などを見ながら順序立てて、そのときの気持ちを想起する。 ②主語、述語、接続詞を用いて文を作成したり写真を並べたりし、お互い発表し合う。
	5	(知・技) 姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら丁寧に書くことができる。(小3ウ(ウ)) (思判表力) 身近で聞かされたこと、経験したことについて書きたいことを見つけ、その題材に必要なことを集めることができる。(小3 Bア) (学・人) 言葉が持つよさを感じるとともに、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとするすることができる。(小3)	(知・技) 筆記具の持ち方や姿勢を正し、文字の形に注意しながら丁寧に書いている。 (思・判・表) インタビューで集めた情報から、伝えたいことを考え、書くことをまとめている。 (主学) まとめた情報を新聞で伝えようとしている。	B書く 先生の紹介新聞を作ろう	wordを活用して、共同学習の教科担当の先生へインタビューをした写真や情報を入力して新聞作成をする。
	5	(知・技) いろいろな本や資料があることを知る。(小2イ(ア)) (思判表力) 読み聞かせなどを通して、出来事など話の大体を聞き取ることができる。(小3 Aア) (学・人) 平和に関する資料に関心を持ち、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとするすることができる。(小3)	(知・技) 教師と一緒に読み聞かせなどに親しみ、いろいろな本や資料があることを理解している。 (思・判・表) 読み聞かせなどを通して、出来事など話の大体を聞き取っている。 (主学) 平和に関する資料に関心を持ち、感じたことを伝えようとしている。	A聞く・話す C読む 平和学習	DVDや本で平和に関する資料をみて、命について考える。
	8	(知・技) 出来事や経験したことを伝え合う体験を通して、いろいろな語句や文の表現に触れることができる。(小3ウ(イ)) (思判表力) 書いた語句や文を読み、間違いを正すことができる。(小3 Bエ) (学・人) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとするすることができる。(小3)	(知・技) 書き言葉の特徴や表現の特色について理解を深めている。 (思・判・表) 読み手を意識し丁寧な文字で書くとしている。 (主学) 読み手の顔を浮かべながら、暑中見舞いを書こうとしたり、お礼の手紙を書こうとしたりしている。	B書く 暑中見舞いを書く お礼の手紙を書く	①ハガキの書き方について確認する。 ②暑中見舞いを書く。 ③暑中見舞いと残暑見舞いの違いを知る。 ④手紙の書き方(前文・主文・末文・後付)について例文に沿って書く。
	7	(知・技) 身近な人との会話や読み聞かせを通して、言葉には事物の内容を表す働きがあることに気付くことができる。(小3ア(ア)) (思判表力) 経験したことを思い浮かべ、伝えたいことを考えることができる。(小3 Aイ) (学・人) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとするすることができる。(小3)	(知・技) 身近な人との会話や読み聞かせを通して、言葉には事物の内容を表す働きがあることに気付いている。 (思・判・表) 経験したことを思い浮かべ、伝えたいことを考えようとしている。 (主学) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	A聞く話す B書く 常体と敬体 「夏休みの思い出」	①楽しかった夏休みの写真などを見て、経験したことを思い浮かべ、時系列にメモを書く。 ②文末表現(常体と敬体)を統一する。 ③夏休みの思い出をお互いに発表し合う。
	4	(知・技) 電子辞書や図書を用いた調べ方を理解して使うことができる。(小3イ(イ)) (思判表力) 調べた語句について理解し、短い文を書くことができる。(小3 Bウ) (学・人) 電子辞書を活用して語句を調べようとする。(小3)	(知・技) 電子辞書や図書を用いた調べ方を理解して使っている。 (思・判・表) 調べた語句について理解し、短い文を書いている。 (主学) 電子辞書を活用して語句を調べようとしている。	辞典で探そう	カタカナ言葉、類義語、対義語について、わからない漢字を電子辞書を活用して学ぶ。

		(知・技) 姿勢や口形に気を付けて話すことができる。(小3ア(イ)) (思判表力) 言葉の受け答えなど、決まった言い方を使うことができる。(小3 Aエ) (学・人) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようすることができる。(小3)	(知・技) 方言の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、表現や言葉遣いについて理解している。 (思・判・表) 身近な言葉を方言に置き換えて、話し方を工夫しようとしている。 (主学) 相手に伝わるように積極的に方言を使うようとしている。	A聞く・話す しまくとぅばの日常言葉遊び(ことわざ)	①挨拶などの身近な方言について調べる。 ②相手や目的、場面に応じた方言について学ぶ。 ②黄金言葉「ことわざ」について調べて、一つ作品紹介をする。
後期	10	(知・技) 日本の名作の読み聞かせを聞き、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(小3ウ(ア)) (思判表力) 易しい読み物などを読み、登場人物の行動や場面の様子などを想像することができる。(小3 Cア、イ) (学・人) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようすることができる。(小3)	(知・技) 読み聞かせや範読を聞き、図書に親しもうとしている。 (思・判・表) 登場人物に着目し、時系列に気を付けながら場面を想像しようとしている。 (主学) 言葉が持つよさを感じるとともに、分かったことや思ったことを説明しようとしている。	C読む 『蜘蛛の糸』	①範読を聞き音読する。 ②登場人物について学ぶ。 ③登場人物の行動から気持ちや思いを読み取る。 ④感想を発表し合う。 ⑤物語の続きを創作する。
	7	(知・技) 出来事や経験したことを伝え合う体験を通して、いろいろな語句や文の表現に触れることができる。(小3ウ(イ)) (思判表力) 見聞きたり、経験したりしたことについて、簡単な語句や短い文を書くことができる。(小3 Bウ) (学・人) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようすることができる。(小3)	(知・技) 出来事や経験したことを伝え合う体験を通して、いろいろな語句や文の表現に触れようとしている。 (思・判・表) 見聞きたり、経験したりしたことについて、簡単な語句や短い文を書くようとしている。 (主学) 言葉が持つよさを感じるとともに、読み手を浮かべながら、年賀状を書くようとしている。	B書く 年賀状を書く	年賀状を書く。 ①送る相手を決める。 ②年賀状の特徴について知る。 ③年賀状を清書する。
	7	(知・技) 目的に合った筆記用具を選び、書くことができる。(小3ウ(ウ)ア) (思判表力) 書いた文字のバランスを見ながら文を読み返し、間違いを正すことができる。(小3 Bエ) (学・人) 運筆の基本(とめ、はね、はらい)に沿って、作品を丁寧に書くことができる。(小3)	(知・技) 目的に合った筆記用具を選び、書くようとしている。 (思・判・表) 書いた文字のバランスを見ながら文を読み返し、間違いを正そうとしている。 (主学) 運筆の基本(とめ、はね、はらい)に沿って、一筆一筆丁寧に書くようとしている。	B書く 書き初め 「半切サイズに挑戦」	①書く言葉を決める ②書く時の姿勢や筆記用具の持ち方について知る。 ③運筆に気をつけ、字のバランスを整えながら、下書きをする。 ④お手本を見ながら清書をする。
	6	(知・技) 日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ることができる。(小3ア(ウ)) (思判表力) 日常生活に必要な語句や文、看板などを読み、必要な物を選んだり行動したりすることができる。(小3 Cウ) (学・人) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようすることができる。(小3)	(知・技) 日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ろうとしている。 (思・判・表) 日常生活に必要な語句や文、看板などを読み、必要な物を選んだり行動したりしようとしている。 (主学) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	C読む 看板やいろいろな標識を読む	①挿絵をヒントにどのような行動が求められているのか考える。 ②校内外にある立て札、標識を探し、それらが求めている行動について考えたりする。 ③校内外で集めた情報を共有する。
	8	(知・技) 文の中における主語と述語との関係や助詞の使い方により、意味が変わることに気付くことができる。(小3ア(オ)) (思判表力) 身近で見聞きたり、経験したりしたことについて書きたいことを見つけ、その題材に必要な事柄を集めることができる。(小3 Bア) (学・人) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようすることができる。(小3)	(知・技) 文の中における主語と述語との関係や助詞の使い方により、意味が変わることに気付いている。 (思判表力) 身近で見聞きたり、経験したりしたことについて書きたいことを見つけ、その題材に必要な事柄を集めようとしている。 (学・人) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	B書く 手紙を書く	一年間でお世話になった先生へ手紙を書く ①手紙に書く主文を考える。 ②手紙の例に沿って、下書きをする。 ③一字一字丁寧に清書をする。
	13	(知・技) 身近な人との会話を通して、見聞きたり、体験したりしたことを表す言葉の意味と行動を結びつけることができる。(小3ア(ウ)) (思判表力) 経験したことを思い浮かべ、伝えたいことを考えることができる。(小3 Aイ) (学・人) 自分の思いや考えを伝えたり受け止めたりしようすることができる。(小3)	(知・技) 身近な人との会話を通して、言葉には事物の内容を表す働きがあることに気付いている。 (思・判・表) 場面や行動についてイメージしたことを言葉や動作で表そうとしている。 (主学) 自分の思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	A聞く・話す B書く C読む 表現力を高めよう 後期の振り返り 作品集作り	国語の授業のスライドを見て、これまでの作品集を作る。 ①自分自身の毎時間の振り返り表を見る。 ②できたこと、次の学年へ向けての課題についてメモ書きする。 ③課題解決のための計画を立てる。 ④スライドを作成し、まとめたことを発表する。 ⑤これまで取り組んできたプリントや作品を製本する。
	留意点 引継ぎ等	年間を通じて、真和志高等学校との交流及び共同学習を行い、障害の有無に関わらず共に学ぶ経験を重ね、社会性を養う。			

令和6年度 高等部3年（Ⅱ課程Aグループ）国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
3/105	ゆい教室3学年 2名		『くらしに役立つ国語』 (東洋館出版社)

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 日常生活や社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しむことができる。 (中1) (思判表力) 出来事の順序を思い出す力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を身に付け、思い付いたり考えたりすることができる。(小3) (学・人) 言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。 (小3)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して		(知及技) 日常でよく使われている語句や漢字を読むことができる。(小3アウ) (思判表力) 文などに対して感じたことを伝えること。(小3B工) (学・人) 言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようすることができる。(小3)	(知・技) 日常でよく使う語句や漢字を正しい読み方で読もうとしている。 (思・判・表) 簡単な事柄と語句を結び付け、思い浮かべたり、選んだりしている。 (主学) 言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	B書く C読む 新聞や本に親しもう 語句や漢字の読み書き	B書く C読む ①新聞や本から興味のある情報を読み取る。 ②日常でよく使われる語句や漢字の読み書きに取り組む。
		(知及技) 日常生活や社会生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ることができる。(小3アウ)(工) (思判表力) 挨拶や発表の始まり、終わりなど決まった言い方を使うことができる。(小3A工) (学・人) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようすることができる。	(知・技) 日常生活や社会生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を理解しようとしている。 (思・判・表) 挨拶など決まった言い方を使おうとしている。 (主学) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	A聞く・話す 自己紹介 他己紹介 挨拶と会話 (場面や相手によって違う挨拶の練習)	自己紹介・他己紹介をする。 ①自己紹介の素材集め ②自己紹介(発表) ③他己紹介の素材集め(共同学習のペアインタビュー) ④他己紹介(インタビューしたことを発表) ⑤挨拶のオアシス(おはようございます。ありがとうございます。失礼します。すみません。)についてロールプレイ後、実践する。
		(知及技) いろいろな本や図鑑があることを知ることができる。(小3イ)(イ)、ウ(工) (思判表力) 易しい読み物などを読み、時間的な順序など内容の大体を捉えることができる。(小3Cイ) (学・人) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようすることができる。	(知・技) いろいろな本や図鑑があることを知ろうとしている。 (思・判・表) 易しい読み物などを読み、時間的な順序など内容の大体を捉えようとしている。 (主学) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	A聞く・話す C読む 図書館オリエンテーション 各分類からおすすめの本を探そう	図書に親しむ ①図書室の利用方法について司書の先生と確認する。 ②各分類から興味関心のある本を図書室で探す。 ③本を読み、おすすめの場面を紹介する。

前期	8	(知及技) 普通の言葉との違いに気を付けて、丁寧な言葉を使うことができる。(中1ア(力)) (思判表力) 挨拶や受け答えなど、決まった言い方を使うことができる。(小3 A工) (学・人) 相手に届く声の大きさを考え、教師や友達へ伝えようとするができる。(小3)	(知・技) 丁寧語を使って話している。 (思・判・表) 挨拶や受け答えなど、決まった言い方を使おうとしている。 (主学) 相手に届く声の大きさを考え、教師や友達へ伝えようとしている。	A聞く・話す 挨拶と敬語 「共同学習の先生ヘインタビュー」	共同学習の先生方ヘインタビュー ①生活の中で使う挨拶、場面に合った言葉遣いや態度について学習する。 ②先生方へ丁寧な言葉を使ってインタビューをする。 ③iPadでスライドを作成してまとめる。
	6	(知及技) 封筒や文書の正しい書き方を知ることができる。 (思判表力) 身近で見聞きしたり、経験したりしたことについて書きたいことを見つけ、その題材に必要な事柄を集めることができる。(小3 Bア) (学・人) 言葉によって自分の思いや考えを伝えようとするができる。(小3)	(知・技) 封筒や文書の正しい書き方を理解している。 (思・判・表) 身近で見聞きしたり、経験したりしたことについて書きたいことを見つけ、その題材に必要な事柄を集めている。 (主学) 言葉によって自分の思いや考えを伝えようとしている。	B書く お礼状作成	就業体験の実習先に宛てて、お礼の手紙を書く。
	6	(知及技) 出来事や経験したことを伝え合う体験を通して、色々な語句や文の表現に触れることができる。(小3ウ(イ)) (思判表力) 書いた語句や文を読み、間違いを正すことができる。伝えたいことをまとめることができる。(小3 B工) (学・人) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとすることができる。	(知・技) 書き言葉の特徴や表現の特色について理解を深めている。 (思・判・表) 「書くこと」において、読み手を意識し丁寧な文字で書こうとしている。 (主学) 例を参考にしながら、積極的に暑中見舞いを書こうとしている。	B書く 暑中見舞いを書く	①ハガキの書き方について確認する。 ②季節にあった言葉を調べ、暑中見舞いを書く。
	10	(知及技) 読み聞かせなどに親しみ、いろいろな本や資料があることを知ることができる。(小3ウ(工)) (思判表力) 本などを見て、音読することができる。(小3 C工) (学・人) 読書に親しみ、言葉や言葉でのやり取りのよさを感じようとすることができる。	(知・技) 読み聞かせなどに親しみ、いろいろな本や資料があることを理解している。 (思・判・表) 本などを見て、音読しようとしている。 (主学) 読書に親しんだり、文字を書くことへの興味・関心を持とうとしている。	本に親しむ (私のおすすめの本を紹介する)	自分のおすすめの本を1冊選んで読み、ブックレビューを書く。
	5	(知及技) 昔話や伝承などの読み聞かせを聞いたり、正しい姿勢で音読したりすることができる。(小3段階ア(力)、ウ(ア)) (思判表力) 生活に身近な方言に慣れ、簡単な事柄と語句などを結び付けたり、語句などから事柄を思い浮かべたりすることができる。(小2 Aア) (学・人) 地域の昔話や方言に関心を持ち、沖縄の文化を理解しようとすることができる。	(知・技) 言葉の響きやリズム、明瞭な発音などに注意して文章を読んでいる。 (思・判・表) 生活に身近な方言に慣れ、簡単な事柄と語句などを結び付けたり、語句などから事柄を思い浮かべたりしようとしている。 (主学) 地域の昔話や方言に関心を持ち、沖縄の文化を理解しようとしている。	A聞く・話す しまくとぅばの日常言葉遊び(ことわざ)	沖縄の昔話や生活に身近な方言について学習する。
	6	(知及技) 俳句や川柳の、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(小3ウ(ア)) (思判表力) 身近で見聞きしたり、経験したりしたことについて書きたいことを見つけ、その題材に必要な事柄を集めること。(小3 Bア) (学・人) 俳句や川柳を通して、五七調の言葉のリズムに親しもうとすることができる。	(知・技) 俳句や川柳の、言葉の響きやリズムに親しんでいる。 (思・判・表) 身近で見聞きしたり、経験したりしたことについて書きたいことを見つけ、その題材に必要な事柄を集めている。 (主学) 五七五音の言葉のリズムに親しもうとしている。	俳句と川柳	俳句と川柳を鑑賞する。 川柳を創作する。

後期	4	(知及技) 封筒や文書の正しい書き方を知ることができる。 (思判表力) 身近で見聞きたり、経験したりしたことについて書きたいことを見つけ、その題材に必要な事柄を集めることができる。(小3 B ア) (学・人) 言葉によって自分の思いや考えをもち、伝えようとするができる。	(知・技) 封筒や文書の正しい書き方を理解している。 (思・判・表) 身近で見聞きたり、経験したりしたことについて書きたいことを見つけ、その題材に必要な事柄を集めている。 (主学) 言葉によって自分の思いや考えをもち、伝えようとしている。	B書く お礼状作成	就業体験の実習先に宛てて、お礼の手紙を書く。
	5	(知及技) 出来事や経験したことを伝え合う体験を通して、いろいろな語句や文の表現に触れることができる。(小3 ウ(イ)) (思判表力) 見聞きたり、経験したりしたことについて、簡単な語句や短い文を書くことができる。決まった挨拶を使うことができる。(小3 B ウ) (学・人) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようすることができる。	(知・技) 出来事や経験したことを伝え合う体験を通して、いろいろな語句や文の表現に触れようとしている。 (思・判・表) 見聞きたり、経験したりしたことについて、簡単な語句や短い文を書くようとしている。 (主学) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	B書く C読む 年賀状を書く 『干支のはじまり』	年賀状を書く。 ①送る相手を決める。 ②年賀状の特徴について知る。 ③『干支のはじまり』を読み、干支を順序よく唱える。
	2	(知及技) 伝統的な日本の年始文化を知ることができる。 (思判表力) 簡単な指示や説明を聞き、その指示等に応じた行動をすることができる。(小2 A イ) (学・人) かるた遊びや百人一首などの日本古来の遊びに関心を持つことができる。	(知・技) 伝統的な日本の年始文化について理解している。 (思・判・表) 簡単な指示や説明を聞き、その指示等に応じた行動をしようとしている。 (主学) かるた遊びや百人一首などの日本古来の遊びに関心を持っている。	A聞く・話す C読む 日本の文化に親しもう	かるた、百人一首など、日本の正月遊びをする。
	8	(知及技) 目的に合った筆記用具を選び、書くことができる。また、筆記用具の特徴を知ることができる。(小3 ウ(ウ)ア) (思判表力) 書いた文字や文を読み返し、間違いを正すことができる。自分の書きたいものを選び、表現することができる。(小3 B エ) (学・人) 言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようすることができる。	(知・技) 目的に合った筆記用具を選び、書くようとしている。 (思・判・表) 書いた文字や文を読み返し、間違いを正そうとしている。 (主学) 言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	B書く 書き初め	毛筆による創作に取り組む。 ①書く時の姿勢や筆記用具の持ち方について知る。 ②書きたい文字をイメージして、文字の大きさや線の太さについて考える。
	6	(知及技) 表示や標識に使われている語句を読み、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付くことができる。(小3 ア(エ)) (思判表力) 日常生活に必要な語句や文、看板などを読み、必要なものを選んだり行動したりすることができる。(小3 C ウ) (学・人) 生活に身近な表示や標識に関心を持ち、その意味を考えることができる。	(知・技) 表示や標識に使われている語句を読み、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付いている。 (思・判・表) 日常生活に必要な語句や文、看板などを読み、必要なものを選んだり行動したりしようとしている。 (主学) 生活に身近な表示や標識に関心を持ち、その意味を考えようとしている。	C読む 身近な標識	校内外の表示や標識の意味や内容を学ぶ。 地域マップを作成する。
	10	(知及技) 日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ることができる。(小3 ア(ウ)) (思判表力) 易しい読み物などを読み、挿絵と結びつけて想像したり内容の大体を捉えることができる。(小3 C アイ) (学・人) 語句を読んだり物語に親しんだりすることができる。	(知・技) 日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字などを読んでいる。 (思・判・表) 易しい読み物などを読み、挿絵と結びつけて想像したり内容の大体を捉えている。 (主学) 語句を読んだり物語に親しんだりしようとしている。	A聞く・話す C読む 物語を読もう『走れメロス』	物語を読んで、話の内容を楽しみながら文字の学習をしたり読解に取り組んだりする。

	4	(知及技) 物事の始めと終わりなど、情報と情報との関係について理解することができる。(小3イ(ア)) (思判表力) 経験したことを思い浮かべ、伝えたいことを考えることができる。(小3 Aイ) (学・人) 高校生活を振り返り、これまでの出来事や自分の思いをまとめることができる。	(知・技) 物事の始めと終わりなど、情報と情報との関係について理解している。 (思・判・表) 経験したことを思い浮かべ、伝えたいことを考えようとしている。 (主学) 高校生活を振り返り、これまでの出来事や自分の思いをまとめようとしている。	A聞く・話す B書く 高校生活を振り返ろう	高校生活や自分の成長を振り返り、達成したことや今後の目標についてまとめ、発表する。
	5	(知及技) 文の中における主語と述語との関係や助詞の使い方により、意味が変わることを知ることができる。(小3(オ)) (思判表力) 身近で見聞きたり、経験したりしたことについて書きたいことを見付け、その題材に必要な事柄を集めることができる。(小3 Bア) (学・人) 手紙で自分の思いや考えを伝えようとする。	(知及技) 文の中における主語と述語との関係や助詞の使い方により、意味が変わることを知ろうとしている。 (思判表力) 身近で見聞きたり、経験したりしたことについて書きたいことを見付け、その題材に必要な事柄を集めようとしている。 (学・人) 父母を浮かべながら手紙を積極的に書こうとしている。	B書く 手紙を書こう	父母へ手紙を書く。 ①手紙に書く内容をメモ書きする。 ②清書をする。
	8	(知及技) 身近な人との会話を通して、見聞きたり、体験したりしたことを表す言葉の意味と行動を結びつけることができる。(小3ア(ウ)) (思判表力) 経験したことを思い浮かべ、伝えたいことを考えることができる。(小3 Aイ) (学・人) 自分の思いや考えを伝えたり受け止めたりしようすることができる。(小3)	(知・技) 身近な人との会話を通して、言葉には事物の内容を表す働きがあることに気付いている。 (思・判・表) 場面や行動についてイメージしたことを言葉や動作で表そうとしている。 (主学) 自分の思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	A聞く・話す B書く C読む 表現力を高めよう 後期の振り返り 作品集作り	国語の授業のスライドを見て、これまでの作品集を作る。 ①自分自身の毎時間の振り返り表を見る。 ②できたこと、次の学年へ向けての課題についてメモ書きする。 ③課題解決のための計画を立てる。 ④スライドを作成し、まとめたことを発表する。 ⑤これまで取り組んできたプリントや作品を製本する。
留意点 引継ぎ等	年間を通じて、真和志高等学校との交流及び共同学習を行い、障害の有無に関わらず共に学ぶ経験を重ね、社会性を養う。				

令和6年度 高等部1年（Ⅱ課程Aグループ） 社会科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	ゆい教室1学年		『くらしに役立つ社会』 (東洋館出版社)

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや役割、地域や我が国の歴史や伝統と文化及び外国の様子について、具体的な活動や体験を通して理解するとともに、経験したことと関連付けて、調べまとめる技能を身に付けるようにする。(中学部) (思判表力) 社会的事象について、自分の生活と結び付けて具体的に考え、社会との関わりの中で、選択・判断したことを適切に表現する力を養う。(中学部) (学・人) 社会に主体的に関わろうとする態度を養い、地域社会の一員として人々と共に生きていくことの大切さについての自覚を養う。(中学部)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
前期	10	(知及技) 学級や学校の中で、自分の意見を述べたり相手の意見を聞いたりするなど、集団生活の中での役割を果たすための知識や技能を身に付けることができる。中1ア(7)㉔ (思判表力) 集団生活の中で何が必要かに気付き、自分の役割を考え、表現することができる。中1ア(7)㉔ (学・人) 社会参加するために必要な集団生活に関わろうとする態度を養うことができる。中1	(知・技) 集団生活の中での役割を果たすための知識や技能を身に付けている。 (思・判・表) 集団生活の中で何が必要かに気付き、自分の役割を考え、表現している。 (主学) 社会参加するために必要な集団生活に関わろうとすることに関心を持っている。	「社会参加ときまり」 ・社会参加	・自分の役割を果たすために他者の意見を聞くなどして、よりよい集団づくりに寄与する知識や技能を身に付ける学習 ・学級内の係活動は自分に任された果たすべき役割であり、それを遂行することは自分のためだけでなく、みんなの役に立つことに気づく学習 ・節電やリサイクル等により地球環境にも良い影響を与えることなどを学ぶ
	10	(知及技) 家庭や学校でのきまりを知り、生活の中でそれを守ることの大切さが知ることができる。中1ア(1)㉔ (思判表力) 社会生活ときまりとの関連を考え、表現することができる。中1ア(1)㉔ (学・人) 社会参加するために必要なきまりを守ろうとする態度を養うことができる。中1	(知・技) 家庭や学校でのきまりを知り、生活の中でそれを守ることの大切さを理解している。 (思・判・表) 社会生活ときまりとの関連を考え、表現している。 (主学) 社会参加するために必要なきまりを守ることに関心を持っている。	「社会参加ときまり」 ・きまり	・玄関で靴をそろえる、学校の時間割に沿って行動する、信号に従って道路を横断するなど、家庭や学校、通学路で、円滑な生活を送る上での基本的なルールや規則がわかる学習 ・学校や家庭など自分の身の回りにはきまりがあり、それを守ることによって円滑な社会生活を送ることができるという、社会生活ときまりを、自分の生活と関連付けながら考える学習 ・身近な生活の中には様々なきまりがあることを知り、なぜきまりを守るのか、その意義に気付いた上で、きまりを守ることの大切さが分かる学習
	10	(知及技) 身近な生活に関する制度が分かることができる。中1イ(1)㉔ (思判表力) 身近な生活に関する制度について調べ、自分との関わりを考え、表現することができる。中1イ(1)㉔ (学・人) 自分たちの生活を円滑かつ快適に送ることができることに気付き、今後の生活に生かしていくという意欲を育てる。	(知・技) 身近な生活に関する制度が分かろうとしている。 (思・判・表) 身近な生活に関する制度について調べ、自分との関わりを考え、表現している。 (主学) 自分たちの生活を円滑かつ快適に送ることができることに気付き、今後の生活に生かしていくことに関心をもっている	「公共施設と制度」 ・制度の仕組み	・自分たちの日常生活に關係する制度や行政サービス ・病院の受診時には保険証を用いることで医療費負担が軽減されること、交通機関の利用や余暇活動の際の施設利用において療育手帳や身体障害者手帳等を用いることで割引が受けられることなど、具体的な生活場面での利用と結び付けて制度について知ること。
後期	10	(知及技) 地域の安全を守るため、関係機関が地域の人々と協力していることが分かる。中1ウ(7)㉔ (思判表力) 地域における災害や事故に対する施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、関係機関や地域の人々の諸活動を捉え、そこに関わる人々の働きを考え表現することができる。中1ウ(7)㉔ (学・人) 自分が地域の一員であるという自覚し、安全に生活していこうとする意欲を養うことができる。	(知・技) 地域の安全を守るため、関係機関が地域の人々と協力していることを理解している。 (思・判・表) 地域における災害や事故に対する施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、関係機関や地域の人々の諸活動を捉え、そこに関わる人々の働きを考え表現している。 (主学) 自分が地域の一員であるという自覚し、安全に生活していこうとすることに関心を持っている。	「地域の安全」 ・地域の安全	・火災については消防署を中心に、交通事故や犯罪などの事故や事件については、警察署を中心に様々な機関が協力、連携して地域を守る働きをしていること。 ・災害や事故に対する施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応するために、などに着目防災センターや備蓄倉庫、防災無線など災害に対する施設・設備の整備、救急車や消火栓など事故に対する施設・設備の設置、地域防災訓練の実施などの備えを調べる。

後期	10	(知及技) 生産の仕事は、地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることが分かる。中1工(7)㉔ (思判表力) 仕事の種類や工程などに着目して、生産に携わっている人々の仕事の様子を捉え、地域の人々の生活との関連を考え、表現することができる。中1工(7)㉕ (学・人) 身近な生産活動や販売活動などを取り上げ、その仕事や生産物、商品に注目し、人々の生活との関わりについて考える態度を養うことができる。	(知・技) 生産の仕事が、地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることを理解している。 (思・判・表) 生産に携わっている人々の仕事の様子を、地域の人々の生活との関連を考え、表現している。 (主学) 近な生産活動や販売活動などを取り上げ、その仕事や生産物、商品に注目し、人々の生活との関わりについて関心を持っている。	「産業と生活」 ・仕事と生活	・産業は生産、運輸、販売、消費に関する活動を指し、例えば、農業や漁業、林業、工業、物流、販売などがあり、これらについて、身近な活動を実際に見学・調査したり、地図などの資料で調べたりして、興味・関心を高め、自分の生活との関わりについて考えられるようにする。 ・市内の生産の仕事の種類や仕事の進め方などを調べる。
	10	(知及技) 文化や風習の特徴や違いを知ることができる。中1カ(7)㉔ (思判表力) そこに暮らす人々の生活などに着目して、日本との違いを考え、表現することができる。中1カ(7)㉕ (学・人) 世界各国の生活習慣、文化、子供の生活、あいさつ、マナー、自然、産業、歴史的背景及び最近の文化やスポーツ等の出来事について、異なる文化や習慣について考える態度を養うことができる。	(知・技) 文化や風習の特徴や違いを知ろうとしている。 (思・判・表) 主要な国について様々な資料を活用して調べたことをまとめようとしている。 (主学) 世界各国の生活習慣、文化、子供の生活、あいさつ、マナー、自然、産業、歴史的背景及び最近の文化やスポーツ等の出来事について、異なる文化や習慣について考えようとしている。	「外国の様子」 ・世界の中の日本と国際交流	・文化や風習の中でも特に衣服、料理、食事の習慣、住居、国民に親しまれている行事、学校生活や子供の遊び、あいさつの仕方やマナー等、特徴的で具体的に分かりやすい事項について調べまとめ、日本と他の国の間の違いを知る。 ・外国の伝統的な衣服を着たり、その国の言葉であいさつをしたりする活動する。
	15	(知及技) 身近な地域や自分たちの市の様子、人々の生活は、時間とともに移り変わってきたことを知ることができる。 (思判表力) 交通や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、市や人々の生活の様子を捉え、それらの変化を考え、表現することができる。 (学・人) 沖縄県について関心を持ち、意欲や自信を持って学び、生活に生かすことができる。	(知・技) 身近な地域や自分たちの市の様子、人々の生活は、時間とともに移り変わってきたことを知ろうとしている。 (思・判・表) 交通や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、市や人々の生活の様子を捉え、それらの変化を考え、表現するようとしている。 (主学) 沖縄県について関心を持ち、意欲や自信を持って学び、生活に生かそうとしている。	我が国の地理や歴史 ・市区町村 ・地域の移り変わり	・身近な地域や自分たちの市の様子が分かること ・都道府県内における市の位置や市の地形、土地利用などに着目して、身近な地域や市の様子を捉え、場所による違いを考え、表現すること ・身近な地域や自分たちの市の様子、人々の生活は、時間とともに移り変わってきたことを知ること ・交通や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、市や人々の生活の様子を捉え、それらの変化を考え、表現すること
年間を通して	15	(知及技) 身近な公共施設や公共物の役割が分かることができる。中1イ(7)㉔ (思判表力) 公共施設や公共物について調べ、それらの役割を考え、表現することができる。中1イ(7)㉕ (学・人) 公共施設と自分の生活との関連に気づき、生活に必要な施設を積極的に利用しようとする態度を養うことができる。	(知・技) 身近な公共施設や公共物の役割を理解している。 (思・判・表) 公共施設や公共物について調べ、それらの役割を考え、表現している。 (主学) 公共施設と自分の生活との関連に気づき、生活に必要な施設を利用することに関心を持っている。	「公共施設と制度」 ・身近な公共施設	・身近な公共施設（町役場、学校、公園、公民館、コミュニティセンター、図書館、児童館、体育館、美術館、博物館、資料館、文化会館、消防署、警察署、交番、裁判所など）の位置を地図で確認したり、施設についてインターネットを利用して調べたり、実際に見学や利用をしたりするなどして、その役割と名称と位置を一体的に結び付け、自分の生活との関連について考え、積極的に利用しようとする意識を育てる。 ・学校の共有備品、電車やバスなどの交通機関などの公共のための物を指し、このほかに、新聞、テレビ、ラジオ、インターネットなどについて、自分の生活との関連について考え、積極的に利用しようとする意識を育てる。
	留意点 引継ぎ等	年間を通じて、真和志高等学校との交流及び共同学習を行い、障害の有無に関わらず共に学ぶ経験を重ね、社会性を養う。 複数学年の授業を行うため、年間を通して単元を選択して授業を行い、3年間を通して網羅する。			

令和6年度 高等部2年（Ⅱ課程Aグループ） 社会科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	ゆい教室2学年 1名		『くらしに役立つ社会』 (東洋館出版社)

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや役割、地域や我が国の歴史や伝統と文化及び外国の様子について、具体的な活動や体験を通して理解するとともに、経験したことと関連付けて、調べまとめる技能を身に付けるようにする。(中学部) (思判表力) 社会的事象について、自分の生活と結び付けて具体的に考え、社会との関わりの中で、選択・判断したことを適切に表現する力を養う。(中学部) (学・人) 社会に主体的に関わろうとする態度を養い、地域社会の一員として人々と共に生きていくことの大切さについての自覚を養う。(中学部)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
前期	10	(知及技) 学級や学校の中で、意見を述べ合い、助け合い、協力しながら生活する必要性を理解し、そのための知識や技能を身に付けることができる。中2ア(7)㉑ (思判表力) 周囲の状況を判断し、集団生活の中で自分の役割と責任について考え、表現することができる。中2ア(7)㉒ (学・人) 社会参加するために必要な集団生活に関わろうとする態度を養うことができる。中2	(知・技) 集団生活の中での役割を果たすための知識や技能を身に付けている。 (思・判・表) 集団生活の中で何が必要かに気づき、自分の役割を考え、表現している。 (主学) 社会参加するために必要な集団生活に関わろうとすることに関心を持っている。	「社会参加ときまり」 ・社会参加	・よりよい集団生活のために、周囲の人と意見交換をしながら協力し合うことの必要性を理解したり、周囲の状況を捉え判断し、自分の役割とその責任を身に付ける。 ・集団生活の中での自分の役割を理解することに加え、役割を果たすことで責任が生じてくることを知り、それが社会参加への意欲や態度を身につける。
	10	(知及技) 家庭や学校、地域社会でのきまりは、社会生活を送るために必要であることを理解することができる。中2ア(イ)㉑ (思判表力) 社会生活に必要なきまりの意義について考え、表現することができる。中ア(イ)㉒ (学・人) 社会参加するために必要なきまりを守ろうとする態度を養うことができる。中1	(知・技) 家庭や学校、地域社会でのきまりは、社会生活を送るために必要であることを理解している。 (思・判・表) 社会生活に必要なきまりの意義について考え、表現している。 (主学) 社会参加するために必要なきまりを守ることに関心を持っている。	「社会参加ときまり」 ・きまり	・スーパーマーケットのレジで順番に並び、交通ルールを守るなどの身近なきまりのほか、社会参加に必要な法などがわかる学習 ・自分の生活におけるきまりを確認し、その必要性について話し合う学習
	10	(知及技) 地域の安全を守るため、関係機関が地域の人々と協力していることが分かる。中1ウ(7)㉑ (思判表力) 地域における災害や事故に対する施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、関係機関や地域の人々の諸活動を捉え、そこに関わる人々の働きを考え表現することができる。中1ウ(7)㉒ (学・人) 自分が地域の一員であるという自覚し、安全に生活していこうとする意欲を養うことができる。	(知・技) 地域の安全を守るため、関係機関が地域の人々と協力していることを理解している。 (思・判・表) 地域における災害や事故に対する施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、関係機関や地域の人々の諸活動を捉え、そこに関わる人々の働きを考え表現している。 (主学) 自分が地域の一員であるという自覚し、安全に生活していこうとすることに関心を持っている。	「地域の安全」 ・地域の安全	・火災については消防署を中心に、交通事故や犯罪などの事故や事件については、警察署を中心に様々な機関が協力、連携して地域を守る働きをしていること。 ・災害や事故に対する施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応するために、などに着目防災センターや備蓄倉庫、防災無線など災害に対する施設・設備の整備、救急車や消火栓など事故に対する施設・設備の設置、地域防災訓練の実施などの備えを調べる。
後期	10	(知及技) 身近な生活に関する制度を理解することができる。中1イ(イ)㉑ (思判表力) 身近な生活に関する制度について調べ、自分との関わりを考え、表現することができる。中1イ(イ)㉒ (学・人) 自分たちの生活を円滑かつ快適に送ることができることに気づき、今後の生活に生かしていくという意欲を育てる。	(知・技) 身近な生活に関する制度を理解している。 (思・判・表) 身近な生活に関する制度について調べ、自分との関わりを考え、表現している。 (主学) 自分たちの生活を円滑かつ快適に送ることができることに気づき、今後の生活に生かしていくことに関心をもって	「公共施設と制度」 ・制度の仕組み	・自分たちの日常生活に関係する制度や行政サービス・病院の受診時には保険証を用いることで医療費負担が軽減されること、交通機関の利用や余暇活動の際の施設利用において療育手帳や身体障害者手帳等を用いることで割引が受けられることなど、具体的な生活場面での利用と結び付けて制度について知ること。

後期	10	(知・技) 販売の仕事は、消費者のことを考え、工夫して行われていることが分かる。中1工(イ)㉔ (思・判・表) 消費者の願いや他地域との関わりなどに着目して、販売の仕事に携わっている人々の仕事の様子を捉え、それらの仕事に見られる工夫を考え、表現することができる。中1工(イ)㉕ (学・人) 身近な生産活動や販売活動などを取り上げ、その仕事や生産物、商品に注目し、人々の生活との関わりについて考える態度を養うことができる。	(知・技) 販売の仕事は、消費者のことを考え、工夫して行われていることが理解しようとしている。 (思・判・表) 消費者の願いや他地域との関わりなどに着目して、販売の仕事に携わっている人々の仕事の様子を捉え、それらの仕事に見られる工夫を考え、表現することができる。 (学・人) 身近な生産活動や販売活動などを取り上げ、その仕事や生産物、商品に注目し、人々の生活との関わりについて関心を持っている。	「産業と生活」 ・身近な産業と生活	・近隣の小売店やスーパーマーケットなどを見学して、働く人の様子や商品を具体的に観察したり、そこで働いている人から聞き取り調査をしたりするなどして、工夫していることや商品の生産地を調べ ・販売の仕事に従事している人が、商品を購入する消費者の多様な願いを踏まえ、売り上げを高めるよう工夫していることや、外国を含めた商品の産地や仕入れ先などを調べる。
	10	(知・技) 文化や風習の特徴や違いを知ることができる。中1カ(ア)㉔ (思・判・表) そこに暮らす人々の生活などに着目して、日本との違いを考え、表現することができる。中1カ(ア)㉕ (学・人) 世界各国の生活習慣、文化、子供の生活、あいさつ、マナー、自然、産業、歴史的背景及び最近の文化やスポーツ等の出来事について、異なる文化や習慣について考える態度を養うことができる。	(知・技) 文化や風習の特徴や違いを知ろうとしている。 (思・判・表) 主要な国について様々な資料を活用して調べたことをまとめようとしている。 (学・人) 世界各国の生活習慣、文化、子供の生活、あいさつ、マナー、自然、産業、歴史的背景及び最近の文化やスポーツ等の出来事について、異なる文化や習慣について考えようとしている。	「外国の様子」 ・世界の中の日本と国際交流	・文化や風習の中でも特に衣服、料理、食事の習慣、住居、国民に親しまれている行事、学校生活や子供の遊び、あいさつの仕方やマナー等、特徴的で具体的に分かりやすい事項について調べまとめ、日本と他の国の間の違いを知る。 ・外国の伝統的な衣服を着たり、その国の言葉であいさつをしたりする活動する。
年間を通して	15	(知・技) 身近な地域や自分たちの市の様子、人々の生活は、時間とともに移り変わってきたことを知る事ができる。中1オ(イ)㉔ (思・判・表) 交通や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、市や人々の生活の様子を捉え、それらの変化を考え、表現することができる。中1オ(イ)㉕ (学・人) 沖縄県について関心を持ち、意欲や自信を持って学び、生活に生かすことができる。	(知・技) 身近な地域や自分たちの市の様子、人々の生活は、時間とともに移り変わってきたことを知ろうとしている。 (思・判・表) 交通や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、市や人々の生活の様子を捉え、それらの変化を考え、表現しようとしている。 (学・人) 沖縄県について関心を持ち、意欲や自信を持って学び、生活に生かそうとしている。	我が国の地理や歴史 ・市区町村 ・地域の移り変わり	・鉄道や道路はどのように変わってきたか、生活の道具はどのように変化してきたかなどの問いを設けて、予想を立てたり、聞き取り調査をしたりして、その変化について話し合う学習。 ・交通や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、市や人々の生活の様子を捉え、それらの変化を考え、表現すること
	15	(知・技) 身近な公共施設や公共物の役割が分かることができる。中1イ(ア)㉔ (思・判・表) 公共施設や公共物について調べ、それらの役割を考え、表現することができる。中1イ(ア)㉕ (学・人) 公共施設と自分の生活との関連に気づき、生活に必要な施設を積極的に利用しようとする態度を養うことができる。	(知・技) 身近な公共施設や公共物の役割を理解している。 (思・判・表) 公共施設や公共物について調べ、それらの役割を考え、表現している。 (学・人) 公共施設と自分の生活との関連に気づき、生活に必要な施設を利用することに関心を持っている。	「公共施設と制度」 ・身近な公共施設	・身近な公共施設（町役場、学校、公園、公民館、コミュニティセンター、図書館、児童館、体育館、美術館、博物館、資料館、文化会館、消防署、警察署、交番、裁判所など）の位置を地図で確認したり、施設についてインターネットを利用して調べたり、実際に見学や利用をしたりするなどして、その役割と名称と位置を一体的に結び付け、自分の生活との関連について考え、積極的に利用しようとする意識を育てる。 ・学校の共有備品、電車やバスなどの交通機関などの公共のための物を指し、このほかに、新聞、テレビ、ラジオ、インターネットなどについて、自分の生活との関連について考え、積極的に利用しようとする意識を育てる。
留意点 引継ぎ等		年間を通じて、真和志高等学校との交流及び共同学習を行い、障害の有無に関わらず共に学ぶ経験を重ね、社会性を養う。 複数学年の授業を行うため、年間を通して単元を選択して授業を行い、3年間を通して網羅する。			

令和6年度 高等部3年（Ⅱ課程Aグループ） 社会科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	ゆい教室3学年 2名		『くらしに役立つ社会』 (東洋館出版社)

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや役割、地域や我が国の歴史や伝統と文化及び外国の様子について、具体的な活動や体験を通して理解するとともに、経験したことと関連付けて、調べまとめる技能を身に付けるようにする。(中学部) (思判表力) 社会的事象について、自分の生活と結び付けて具体的に考え、社会との関わりの中で、選択・判断したことを適切に表現する力を養う。(中学部) (学・人) 社会に主体的に関わろうとする態度を養い、地域社会の一員として人々と共に生きていくことの大切さについての自覚を養う。(中学部)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
前期	10	(知及技) 学級や学校の中で、意見を述べ合い、助け合い、協力しながら生活する必要性を理解し、そのための知識や技能を身に付けることができる。中2ア(7)㉑ (思判表力) 周囲の状況を判断し、集団生活の中での自分の役割と責任について考え、表現することができる。中2ア(7)㉒ (学・人) 社会参加するために必要な集団生活に関わろうとする態度を養うことができる。中2	(知・技) 集団生活の中での役割を果たすための知識や技能を身に付けている。 (思・判・表) 集団生活の中で何が必要かに気づき、自分の役割を考え、表現している。 (主学) 社会参加するために必要な集団生活に関わろうとすることに関心を持っている。	「社会参加ときまり」 ・社会参加	・よりよい集団生活のために、周囲の人と意見交換をしながら協力し合うことの必要性を理解したり、周囲の状況を捉え判断し、自分の役割とその責任を身に付ける。 ・集団生活の中での自分の役割を理解することに加え、役割を果たすことで責任が生じてくることを知り、それが社会参加への意欲や態度を身につける。
	10	(知及技) 家庭や学校、地域社会でのきまりは、社会生活を送るために必要であることを理解することができる。中2ア(1)㉑ (思判表力) 社会生活に必要なきまりの意義について考え、表現することができる。中ア(1)㉒ (学・人) 社会参加するために必要なきまりを守ろうとする態度を養うことができる。中1	(知・技) 家庭や学校、地域社会でのきまりは、社会生活を送るために必要であることを理解している。 (思・判・表) 社会生活に必要なきまりの意義について考え、表現している。 (主学) 社会参加するために必要なきまりを守ることに関心を持っている。	「社会参加ときまり」 ・きまり	・スーパーマーケットのレジで順番に並び、交通ルールを守るなどの身近なきまりのほか、社会参加に必要な法などがわかる学習 ・自分の生活におけるきまりを確認し、その必要性について話し合う学習
	10	(知及技) 身近な生活に関する制度を理解することができる。中1イ(1)㉑ (思判表力) 身近な生活に関する制度について調べ、自分との関わりを考え、表現することができる。中1イ(1)㉒ (学・人) 自分たちの生活を円滑かつ快適に送ることができることに気づき、今後の生活に生かしていくという意欲を育てる。	(知・技) 身近な生活に関する制度を理解している。 (思・判・表) 身近な生活に関する制度について調べ、自分との関わりを考え、表現している。 (主学) 自分たちの生活を円滑かつ快適に送ることができることに気づき、今後の生活に生かしていくことに関心をもって	「公共施設と制度」 ・制度の仕組み	・自分たちの日常生活に関係する制度や行政サービス ・病院の受診時には保険証を用いることで医療費負担が軽減されること、交通機関の利用や余暇活動の際の施設利用において療育手帳や身体障害者手帳等を用いることで割引が受けられることなど、具体的な生活場面での利用と結び付けて制度について知ること。
後期	10	(知及技) 地域の関係機関や人々は、過去に発生した地域の自然災害や事故に対し、様々な協力をして対処してきたことや、今後想定される災害に対し、様々な備えをしていることを理解することができる。中2ウ(7)㉑ (思判表力) 過去に発生した地域の自然災害や事故、関係機関の協力などに着目して、危険から人々を守る活動と働きを考え、表現することすることができる。中2ウ(7)㉒ (学・人) 自分が地域の一員であるという自覚し、安全に生活していこうとする意欲を養うことができる。	(知・技) 地域の関係機関や人々は、過去に発生した地域の自然災害や事故に対し、様々な協力をして対処してきたことや、今後想定される災害に対し、様々な備えをしていることを理解している。 (思・判・表) 過去に発生した地域の自然災害や事故、関係機関の協力などに着目して、危険から人々を守る活動と働きを考え、表現している。 (主学) 自分が地域の一員であるという自覚し、安全に生活していくことに関心を持っている。	「地域の安全」 ・地域の安全	・土地や気候の特徴など地域の実態と、過去に地域で起きた災害を考慮し、地震災害、津波災害、風水害、火山災害、雪害などに対し、県や市、警察署や消防署、消防団などの関係機関や地域の人々が協力して、災害や事故を未然に防ぐ努力や備えをしていることを、具体的に調べ学習。 ・過去の災害や事故、関係機関の協力などを調べ、それらの活動と人々の生活に関連付けて、災害から人々を守る活動について考える学習。

後期	10	(知及技) 地域では、人々が協力し、産業の発展に努めていることを理解できる。中2工(7)㉔ (思判表力) 人々の活動や産業の歴史的背景などに着目して、地域の様子を捉え、それらの特色を考え、表現することができる。中2工(7)㉔ (学・人) 身近な生産活動や販売活動などを取り上げ、その仕事や生産物、商品に注目し、人々の生活との関わりについて考える態度を養うことができる。	(知・技) 地域では、人々が協力し、産業の発展に努めていることを理解しようとしている。 (思・判・表) 人々の活動や産業の歴史的背景などに着目して、地域の様子を捉え、それらの特色を考え、表現することができる。 (主学) 近な生産活動や販売活動などを取り上げ、その仕事や生産物、商品に注目し、人々の生活との関わりについて関心を持っている。	「産業と生活」 ・県内の特色ある地域	・地域の人々が互いに協力して、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解する。 ・地域の名産品や特産品をの特徴や原材料、工程、製造過程で用いられる道具などを観察するとともに、実際に製造する場面を見学したり、そこで働いている人から聞き取り調査をしたりして、生産物が起こった歴史的背景や、自然環境について調べまとめる。
	10	(知及技) 文化や風習の特徴や違いを理解することができる。中2カ(7)㉔ (思判表力) 人々の生活や習慣などに着目して、多様な文化について考え、表現することができる。中1カ(7)㉔ (学・人) 世界各国の生活習慣、文化、子供の生活、あいさつ、マナー、自然、産業、歴史的背景及び最近の文化やスポーツ等の出来事について、異なる文化や習慣について考える態度を養うことができる。	(知・技) 文化や風習の特徴や違いを理解しようとしている。 (思・判・表) 人々の生活や習慣などに着目して、多様な文化について考え、表現しようとしている。 (主学) 世界各国の生活習慣、文化、子供の生活、あいさつ、マナー、自然、産業、歴史的背景及び最近の文化やスポーツ等の出来事について、異なる文化や習慣について考えようとしている。	「外国の様子」 ・世界の中の日本と国際交流	・日本とは生活や習慣が違う国に着目して、なぜその生活や習慣が日本とは異なるのかを考えること・ ・自然や気候、歴史的背景が国によって異なること、人々の生活や活動は地域の自然や気候、歴史的背景によっても規定されたり方向付けられ、世界には多様な文化が存在していることについて理解する。
	25	(知及技) 県内の主な歴史を手掛かりに、先人の働きや出来事、文化遺産などを知ることができる。中2オ(1)㉔ (思判表力) 歴史的背景や現在に至る経緯などに着目し、県内の文化財や年中行事の様子を捉え、それらの特色を考え、表現することができる。中2オ(1)㉔ (学・人) 沖縄県について関心を持ち、意欲や自信を持って学び、生活に生かすことができる。	(知・技) 県内の主な歴史を手掛かりに、先人の働きや出来事、文化遺産などを知ろうとしている。 (思・判・表) 歴史的背景や現在に至る経緯などに着目し、県内の文化財や年中行事の様子を捉え、それらの特色を考え、表現しようとしている。 (主学) 沖縄県について関心を持ち、意欲や自信を持って学び、生活に生かそうとしている。	我が国の地理や歴史 ・県内の伝統や文化等	・我が国や県の歴史の進展に大きな影響を与えた各時代の代表的な歴史的出来事を取り上げ、先人の働きや出来事、文化遺産などを中心に歴史の学習。 ・我が国や県の開発・教育・医療・文化・産業などの発展に尽くした先人の働きや特徴的な出来事の学習。
年間を通して	25	(知及技) 自分の生活の中での公共施設や公共物の役割とその必要性を理解することができる。中2イ(7)㉔ (思判表力) 公共施設や公共物の役割について調べ、生活の中での利用を考え、表現することができる。中1イ(7)㉔ (学・人) 公共施設と自分の生活との関連に気づき、生活に必要な施設を積極的に利用しようとする態度を養うことができる。	(知・技) 自分の生活の中での公共施設や公共物の役割とその必要性を理解している。 (思・判・表) 公共施設や公共物の役割について調べ、生活の中での利用を考え、表現することとしている。 (主学) 公共施設と自分の生活との関連に気づき、生活に必要な施設を利用することに関心を持っている。	「公共施設と制度」 ・身近な公共施設	・公共施設や公共物の必要性について考え利用に必要な知識や技能を身に付け積極的に利用しようとする意識を育てる。 ・公共施設や公共物の役割について調べ、快適な社会生活を営むのに役立つことを理解し、現在や将来の自分の生活の中での利用について考える学習。 ・社会に関する基本的な制度について理解し、制度を活用することで人々の生活が快適かつ円滑に営まれることに気づき、制度の意味や必要性について考える学習。
留意点 引継ぎ等		年間を通じて、真和志高等学校との交流及び共同学習を行い、障害の有無に関わらず共に学ぶ経験を重ね、社会性を養う。 複数学年の授業を行うため、年間を通して単元を選択して授業を行い、3年間を通して網羅する。			

令和6年度 高等部 1年（Ⅱ課程Aグループ） 数学科 年間指導計画

単位数 ／ 配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
175	1学年		

目標：（知・技）知識及び技能 （思・判・表）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知・技） ・数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き理解するとともに、日常の事象を数量や図形に注目して処理する技能を身に付けることができる。 （思・判・表） ・日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり柔軟に表したりする力を養うことができる。 （学・人） ・数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとする態度、算数で学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
前期	10	（知・技）10までの数の概念や表し方について分かり、数についての感覚をもつとともに、ものと数との関係に関心をもって関わることについての技能を身に付けるようにする。（小2 A ア(7)㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲） （思・判・表）日常生活の事象について、もの数に着目し、具体物や図などを用いながら数の数え方を考え、表現する力を養う。（小2 A ア(1)㉔） （学・人）数量に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。（小2）	（知・技）10までの数の概念や表し方について分かり、数についての感覚をもつとともに、ものと数との関係に関心をもって関わることについての技能を身に付けるようにする。（小2 A ア(7)㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲） （思・判・表）日常生活の事象について、もの数に着目し、具体物や図などを用いながら数の数え方を考え、表現する力を養う。（小2 A ア(1)㉔） （学・人）数量に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養うとしている。	数と計算 ・10までの数の数え方や表し方、構成	・ものともとの対応させることによって、ものの個数を比べ、同等・多少が分かること ・ものの集まりと対応して、数詞が分かること ・ものの集まりや数詞と対応して数字が分かること ・個数を正しく数えたり書き表したりすること ・二つの数を比べて数の大小が分かること ・数の系列が分かり、順序や位置を表すのに数を用いること ・0の意味について分かること ・一つの数を二つの数に分けたり、二つの数を一つの数にまとめたりして表すこと ・具体的な事象を加えたり、減らしたりしながら、集合数を一つの数と他の数と関係付けてみること ・10の補数が分かること ・数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かすこと
	10	（知・技）身の回りのものの形に着目し、集めたり、分類したりすることを通して、図形の違いが分かるようにするための技能を身に付けるようにする。（小2 B ア(7)㉔㉕㉖） （思・判・表）身の回りのものの形に関心をもち、分類したり、集めたりして、形の性質に気付く力を養う。（小2 B ア(1)㉔㉕㉖） （学・人）図形に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。（小2）	（知・技）身の回りのものの形に着目し、集めたり、分類したりすることを通して、図形の違いが分かるようにするための技能を身に付けるようにする。（小2 B ア(7)㉔㉕㉖） （思・判・表）身の回りのものの形に関心をもち、分類したり、集めたりして、形の性質に気付く力を養う。（小2 B ア(1)㉔㉕㉖） （学・人）図形に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養おうとしている。	図形 ・ものの分類	・ものの形に着目し、身の回りにあるものの特徴を捉えること ・具体物を用いて形を作ったり分解したりすること ・前後、左右、上下など方向や位置に関する言葉を用いてものの位置を表すこと ・身の回りにあるものから、いろいろな形を見付けたり、具体物を用いて形を作ったり分解したりすること ・身の回りにあるものの形を図形として捉えること ・身の回りにあるものの形の観察などをして、ものの形を認識したり、形の特徴を捉えたりすること
	10	（知・技）身の回りのものの形に着目し、集めたり、分類したりすることを通して、図形の違いが分かるようにするための技能を身に付けるようにする。（小2 B イ(7)㉔㉕㉖） （思・判・表）身の回りのものの形に関心をもち、分類したり、集めたりして、形の性質に気付く力を養う。（小2 B イ(1)㉔） （学・人）図形に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。（小2）	（知・技）身の回りのものの形の観察などの活動を通して、図形についての感覚を豊かにするとともに、ものについて、その形の合同、移動、位置、機能及び角の大きさの意味に関わる基礎的な知識を理解することなどについての技能を身に付けるようにする。（思・判・表）身の回りのものの形に着目し、びったり重なる形、移動、ものの位置及び機能的な特徴等について具体的に操作をして考える力を養うとしている。（学・人）図形や数量の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする態度を養おうとしている。	図形 ・身の回りにあるものの形	・身の回りにあるものの形に関心をもち、丸や三角、四角という名称を知ること ・縦や横の線、十字、△や□をかくこと ・大きさや色など属性の異なるものであっても形の属性に着目して、分類したり、集めたりすること ・身の回りにあるものの形に関心に向け、丸や三角、四角を考えながら分けたり、集めたりすること。
	15	（知・技）身の回りにある具体物の量の大きさに注目し、量の大きさの違いが分かるとともに、二つの量の大きさを比べることについての技能を身に付けるようにする。（小2 C ア(7)㉔㉕㉖） （思・判・表）身の回りのものの形に関心をもち、分類したり、集めたりして、形の性質に気付く力を養う（小2 C ア(1)㉔） （学・人）数量や図形に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。（小2）	（知・技）身の回りにある具体物の量の大きさに注目し、量の大きさの違いが分かるとともに、二つの量の大きさを比べることについての技能を身に付けるようにする。（小2 C ア(7)㉔㉕㉖） （思・判・表）身の回りのものの形に関心をもち、分類したり、集めたりして、形の性質に気付く力を養おうとしている。（学・人）数量や図形に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養おうとしている。	測定 ・二つの量の大きさ（身の回りにある具体物の量の大きさ）	・長さ、重さ、高さ及び広さなどの量の大きさが分かること ・二つの量の大きさについて、一方を基準にして相対的に比べること ・長い・短い、重い・軽い、高い・低い及び広い・狭いなどの用語が分かること ・長さ、重さ、高さ及び広さなどの量を、一方を基準にして比べることに関心をもったり、量の大きさを用語を用いて表現したりすること

後 期	10	(知及技)身の回りのものや身近な出来事のつながりに関心を持ち、それを簡単な絵や記号などを用いた表やグラフで表したり、読み取ったりする方法についての技能を身に付けるようにする。(小2 Dア(ア)㊟) (思判表力)身の回りのものや身近な出来事のつながりなどの共通の要素に着目し、簡単な表やグラフで表現する力を養う。(小2 Dア(イ)㊟) (学・人)数量や図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。(小2)	(知及技)身の回りにある事象を、簡単な絵や図を用いて整理したり、記号に置き換えて表したりしながら、読み取り方について理解することについての技能を身に付けようとしている。(思判表力)身の回りの事象を、比較のために簡単な絵や図に置き換えて簡潔に表現したり、データ数を記号で表現したりして、考える力を養おうとしている。(主学))数量や図形の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする態度を養おうとしている。	データの活用 ・ものの分類	・身近なものを目的、用途、機能に着目して分類すること ・身近なものの色や形、大きさ、目的及び用途等に関心向け、共通点や相違点を考えながら、興味をもって分類すること
	15	(知及技)身の回りのものや身近な出来事のつながりに関心を持ち、それを簡単な絵や記号などを用いた表やグラフで表したり、読み取ったりする方法についての技能を身に付けるようにする。(小2 Dイ(ア)㊟) (思判表力)身の回りのものや身近な出来事のつながりなどの共通の要素に着目し、簡単な表やグラフで表現する力を養う。(小2 Dイ(イ)㊟) (学・人)数量や図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。(小2)	(知及技)身の回りにある事象を、簡単な絵や図を用いて整理したり、記号に置き換えて表したりしながら、読み取り方について理解することについての技能を身に付けようとしている。(思判表力)身の回りの事象を、比較のために簡単な絵や図に置き換えて簡潔に表現したり、データ数を記号で表現したりして、考える力を養おうとしている。(主学))数量や図形の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする態度を養おうとしている。	データの活用 ・同等と多少	・ものとのとを対応させることによって、もの同 等や多少が分かること ・身の回りにあるものの個数に着目して絵グラフなどに表し、多少を読み取って表現すること
	15	(知及技)身の回りのものや身近な出来事のつながりに関心を持ち、それを簡単な絵や記号などを用いた表やグラフで表したり、読み取ったりする方法についての技能を身に付けるようにする。(小2 Dウ(ア)㊟) (思判表力)身の回りのものや身近な出来事のつながりなどの共通の要素に着目し、簡単な表やグラフで表現する力を養う。(小2 Dウ(イ)㊟) (学・人)数量や図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。(小2)	(知及技)身の回りにある事象を、簡単な絵や図を用いて整理したり、記号に置き換えて表したりしながら、読み取り方について理解することについての技能を身に付けようとしている。(思判表力)身の回りの事象を、比較のために簡単な絵や図に置き換えて簡潔に表現したり、データ数を記号で表現したりして、考える力を養おうとしている。(主学))数量や図形の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする態度を養おうとしている。	データの活用 ・○×を用いた表	・身の回りの出来事から○×を用いた簡単な表を作成すること。 ・簡単な表で使用する○×の記号の意味が分かること。 ・身の回りの出来事を捉え、○×を用いた簡単な表で表現すること。
留意点 引継ぎ等	年間を通じて、真和志高等学校との交流及び共同学習を行い、障害の有無に関わらず共に学ぶ経験を重ね、社会性を養う。				

令和6年度 高等部 2年（Ⅱ課程Aグループ） 数学科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2／70	ゆい教室2学年 1名		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) ・数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き理解するとともに、日常の事象を数量や図形に注目して処理する技能を身に付けることができる。 (思判表力) ・日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり柔軟に表したりする力を養うことができる。 (学・人) ・数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとする態度、算数で学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
前期	10	(知及技)100 までの数の概念や表し方について理解し、数に対する感覚を豊かにするとともに、加法、減法の意味について理解し、これらの簡単な計算ができるようにすることについての技能を身に付けるようにする。(小3 A ア(7)㉔㉕㉖) (思判表力)日常の事象について、ものの数に着目し、具体物や図などを用いながら数の数え方や計算の仕方を考え、表現する力を養う。(小3 A ア(1)㉗) (学・人)数量の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする態度を養う。(小3)	(知及技)100 までの数の概念や表し方について理解し、数に対する感覚を豊かにするとともに、加法、減法の意味について理解し、これらの簡単な計算ができるようにすることについての技能を身に付けるようにしている。 (思判表力)日常の事象について、ものの数に着目し、具体物や図などを用いながら数の数え方や計算の仕方を考え、表現するし、学習や生活で生かそうとしている。 (学・人)数量の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとしている。	数と計算 ・100 までの整数の表し方	・20までの数について、数詞を唱えたり、個数を数えたり書き表したり、数の大小を比べたりすること ・100 までの数について、数詞を唱えたり、個数を数えたり書き表したり、数の系列を理解したりすること ・数える対象を2 ずつや5 ずつのまとまりで数えること ・数を 10 のまとまりとして数えたり、10 のまとまりと端数に分けて数えたり書き表したりすること
	10	(知及技)身の回りのものの形の観察などの活動を通して、図形についての感覚を豊かにするとともに、ものについて、その形の合同、移動、位置、機能及び角の大きさの意味に関わる基礎的な知識を理解することなどについての技能を身に付けるようにする。(小3 B ア(7)㉔㉕) (思判表力)身の回りのものの形に着目し、びつたり重なる形、移動、ものの位置及び機能的な特徴等について具体的に操作をして考える力を養う。(小3 B ア(1)㉖㉗) (学・人)数量や図形の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする態度を養う。(小3)	(知及技)身の回りのものの形の観察などの活動を通して、図形についての感覚を豊かにするとともに、ものについて、その形の合同、移動、位置、機能及び角の大きさの意味に関わる基礎的な知識を理解することなどについての技能を身に付けるようにしている。 (思判表力)身の回りのものの形に着目し、びつたり重なる形、移動、ものの位置及び機能的な特徴等について具体的に操作をして考える力を養うとしている。 (学・人)図形や数量の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする態度を養おうとしている。	図形 ・身の回りにあるものの形	・ものの形に着目し、身の回りにあるものの特徴を捉えること ・具体物を用いて形を作ったり分解したりすること ・前後、左右、上下など方向や位置に関する言葉を用いてものの位置を表すこと ・身の回りにあるものから、いろいろな形を見付けたり、具体物を用いて形を作ったり分解したりすること ・身の回りにあるものの形を図形として捉えること ・身の回りにあるものの形の観察などをして、ものの形を認識したり、形の特徴を捉えたりすること
	10	(知及技)身の回りにある長さや体積などの量の単位と測定の意味について理解し、量の大きさについての感覚を豊かにするとともに、測定することなどについての技能を身に付けることができる。(小3 C ア(7)㉔㉕) (思判表力)身の回りにある量の単位に着目し、目的に応じて量を比較したり、量の大小及び相等関係を表現したりする力を養うことができる。(小3 C ア(1)㉖) (学・人)数量や図形の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする態度を養う。(小3)	(知及技)身の回りにある長さや体積などの量の単位と測定の意味について理解し、量の大きさについての感覚を豊かにするとともに、測定することなどについての技能を身に付けようとしている。 (思判表力)身の回りにある量の単位に着目し、目的に応じて量を比較したり、量の大小及び相等関係を表現したりする力を養おうとしている。 (学・人)数量や図形の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする態度を養おうとしている。	測定 ・身の回りのものの量の単位と測定	・長さ、広さ、かさなどの量を直接比べる方法について理解し、比較すること ・身の回りにあるものの大きさを単位として、その幾つかで大きさを比較すること ・身の回りのものの長さ、広さ及びかさについて、その単位に着目して大小を比較したり、表現したりすること
	15	(知及技)身の回りにある事象を、簡単な絵や図を用いて整理したり、記号に置き換えて表したりしながら、読み取り方について理解することについての技能を身に付けることができる。(小3 D ア(7)㉔㉕) (思判表力)身の回りの事象を、比較のために簡単な絵や図に置き換えて簡潔に表現したり、データ数を記号で表現したりして、考える力を養うことができる。(小3 D ア(1)㉖) (学・人)数量や図形の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする態度を養う。(小3)	(知及技)身の回りにある事象を、簡単な絵や図を用いて整理したり、記号に置き換えて表したりしながら、読み取り方について理解することについての技能を身に付けようとしている。 (思判表力)身の回りの事象を、比較のために簡単な絵や図に置き換えて簡潔に表現したり、データ数を記号で表現したりして、考える力を養おうとしている。 (学・人)数量や図形の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする態度を養おうとしている。	データの活用 ・身の回りにある事象を簡単な絵や図、記号に置き換えること	・ものとの対応やものの個数について、簡単な絵や図に表して整理したり、それらを読んだりすること ・身の回りにあるデータを簡単な記号に置き換えて表し、比較して読み取ること ・個数の把握や比較のために簡単な絵や図、記号に置き換えて簡潔に表現すること

後期	15	(知及技)100 までの数の概念や表し方について理解し、数に対する感覚を豊かにするとともに、加法、減法の意味について理解し、これらの簡単な計算ができるようにすることについての技能を身に付けるようにする。(小3 A イ(イ)㉔㉕㉖㉗㉘) (思判表力)日常の事象について、ものの数に着目し、具体物や図などを用いながら数の数え方や計算の仕方を考え、表現する力を養う。(小3 A イ(イ)㉔) (学・人)数量の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする態度を養う。(小3)	(知及技) 100 までの数の概念や表し方について理解し、数に対する感覚を豊かにするとともに、加法、減法の意味について理解し、これらの簡単な計算ができるようにすることについての技能を身に付けるようにしている。 (思判表力)日常の事象について、ものの数に着目し、具体物や図などを用いながら数の数え方や計算の仕方を考え、表現するし、学習や生活で生かそうとしている。 (学・人)数量の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとしている。	数と計算 ・整数の加法及び減法	・加法が用いられる合併や増加等の場合について理解すること ・加法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりすること ・1位数と1位数との加法の計算ができること ・1位数と2位数との和が20までの加法の計算ができること ・減法が用いられる求残や減少等の場合について理解すること ・減法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりすること ・20までの数の範囲で減法の計算ができること
	15	(知及技)身の回りのものの形の観察などの活動を通して、図形についての感覚を豊かにするとともに、ものについて、その形の合同、移動、位置、機能及び角の大きさの意味に関わる基礎的な知識を理解することなどについての技能を身に付けるようにする。(小3 B イ(ア)㉔) (思判表力)身の回りのものの形に着目し、びつたり重なる形、移動、ものの位置及び機能的な特徴等について具体的に操作をして考える力を養う。(小3 B イ(イ)㉔) (学・人)数量や図形の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする態度を養う	(知及技)身の回りのものの形の観察などの活動を通して、図形についての感覚を豊かにするとともに、ものについて、その形の合同、移動、位置、機能及び角の大きさの意味に関わる基礎的な知識を理解することなどについての技能を身に付けるようにしている。 (思判表力)身の回りのものの形に着目し、びつたり重なる形、移動、ものの位置及び機能的な特徴等について具体的に操作をして考える力を養うとしていいる。 (学・人)図形や数量の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする態度を養おうとしている。	図形 ・角の大きさ	・傾斜をつくると角ができることを理解すること ・傾斜が変化したときの斜面と底面の作り出す開き具合について、大きい・小さいと表現すること
	15	(知及技)身の回りにおける長さや体積などの量の単位と測定の意味について理解し、量の大きさについての感覚を豊かにするとともに、測定することなどについての技能を身に付けることができる。(小3 C イ(ア)㉔㉕) (思判表力)身の回りにおける量の単位に着目し、目的に応じて量を比較したり、量の大小及び相等関係を表現したりする力を養うことができる。(小3 C イ(イ)㉔) (学・人)数量や図形の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする態度を養う。(小3)	(知及技)身の回りにおける長さや体積などの量の単位と測定の意味について理解し、量の大きさについての感覚を豊かにするとともに、測定することなどについての技能を身に付けようとしている。 (思判表力)身の回りにおける量の単位に着目し、目的に応じて量を比較したり、量の大小及び相等関係を表現したりする力を養おうとしている。 (学・人)数量や図形の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする態度を養おうとしている。	測定 ・時刻や時間	・日常生活の中で時刻を読むこと。 ・時間の単位(日、午前、午後、時、分)について知り、それらの関係を理解すること ・時刻の読み方を日常生活に生かして、時刻と生活とを結び付けて表現すること
留意点 引継ぎ等	年間を通じて、真和志高等学校との交流及び共同学習を行い、障害の有無に関わらず共に学ぶ経験を重ね、社会性を養う。				

令和6年度 高等部 3年（Ⅱ課程Aグループ） 数学科 年間指導計画

単位数 ／配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
75	ゆい教室3学年 2名		

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技） ・数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解し、事象を数理的に処理する技能を身に付けるようにする。 （思判表力） ・日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 （学・人） ・数学的活動の楽しさや数学のよさに気づき、学習を振り返ってよりよく問題を解決しようとする態度、数学で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
前期	10	（知及技）3位数程度の整数の概念について理解し、数に対する感覚を豊かにするとともに、加法、減法及び乗法の意味や性質について理解し、これらを計算することについての技能を身に付けるようにする。（中1 Aア(7)㉔㉕㉖㉗） （思判表力）数とその表現や数の関係に着目し、具体物や図などを用いて、数の表し方や計算の仕方などを筋道立てて考えたり、関連付けて考えたりする力を養う。（中1 Aア(イ)㉔） （学・人）数量に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさに気づき、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。（中1）	（知及技）3位数程度の整数の概念について理解し、数に対する感覚を豊かにするとともに、加法、減法及び乗法の意味や性質について理解し、これらを計算することについての技能を身に付けるようにする。 （思判表力）数とその表現や数の関係に着目し、具体物や図などを用いて、数の表し方や計算の仕方などを筋道立てて考えたり、関連付けて考えたりする力を養おうとしている。 （学・人）数量に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさに気づき、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養おうとしている。	数と計算 ・整数の表し方	・1000 までの数をいくつかの同じまとまりに分割したうえで数えたり、分類して数えたりすること ・3 位数の表し方について理解すること ・数を十や百を単位としてみるなど、数の相対的な大きさについて理解すること ・3 位数の数系列、順序、大小について、数直線上の目盛りを読んで理解したり、数を表したりすること ・一つの数をほかの数の積としてみるなど、ほかの数と関係付けてみること ・数のまとまりに着目し、考察する範囲を広げながら数の大きさの比べ方や数え方を考え、日常生活で生かすこと
	10	（知及技）三角形や四角形、箱の形などの基本的な図形について理解し、図形についての感覚を豊かにするとともに、図形を作図したり、構成したりすることなどについての技能を身に付けるようにする。（中1 Bア(7)㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚） （思判表力）三角形や四角形、箱の形などの基本的な図形を構成する要素に着目して、平面図形の特徴を捉えたり身の回りの事象を図形の性質から関連付けて考えたりする力を養う。（中1 Bア(イ)㉔） （学・人）図形に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさに気づき、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。（中1）	（知及技）三角形や四角形、箱の形などの基本的な図形について理解し、図形についての感覚を豊かにするとともに、図形を作図したり、構成したりすることなどについての技能を身に付けるようにする。 （思判表力）三角形や四角形、箱の形などの基本的な図形を構成する要素に着目して、平面図形の特徴を捉えたり身の回りの事象を図形の性質から関連付けて考えたりする力を養おうとしている。 （学・人）図形に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさに気づき、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養おうとしている。	図形 ・身の回りにあるものの形	・直線について知ること ・三角形や四角形について知ること ・正方形、長方形及び直角三角形について知ること ・正方形や長方形で捉えられる箱の形をしたものについて理解し、それらを構成したり、分解したりすること ・直角、頂点、辺及び面という用語を用いて図形の性質を表現すること ・基本的な図形が分かり、その図形をかいたり、簡単な図表を作ったりすること ・正方形、長方形及び直角三角形をかいたり、作ったり、それらを使って平面に敷き詰めたりすること ・図形を構成する要素に着目し、構成の仕方考えるとともに、図形の性質を見だし、身の回りのものの形を図形として捉えること
	10	（知及技）身の回りにある長さ、体積、重さ及び時間の単位と測定の意味について理解し、量の大きさについての感覚を豊かにするとともに、それらを測定することについての技能を身に付けるようにする。（小3 Cア(7)㉔㉕㉖） （思判表力）身の回りの事象を量に着目して捉え、量の単位を用いて的確に表現する力を養う。（中1 Cア(イ)㉔） （学・人）数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさに気づき、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。（中1）	（知及技）身の回りにある長さ、体積、重さ及び時間の単位と測定の意味について理解し、量の大きさについての感覚を豊かにするとともに、それらを測定することについての技能を身に付けるようにする。 （思判表力）身の回りの事象を量に着目して捉え、量の単位を用いて的確に表現する力を養おうとしている。 （学・人）数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさに気づき、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養おうとしている。	測定 ・身の回りのものの量の単位と測定	・目盛の原点を対象の端に当てて測定すること。 ・長さの単位 [ミリメートル (mm)、センチメートル (cm)、メートル (m)、キロメートル (km)] や重さの単位 [グラム (g)、キログラム (kg)] について知り、測定の意味を理解すること ・かさの単位 [ミリリットル (mL)、デシリットル (dL)、リットル (L)] について知り、測定の意味を理解すること ・長さ、重さ及びかさについて、およその見当を付け、単位を選択したり、計器を用いて測定したりすること ・身の回りのものの特徴に着目し、目的に適した単位で量の大きさを表現したり、比べたりすること
	5	（知及技）身の回りにあるデータを分類整理して簡単な表やグラフに表したり、それらを問題解決において用いたりすることについての技能を身に付けるようにする。（中1 Dア(7)㉔） （思判表力）身の回りの事象を、データの特徴に着目して捉え、簡潔に表現したり、考察したりする力を養う。（中1 Dア(イ)㉔） （学・人）データの活用に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさに気づき、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。（中1）	（知及技）身の回りにあるデータを分類整理して簡単な表やグラフに表したり、それらを問題解決において用いたりすることについての技能を身に付けるようにする。 （思判表力）身の回りの事象を、データの特徴に着目して捉え、簡潔に表現したり、考察したりする力を養おうとしている。 （主学）データの活用に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさに気づき、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養おうとしている。	データの活用 ・身の回りにある事象を簡単な絵や図、記号に置き換えること	・身の回りにある数量を簡単な表やグラフに表したり、読み取ったりすること ・身の回りの事象に関するデータを整理する観点に着目し、簡単な表やグラフを用いながら読み取ったり、考察したりすること

後期	15	(知及技) 3位数程度の整数の概念について理解し、数に対する感覚を豊かにするとともに、加法、減法及び乗法の意味や性質について理解し、これらを計算することについての技能を身に付けるようにする。(中1 Aイ(7)㉔④㉔㉔) (思判表力) 数とその表現や数の関係に着目し、具体物や図などを用いて、数の表し方や計算の仕方などを筋道立てて考えたり、関連付けて考えたりする力を養う。(中1 Aイ(1)㉔) (学・人) 数量に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさに気付き、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。(中1)	(知及技) 3位数程度の整数の概念について理解し、数に対する感覚を豊かにするとともに、加法、減法及び乗法の意味や性質について理解し、これらを計算することについての技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 数とその表現や数の関係に着目し、具体物や図などを用いて、数の表し方や計算の仕方などを筋道立てて考えたり、関連付けて考えたりする力を養おうとしている。 (学・人) 数量に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさに気付き、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養おうとしている。	数と計算 ・整数の加法及び減法	・2位数の加法及び減法について理解し、その計算ができること。また、それらの筆算の仕方について知ること ・簡単な場合について3位数の加法及び減法の計算の仕方を知ること ・加法及び減法に関して成り立つ性質について理解すること ・計算機を使って、具体的な生活場面における簡単な加法及び減法の計算ができること ・数量の関係に着目し、数を適用する範囲を広げ、計算に関して成り立つ性質や計算の仕方を見いだすとともに、日常生活で生かすこと
	15	(知及技) 3位数程度の整数の概念について理解し、数に対する感覚を豊かにするとともに、加法、減法及び乗法の意味や性質について理解し、これらを計算することについての技能を身に付けるようにする。(中1 Aウ(7)㉔④㉔㉔) (思判表力) 数とその表現や数の関係に着目し、具体物や図などを用いて、数の表し方や計算の仕方などを筋道立てて考えたり、関連付けて考えたりする力を養う。(中1 Aウ(1)㉔) (学・人) 数量に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさに気付き、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。(中1)	(知及技) 3位数程度の整数の概念について理解し、数に対する感覚を豊かにするとともに、加法、減法及び乗法の意味や性質について理解し、これらを計算することについての技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 数とその表現や数の関係に着目し、具体物や図などを用いて、数の表し方や計算の仕方などを筋道立てて考えたり、関連付けて考えたりする力を養おうとしている。 (学・人) 数量に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさに気付き、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養おうとしている。	数と計算 ・整数の乗法	・乗法が用いられる場合や意味について知ること ・乗法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりすること ・乗法に関して成り立つ簡単な性質について理解すること ・乗法九九について知り、1位数と1位数との乗法の計算ができること ・数量の関係に着目し、計算に関して成り立つ性質や計算の仕方を見いだすとともに、日常生活で生かすこと
	15	(知及技) 身の回りにある長さ、体積、重さ及び時間の単位と測定の意味について理解し、量の大きさについての感覚を豊かにするとともに、それらを測定することについての技能を身に付けるようにする。(中1 Cイ(7)㉔④) (思判表力) 身の回りの事象を量に着目して捉え、量の単位を用いて的確に表現する力を養う。(中1 Cイ(1)㉔) (学・人) 数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさに気付き、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。(中1)	(知及技) 身の回りにある長さ、体積、重さ及び時間の単位と測定の意味について理解し、量の大きさについての感覚を豊かにするとともに、それらを測定することについての技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 身の回りの事象を量に着目して捉え、量の単位を用いて的確に表現する力を養おうとしている。 (学・人) 数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさに気付き、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養おうとしている。	測定 ・時刻や時間	・時間の単位(秒)について知ること ・日常生活に必要な時刻や時間を求めること ・時間の単位に着目し、簡単な時刻や時間の求め方を日常生活に生かすこと
留意点 引継ぎ等		年間を通じて、真和志高等学校との交流及び共同学習を行い、障害の有無に関わらず共に学ぶ経験を重ね、社会性を養う。			

令和6年度 高等部1年（Ⅱ課程Aグループ） 理科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2／70	ゆい教室1学年 1名		『くらしに役立つ理科』 (東洋館出版社)

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴や変化に気付くとともに、身近な生活において必要な習慣や技能を身に付けるようにする。(小2段階ア) (思判表力) 自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて気付き、感じたことを表現しようとする。(小2段階イ) (学・人) 自分のことに取り組もうとしたり、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけようとしたり、意欲や自信をもって学んだり、生活に生かそうとしたりする態度を養う。(小2段階ウ)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
前期	15	(知及技) 身近な生命（人）について知ることができる。(小2サ(イ)) (思判表力) 身近な生命（人）が分かり、それらを表現しようことができる。(小2サ(ア)) (学・人) 身近な生命（人）について、興味を持って学ぼうとすることができる。	(知・技) 視聴覚教材等を通して、人の仕組みについて知ることができる。 (思・判・表) 人の仕組みの学習を通して知ったことを表現している。 (主学) 自分から人の仕組みについて学ぼうとしている。 【評価資料】 ・単元テスト ・活動の様子や課題への取り組みを評価する。	【生命】 ・人の体のつくりと働き ・病気とその予防 ・けがとその処置	・感覚器官、消化器官、呼吸循環器、骨と筋肉のつくりと働き ・体を守るしくみ、様々な病気、病気の予防 ・擦り傷や切り傷、打撲や捻挫、やけど、脱臼や骨折
	10	(知及技) 身近な自然（地球等）について知ることができる。(小2サ(イ)) (思判表力) 身近な自然（地球等）の特徴や変化が分かり、それらを表現しようすることができる。(小2サ(ア)) (学・人) 身近な自然（地球等）について、興味を持って学ぼうとすることができる。	(知・技) 視聴覚教材等を通して、自然（地球等）について知ることができる。 (思・判・表) 自然（地球等）の学習を通して知ったことを表現している。 (主学) 自分から自然（地球等）について学ぼうとしている。 ・単元テスト ・活動の様子や課題への取り組みを評価する。	【地球と自然】 ・地球と自然	・地球と天体 ・地球の環境 ・気象
	10	(知及技) 身近にあるものの仕組みや働きについて知ることができる。(小2シ(イ)) (思判表力) 身近にあるものの仕組みや働きが分かり、それらを表現しようすることができる。(小2シ(ア)) (学・人) 身近にあるものの仕組みや働きについて、興味を持って学ぼうとすることができる。	(知・技) 視聴覚教材や実験を通して、ものの仕組みや働きについて知ることができる。 (思・判・表) ものの仕組みや働きについての学習を通して知ったことを表現している。 (主学) 自分からものの仕組みや働きについて学ぼうとしている。 【評価資料】 ・単元テスト ・活動の様子や課題への取り組みを評価する。	【物質とエネルギー】 ・身の回りにある物質	・プラスチック、金属、ガラス、セメント ・3Rについて（リデュース、リユース、リサイクル）
	15	(知及技) 身近な生命（植物等）について知ることができる。(小2サ(イ)) (思判表力) 身近な生命（植物等）が分かり、それらを表現しようすることができる。(小2サ(ア)) (学・人) 身近な生命（植物等）について、興味を持って学ぼうとすることができる。	(知・技) 植物の観察や育成を通して、植物等について知ることができる。 (思・判・表) 植物の観察や育成を通して知ったことを表現している。 (主学) 自分から植物の観察や育成について学ぼうとしている。 【評価資料】 ・単元テスト ・活動の様子や課題への取り組みを評価する。	【生命】 ・植物 ・動物 ・微生物 ・生物と食物連鎖	・植物の観察、種類、特徴、育成 ・動物の観察、種類、特徴 ・微生物の働き ・食物連鎖の関係性

後期	10	(知及技) 身近な自然（災害）について知ることができる。（小2サ(イ)） (思判表力) 身近な自然（災害）の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとするところことができる。（小2サ(ア)） (学・人) 身近な自然（災害）について、興味を持って学ぼうとすることができる。	(知・技) 視聴覚教材等を通して、自然（災害）について知ることができる。 (思・判・表) 自然（災害）の学習を通して知ったことを表現している。 (主学) 自分から自然（災害）について学ぼうとしている。 【評価資料】 ・ 単元テスト ・ 活動の様子や課題への取り組みを評価する。	【地球と自然】 ・ 自然災害	・ 地震、津波、台風、火山
	10	(知及技) 身近にあるものの仕組みや働きについて知ることができる。（小2シ(イ)） (思判表力) 身近にあるものの仕組みや働きが分かり、それらを表現しようとするところことができる。（小2シ(ア)） (学・人) 身近にあるものの仕組みや働きについて、興味を持って学ぼうとすることができる。	(知・技) 視聴覚教材や実験を通して、ものの仕組みや働きについて知ることができる。 (思・判・表) ものの仕組みや働きについての学習を通して知ったことを表現している。 (主学) 自分からものの仕組みや働きについて学ぼうとしている。 【評価資料】 ・ 単元テスト ・ 活動の様子や課題への取り組みを評価する。	【物質とエネルギー】 ・ エネルギーと機械	・ 日常生活に関係の深いエネルギー ・ 日常生活に関係の深い機械・器具の使い方
年間を通して		(知及技) ICTを活用して、調べ学習をすることができる。 (思判表力) 野外観察を行い、自然の様子について気づいたことを表現することができる。 (学・人) 視聴覚教材や科学実験を通して、自然や身の回りのものへの興味を深めようとするところことができる。	(知・技) ICTを活用して、理科に関することを調べようとしている。 (思・判・表) 野外観察で気づいたことを表現しようとしている。 (主学) 視聴覚教材や科学実験を通して、自然や身の回りのものへの興味を深めようとしている。 【評価資料】 活動の様子や課題への取り組みを評価する。		・ ICTを使った調べ学習 ・ 野外観察（校外学習） ・ 視聴覚教材の視聴 ・ 科学実験 ・ 調理実習
留意点 引継ぎ等	年間を通じて、真和志高等学校との交流及び共同学習を行い、障害の有無に関わらず共に学ぶ経験を重ね、社会性を養う。				

令和6年度 高等部2年（Ⅱ課程Aグループ） 理科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2／70	ゆい教室2学年 1名		『くらしに役立つ理科』 (東洋館出版社)

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わりに気付くとともに、生活に必要な習慣や技能を身に付けることができる。(小3段階ア) (思判表力) 自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて理解し、考えたことを表現することができる。(小3段階イ) (学・人) 自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりする態度を養うことができる。(小3段階ウ)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
前期	15	(知及技) 日常生活に関わりのある生命(人)について関心をもって調べることができる。(小3サ(イ)) (思判表力) 日常生活に関わりのある生命(人)の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとすることができる。(小3サ(ア)) (学・人) 日常生活に関わりのある命(人)について、興味を持って学ぼうとすることができる。	(知・技) 視聴覚教材等を通して、人の仕組みについて知ることができている。 (思・判・表) 人の仕組みの学習を通して知ったことを表現している。 (主学) 自分から人の仕組みについて学ぼうとしている。 【評価資料】 ・単元テスト ・活動の様子や課題への取り組みを評価する。	【生命】 ・人の体のつくりと働き ・病気とその予防 ・けがとその処置	・感覚器官、消化器官、呼吸循環器、骨と筋肉のつくりと働き ・体を守るしくみ、様々な病気、病気の予防 ・擦り傷や切り傷、打撲や捻挫、やけど、脱臼や骨折
	10	(知及技) 日常生活に関わりのある自然(地球等)について関心をもって調べることができる。(小3サ(イ)) (思判表力) 日常生活に関わりのある自然(地球等)の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとすることができる。(小3サ(ア)) (学・人) 日常生活に関わりのある自然(地球等)について、興味を持って学ぼうとすることができる。	(知・技) 視聴覚教材等を通して、自然(地球等)について知ることができている。 (思・判・表) 自然(地球等)の学習を通して知ったことを表現している。 (主学) 自分から自然(地球等)について学ぼうとしている。 【評価資料】 ・単元テスト ・活動の様子や課題への取り組みを評価する。	【地球と自然】 ・地球と自然	・地球と天体 ・地球の環境 ・気象
	10	(知及技) ものの仕組みや働きに関して関心をもって調べることができる。(小3シ(イ)) (思判表力) 日常生活の中で、ものの仕組みや働きが分かり、それらを表現することができる。(小3シ(ア)) (学・人) ものの仕組みや働きについて、興味をもって学ぼうとすることができる。	(知・技) 視聴覚教材や実験を通して、ものの仕組みや働きについて知ることができている。 (思・判・表) ものの仕組みや働きについての学習を通して知ったことを、表現している。 (主学) 自分からものの仕組みや働きについて学ぼうとしている。 【評価資料】 ・単元テスト ・活動の様子や課題への取り組みを評価する。	【物質とエネルギー】 ・身の回りにある物質	・プラスチック、金属、ガラス、セメント ・3Rについて(リデュース、リユース、リサイクル)
	15	(知及技) 日常生活に関わりのある生命(植物等)について関心をもって調べることができる。(小3サ(イ)) (思判表力) 日常生活に関わりのある生命(植物等)の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとすることができる。(小3サ(ア)) (学・人) 日常生活に関わりのある命(植物等)について、興味を持って学ぼうとすることができる。	(知・技) 植物の観察や育成を通して、植物等について知ることができている。 (思・判・表) 植物の観察や育成を通して知ったことを表現している。 (主学) 自分から植物の観察や育成について学ぼうとしている。 【評価資料】 ・単元テスト ・活動の様子や課題への取り組みを評価する。	【生命】 ・植物 ・動物 ・微生物 ・生物と食物連鎖	・植物の観察、種類、特徴、育成 ・動物の観察、種類、特徴 ・微生物の働き ・食物連鎖の関係性

後期	10	(知及技) 身近な自然（災害）について知ることができる。（小2サ(イ)） (思判表力) 身近な自然（災害）の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとするところができる。（小2サ(ア)） (学・人) 身近な自然（災害）について、興味を持って学ぼうとすることができる。	(知・技) 視聴覚教材等を通して、自然（災害）について知ることができている。 (思・判・表) 自然（災害）の学習を通して知ったことを、表現している。 (主学) 自分から自然（災害）について学ぼうとしている。 【評価資料】 ・ 単元テスト ・ 活動の様子や課題への取り組みを評価する。	【地球と自然】 ・ 自然災害	・ 地震、津波、台風、火山
	10	(知及技) ものの仕組みや働きに関して関心をもって調べることができる。（小3シ(イ)） (思判表力) 日常生活の中で、ものの仕組みや働きが分かり、それらを表現することができる。（小3シ(ア)） (学・人) ものの仕組みや働きについて、興味をもって学ぼうとすることができる。	(知・技) 視聴覚教材や実験を通して、ものの仕組みや働きについて知ることができている。 (思・判・表) ものの仕組みや働きについての学習を通して知ったことを、表現している。 (主学) 自分からものの仕組みや働きについて学ぼうとしている。 【評価資料】 ・ 単元テスト ・ 活動の様子や課題への取り組みを評価する。	【物質とエネルギー】 ・ エネルギーと機械	・ 日常生活に関係の深いエネルギー ・ 日常生活に関係の深い機械・器具の使い方
年間を通して		(知及技) ICTを活用して、調べ学習をすることができる。 (思判表力) 野外観察を行い、自然の様子について気づいたことを表現することができる。 (学・人) 視聴覚教材や科学実験を通して、自然や身の回りのものへの興味を深めようとするところができる。	(知・技) ICTを活用して、理科に関することを調べようとしている。 (思・判・表) 野外観察で気づいたことを表現しようとしている。 (主学) 視聴覚教材や科学実験を通して、自然や身の回りのものへの興味を深めようとしている。 【評価資料】 活動の様子や課題への取り組みを評価する。		・ ICTを使った調べ学習 ・ 野外観察（校外学習） ・ 視聴覚教材の視聴 ・ 科学実験 ・ 調理実習
留意点 引継ぎ等	年間を通じて、真和志高等学校との交流及び共同学習を行い、障害の有無に関わらず共に学ぶ経験を重ね、社会性を養う。				

令和6年度 高等部3年（Ⅱ課程Aグループ） 理科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2／70	ゆい教室3学年 2名		『くらしに役立つ理科』 (東洋館出版社)

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 自然の事物・現象について気付き、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。(中1段階) (思判表力) 観察、実験などを行い、自然の事物・現象について、主に差異点や共通点に気付き、疑問をもつ力を養うことができる。(中1段階) (学・人) 自然の事物・現象について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かそうとする態度を養うことができる。(中1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
前期	15	(知及技) 人の体のつくりと運動についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。(中2 Aア) (思判表力) 人の体のつくりと運動について、疑問に思ったことについて既習の内容や生活経験を基に予想する力を養うことができる。(中2 Aイ) (学・人) 人の体のつくりと運動について見いだした疑問を進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かそうとする態度を養うことができる。(中2 Aウ)	(知・技) 視聴覚教材等を通して、人の体のつくりと運動について理解を図ろうとしている。 (思・判・表) 人の体のつくりと運動の学習を通して、疑問に思ったり、予想したりしたことを表現している。 (主学) 自主的に人の体のつくりと運動について学ぼうとしている。 【評価資料】 ・単元テスト ・活動の様子や課題への取り組みを評価する。	【生命】 ・人の体のつくりと働き ・病気とその予防 ・けがとその処置	・感覚器官、消化器官、呼吸循環器、骨と筋肉のつくりと働き ・体を守るしくみ、様々な病気、病気の予防 ・擦り傷や切り傷、打撲や捻挫、やけど、脱臼や骨折
	10	(知及技) 地球等についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。(中2 Bア) (思判表力) 地球等について、疑問をもったことについて既習の内容や生活経験を基に予想する力を養うことができる。(中2 Bイ) (学・人) 地球等について見いだした疑問を進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かそうとする態度を養うことができる。(中2 Bウ)	(知・技) 視聴覚教材等を通して、地球等について理解を図ろうとしている。 (思・判・表) 地球等の学習を通して、疑問に思ったり、予想したりしたことを表現している。 (主学) 自主的に地球等について学ぼうとしている。 【評価資料】 ・単元テスト ・活動の様子や課題への取り組みを評価する。	【地球と自然】 ・地球と自然	・地球と天体 ・地球の環境 ・気象
	10	(知及技) 物の性質について気付き、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。(中1 Cア) (思判表力) 物の性質から、主に差異点や共通点に気付き、疑問をもつ力を養うことができる。(中1 Cイ) (学・人) 物の性質について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かそうとする態度を養うことができる。(中1 Cウ)	(知・技) 視聴覚教材や実験を通して、物の性質について気付いている。 (思・判・表) 物の性質の学習を通して、気付いたり、疑問に思ったりしたことを表現している。 (主学) 自主的に物の性質について学ぼうとしている。 【評価資料】 ・単元テスト ・活動の様子や課題への取り組みを評価する。	【物質とエネルギー】 ・身の回りにある物質	・プラスチック、金属、ガラス、セメント ・3 Rについて(リデュース、リユース、リサイクル)
	15	(知及技) 身の回りの生物の様子について気付き、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。(中1 A A(ア)) (思判表力) 身の回りの生物の様子から、主に差異点や共通点に気付き、疑問をもつ力を養うことができる。(中1 A(イ)) (学・人) 身の回りの生物の様子について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かそうとする態度を養うことができる。(中1 A(ウ))	(知・技) 植物の観察や育成を通して、身の回りの生物の様子について気付いている。 (思・判・表) 植物の観察や育成を通して、気付いたり、疑問に思ったりしたことを表現している。 (主学) 自主的に植物の観察や育成について学ぼうとしている。 【評価資料】 ・単元テスト ・活動の様子や課題への取り組みを評価する。	【生命】 ・植物 ・動物 ・微生物 ・生物と食物連鎖	・植物の観察、種類、特徴、育成 ・動物の観察、種類、特徴 ・微生物の働き ・食物連鎖の関係性

後期	10	(知・技) 気象現象等についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。(中2Bア) (思・判・表) 気象現象等について、疑問をもったことについて既習の内容や生活経験を基に予想する力を養うことができる。(中2Bイ) (学・人) 気象現象等について見いだした疑問を進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かそうとする態度を養うことができる。(中2Bウ)	(知・技) 視聴覚教材等を通して、気象現象等について理解を図ろうとしている。 (思・判・表) 気象現象等の学習を通して、疑問に思ったり、予想したりしたことを表現している。 (主学) 自主的に気象現象等について学ぼうとしている。 【評価資料】 ・単元テスト ・活動の様子や課題への取り組みを評価する。	【地球と自然】 ・自然災害	・地震、津波、台風、火山
	10	(知・技) 電気の性質や働きについての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。(高2Cア) (思・判・表) 電気の性質や働きについて調べる中で、主にそれらの仕組みや性質、規則性及び働きについて、より妥当な考えをつくりだす力を養うことができる。(高2Cイ) (学・人) 電気の性質や働きについて進んで調べ、学んだことを生活に生かそうとする態度を養うことができる。(高2Cウ)	(知・技) 視聴覚教材等を通して、電気の性質や働きについて理解を図ろうとしている。 (思・判・表) 電気の性質や働きについて調べ、より妥当な考えを表現している。 (主学) 自主的に電気の性質や働きについて学ぼうとしている。 【評価資料】 ・単元テスト ・活動の様子や課題への取り組みを評価する。	【物質とエネルギー】 ・エネルギーと機械	・日常生活に関係の深いエネルギー ・日常生活に関係の深い機械・器具の使い方
年間を通して		(知・技) ICTを活用して、調べ学習をすることができる。 (思・判・表) 野外観察を行い、自然の様子について気づいたことを表現することができる。 (学・人) 視聴覚教材や科学実験を通して、自然や身の回りのものへの興味を深めようとする。	(知・技) ICTを活用して、理科に関することを調べようとしている。 (思・判・表) 野外観察で気づいたことを表現しようとしている。 (主学) 視聴覚教材や科学実験を通して、自然や身の回りのものへの興味を深めようとしている。 【評価資料】 ・活動の様子や課題への取り組みを評価する。		・ICTを使った調べ学習 ・野外観察（校外学習） ・視聴覚教材の視聴 ・科学実験 ・調理実習
留意点 引継ぎ等	年間を通じて、真和志高等学校との交流及び共同学習を行い、障害の有無に関わらず共に学ぶ経験を重ね、社会性を養う。				

令和6年度 高等部 1年（Ⅱ課程Aグループ） 音楽科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	ゆい教室1学年 1名		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 曲名や曲想と簡単な音楽のつくりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。(小2段階) (思判表力) 音楽表現を工夫することや、表現することを通じて、音や音楽に興味をもって聴くことができるようにする。(小2段階) (学・人) 音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとする態度を養う。(小2段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
前期	34	(知及技) 示範を見て模倣したり、拍や特徴的なリズムを意識したりして手足や身体全体を動かす技能を身に付けることができる。(小2段階A工(ウ)㊟) (思判表力) 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムの特徴を感じ取り、体を動かすことについて思いをもつことができる。(小2段階A工(ア)) (学・人) 音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、身体表現に取り組むことができる。(小2段階)	(知・技) 示範を見て模倣したり、拍や特徴的なリズムを自分なりの方法で表現しようとしている。 (思・判・表) 身体表現についての知識や技能を得ながら、身体で表現しようとしている。 (主学) 音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、身体表現に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【身体表現】	・表現方法について確認する。 ・音楽に合わせて身体で表現する。 ・音符について学習する。 ・音楽に合わせてリズムを叩く。
		(知及技) 曲の特徴的なリズムと旋律について気付くことができる。(小2段階Aア(イ)㊟) (思判表力) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもつことができる。(小2段階Aア(ア)) (学・人) 音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、歌唱表現に取り組むことができる。(小2段階)	(知・技) 教師の支援を受けながら、曲の特徴的なリズムと旋律について気付こうとしている。 (思・判・表) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもとうとしている。 (主学) 音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、歌唱表現に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【歌唱】	・季節や行事の歌に合わせて振りや手話を交えて表現したり、声に出して歌ったりする。 ・イタリア歌曲に触れる。 ・歌詞の意味について知る。 ・曲の雰囲気と曲に込められた思いについて知る。
		(知及技) 拍や曲の特徴的なリズムについて気付くことができる。(小2段階Aイ(イ)㊟) (思判表力) 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現に対する思いをもつことができる。(小3段階Aイ(ア)) (学・人) 音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、器楽表現に取り組むことができる。(小2段階)	(知・技) 教師の支援を受けながら、拍や曲の特徴的なリズムについて気付こうとしている。 (思・判・表) 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、教師と一緒に器楽表現をしようとしている。 (主学) 音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、器楽表現に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【器楽】	・楽器の名称や楽器の特徴について知る。 ・正しい姿勢と奏法を心がけて演奏する。 ・必要に応じて教師の支援を受けながら演奏する。 ・皆と一緒に合わせて演奏する。
		(知及技) 声や身の回りの様々な音の直腸について、それらが生み出す面白さなどに触れて気付くことができる。(小2段階Aウ(イ)㊟) (思判表力) 音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音遊びを通して、音の面白さに気付くことができる。(小2段階Aウ(ア)㊟) (学・人) 音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、創作に取り組むことができる。(小2段階)	(知・技) 声や身の回りの様々な音の直腸について、それらが生み出す面白さなどに触れて気付こうとしている。 (思・判・表) 音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音遊びを通して、音の面白さに気付こうとしている。 (主学) 音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、創作に取り組もうとしている。	【創作】	・創作について知る。 ・言葉を生かした旋律作りをする。 ・反復、変化、対照などの手法を知る。 ・必要に応じて教師の支援を受けながら創作する。
		(知及技) 身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見つけることができる。(小2段階Bア(イ)) (思判表力) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴くことができる。(小2段階Bア(ア)) (学・人) 音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、鑑賞の学習に取り組むことができる。(小2段階)	(知・技) 身近な人の演奏に触れて、教師の支援を受けながら好きな音色や楽器の音を見つけようとしている。 (思・判・表) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴こうとしている。 (主学) 音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、鑑賞の学習に取り組もうとしている。 【評価資料】学習の様子で評価する。	【鑑賞】	・クラシックやポップス、洋楽等、様々な楽曲を鑑賞する。 ・校外学習

後 期	36	(知及技) 示範を見て模倣したり、拍や特徴的なリズムを意識したりして手足や身体全体を動かす技能を身に付けることができる。(小2段階A工(7)㊟) (思判表力) 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムの特徴を感じ取り、体を動かすことについて思いをもつことができる。(小2段階A工(7)) (学・人) 音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、身体表現に取り組むことができる。(小2段階)	(知・技) 示範を見て模倣したり、拍や特徴的なリズムを自分なりの方法で表現しようとしている。 (思・判・表) 身体表現についての知識や技能を得ながら、身体で表現しようとしている。 (主学) 音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、身体表現に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【身体表現】	・表現方法について確認する。 ・音楽に合わせて身体で表現する。 ・リズムに合わせて身体で表現する。
		(知及技) 曲の特徴的なリズムと旋律について気付くことができる。(小2段階Aア(1)㊟) (思判表力) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもつことができる。(小2段階Aア(7)) (学・人) 音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、歌唱表現に取り組むことができる。(小2段階)	(知・技) 教師の支援を受けながら、曲の特徴的なリズムと旋律について気付こうとしている。 (思・判・表) 歌唱表現について知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもとうとしている。 (主学) 音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、歌唱表現に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【歌唱】	・季節や行事の歌に合わせて身振りや手話を交えて表現したり、声に出して歌ったりする。 ・歌詞の意味について知る。 ・曲の雰囲気と曲に込められた思いについて学ぶ。
		(知及技) 拍や曲の特徴的なリズムについて気付くことができる。(小2段階Aイ(1)㊟) (思判表力) 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現に対する思いをもつことができる。(小3段階Aイ(7)) (学・人) 音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、器楽表現に取り組むことができる。(小2段階)	(知・技) 教師の支援を受けながら、拍や曲の特徴的なリズムについて気付こうとしている。 (思・判・表) 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、教師と一緒に器楽表現をしようとしている。 (主学) 音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、器楽表現に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【器楽】	・楽器の名称や楽器の特徴について知る。 ・正しい姿勢と奏法を心がけて演奏する。 ・必要に応じて教師の支援を受けながら演奏する。 ・皆と一緒に合わせて演奏する。
		(知及技) 身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見つけることができる。(小2段階Bア(1)) (思判表力) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴くことができる。(小2段階Bア(7)) (学・人) 音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、鑑賞の学習に取り組むことができる。(小2段階)	(知・技) 身近な人の演奏に触れて、教師の支援を受けながら好きな音色や楽器の音を見つけようとしている。 (思・判・表) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴こうとしている。 (主学) 音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、鑑賞の学習に取り組もうとしている。 【評価資料】学習の様子で評価する。	【鑑賞】	・クラシックやポップス、洋楽等、様々な楽曲を鑑賞する。 ・校外学習
留意点 引継ぎ等		年間を通じて、真和志高等学校との交流及び共同学習を行い、障害の有無に関わらず共に学ぶ経験を重ね、社会性を養う。			

令和6年度 高等部 2年（Ⅱ課程Aグループ） 音楽科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	ゆい教室2学年 1名		

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技） 曲名や曲想と音楽のつくりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。（小3段階） （思判表力） 音楽表現に対する思いをもつことや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。（小3段階） （学・人） 音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に興味をもつとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。（小3段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
前期	32	（知及技） 音や音楽を聴いて、様々な体の動きで表現する技能を身に付けることができる。（小3段階A工(7)④） （思判表力） 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムや旋律の特徴、歌詞を感じ取り、体を動かすことについて思いをもつことができる。（小3段階A工(7)） （学・人） 音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら身体表現に取り組むことができる。（小3段階）	（知・技） 音や音楽を聴いて、様々な体の動きで表現する技能を身に付けようとしている。 （思・判・表） 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムや旋律の特徴、歌詞を感じ取り、思いをもって体を動かそうとしている。 （主学） 音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら身体表現に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	【身体表現】	・表現方法について確認する。 ・音楽に合わせて身体で表現する。 ・複数の音符を用いたりリズム打ちや音符の理解について学習する。 ・リズムに合わせて身体で表現をする。
		（知及技） 曲の雰囲気と曲の速さや強弱との関わりについて気付くことができる。（小3段階Aア(1)⑦） （思判表力） 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現に対する思いをもつことができる。（小3段階Aア(7)） （学・人） 音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら歌唱表現に取り組むことができる。（小3段階）	（知・技） 曲の雰囲気と曲の速さや強弱との関わりについて気付くようとしている。 （思・判・表） 歌唱表現について知識や技能を得たり生かしたりしながら、思いをもって歌唱表現をしようとしている。 （主学） 音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら歌唱表現に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	【歌唱】	・季節や行事の歌に合わせて振りや手話を交えて表現したり、声に出して歌ったりする。 ・歌詞の意味について学習する。 ・曲の雰囲気と曲に込められた思いについて学ぶ。
		（知及技） リズム、速度や強弱の違いについて気付くことができる。（小3段階Aイ(1)⑦） （思判表力） 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現に対する思いをもつことができる。（小3段階Aイ(7)） （学・人） 音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら器楽表現に取り組むことができる。（小3段階）	（知・技） リズム、速度や強弱の違いについて気付くようとしている。 （思・判・表） 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、思いをもって器楽表現をしようとしている。 （主学） 音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら器楽表現に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	【器楽】	・楽器の各部位の名称や楽器の特徴について学ぶ。 ・正しい姿勢と奏法を心がけて演奏する。 ・工工四の読み方について学ぶ。 ・勘所の位置を目と指で確認しながら演奏する。 ・必要に応じて教師の支援を受けながら演奏する。
		（知及技） 曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付くことができる。（小3段階Bア(1)） （思判表力） 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の楽しさを見いだし聴くことができる。（小3段階Bア(7)） （学・人） 音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら鑑賞の学習に取り組むことができる。（小3段階）	（知・技） 曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付くようとしている。 （思・判・表） 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の楽しさを見いだし聴くようとしている。 （主学） 音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら鑑賞の学習に取り組んでいる。 【評価資料】学習の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	【鑑賞】	・クラシックや宗教音楽、民族音楽など色々なジャンルの曲を鑑賞する。

後期	38	(知及技) 音や音楽を聴いて、様々な体の動きで表現する技能を身に付けることができる。(小3段階A工(9)㊷) (思判表力) 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムや旋律の特徴、歌詞を感じ取り、体を動かすことについて思いをもつことができる。(小3段階A工(7)) (学・人) 音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら身体表現に取り組むことができる。(小3段階)	(知・技) 音や音楽を聴いて、様々な体の動きで表現する技能を身に付けようとしている。(思・判・表) 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムや旋律の特徴、歌詞を感じ取り、思いをもって体を動かそうとしている。(主学) 音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら身体表現に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	【身体表現】	・表現方法について確認する。 ・音楽に合わせて身体で表現する。 ・複数の音符を用いたリズム打ちや音符の理解について学習する。 ・リズムに合わせて身体で表現をする。
		(知及技) 曲の雰囲気と曲の速さや強弱との関わりについて気付くことができる。(小3段階Aア(1)㊷) (思判表力) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現に対する思いをもつことができる。(小3段階Aア(7)) (学・人) 音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら歌唱表現に取り組むことができる。(小3段階)	(知・技) 曲の雰囲気と曲の速さや強弱との関わりについて気付こうとしている。(思・判・表) 歌唱表現について知識や技能を得たり生かしたりしながら、思いをもって歌唱表現をしようとしている。(主学) 音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら歌唱表現に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	【歌唱】	・季節や行事の歌に合わせて振りや手話を交えて表現したり、声に出して歌ったりする。 ・歌詞の意味について学習する。 ・曲の雰囲気と曲に込められた思いについて学ぶ。
		(知及技) リズム、速度や強弱の違いについて気付くことができる。(小3段階Aイ(1)㊷) (思判表力) 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現をに対する思いをもつことができる。(小3段階Aイ(7)) (学・人) 音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら器楽表現に取り組むことができる。(小3段階)	(知・技) リズム、速度や強弱の違いについて気付こうとしている。(思・判・表) 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、思いをもって器楽表現をしようとしている。(主学) 音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら器楽表現に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	【器楽】	・工工四を自分で読み進めながら練習に取り組む。 ・音の響きの美しさを追求し、表現力を高める。 ・ポジション移動時の弾き方を学ぶ。 ・必要に応じて教師の支援を受けながら演奏する。
		(知及技) 曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付くことができる。(小3段階Bア(1)) (思判表力) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の楽しさを見いだし聴くことができる。(小3段階Bア(7)) (学・人) 音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら鑑賞の学習に取り組むことができる。(小3段階)	(知・技) 曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付こうとしている。(思・判・表) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の楽しさを見いだし聴こうとしている。(主学) 音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら鑑賞の学習に取り組んでいる。 【評価資料】学習の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	【鑑賞】	・クラシックや宗教音楽、民族音楽など色々なジャンルの曲を鑑賞する。
		年間を通じて、真和志高等学校との交流及び共同学習を行い、障害の有無に関わらず共に学ぶ経験を重ね、社会性を養う。			
留意点 引継ぎ等					

令和6年度 高等部 3年（Ⅱ課程Aグループ） 音楽科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	ゆい教室3学年 2名		

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技） 曲名や曲の雰囲気と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくり身体表現の技能を身に付けるようにする。（中1段階） （思判表力） 音楽表現を考えて表したい思いや意図をもつことや、音や音楽を味わいながら聴くことができるようにする。（中1段階） （学・人） 進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に触れるとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。（中1段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
前期	36	（知及技） 曲の雰囲気と音楽の構造との関わりについて気付くことができる。（中1段階A工(イ)㉞） （思判表力） 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、リズムの特徴や曲の雰囲気を感じ取り、体を動かすことについての思いや意図をもつことができる。（中1段階A工(ア)） （学・人） 進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら身体表現に取り組むことができる。（中1段階）	（知・技） 曲の雰囲気と音楽の構造との関わりについて気付こうとしている。 （思・判・表） 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、リズムの特徴や曲の雰囲気を感じ取り、思いや意図をもって体を動かそうとしている。 （主学） 進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら身体表現に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【身体表現】	・表現方法について確認する。 ・音楽に合わせて身体で表現する。 ・複数の音符を用いたリズム打ちを知る。 ・様々な音符について学ぶ。 ・様々なリズムに合わせて身体で表現をする。
		（知及技） 曲想と歌詞の表す情景やイメージとの関わりについて気付くことができる。（中1段階Aア(イ)㉞） （思判表力） 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の雰囲気に合いそうな表現を工夫し、思いや意図をもって歌唱表現しようとしている。 （学・人） 進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら歌唱表現に取り組むことができる。（中1段階）	（知・技） 曲想と歌詞の表す情景やイメージとの関わりについて気付こうとしている。 （思・判・表） 歌唱表現について知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の雰囲気に合いそうな表現を工夫し、思いや意図をもって歌唱表現しようとしている。 （主学） 進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら歌唱表現に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【歌唱】	・歌詞の意味を理解する。 ・表現の意図を持って、創造的に歌う。 ・詩の心を大切にしながら豊かな表現で歌う。 ・英語の歌の発音に注意して歌う。 ・リズムとハーモニーの練習をする。 ・外国の民謡に慣れ親しむ。
		（知及技） いろいろな音の響きの特徴やリズム・パターンや短い旋律のつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付くことができる。（中1段階Aウ(イ)㉞） （思判表力） 音楽づくりにおいての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音遊びを通して、どのように音楽をつくるのかについて発想を得ることができる。（中1段階Aウ(ア)㉞） （学・人） 進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら創作活動に取り組むことができる。（中1段階）	（知・技） いろいろな音の響きの特徴やリズム・パターンや短い旋律のつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付こうとしている。 （思・判・表） 音楽づくりにおいての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音遊びを通して、どのように音楽をつくるのかについて発想を得ようとしている。 （主学） 進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら創作活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【創作】	・ファンファーレの役割と効果を理解する。 ・必要に応じて教師の支援を受けながら創作をする。 ・互いに作品の発表・意見交換を行う。
		（知及技） 曲想とリズムや速度、旋律の特徴との関わりについて知ることができる。（中1段階Bア(イ)） （思判表力） 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見だして聴くことができる。（中1段階Bア(ア)） （学・人） 進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら鑑賞の学習に取り組むことができる。（中1段階）	（知・技） 曲想とリズムや速度、旋律の特徴との関わりについて知ろうとしている。 （思・判・表） 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見だして聴こうとしている。 （主学） 進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら鑑賞の学習に取り組もうとしている。 【評価資料】学習の様子で評価する。	【鑑賞】	・クラシックやポップス、洋楽等、様々な楽曲を鑑賞する。

後期	34	【知及技】 曲の雰囲気と音楽の構造との関わりについて気付くことができる。(中1段階A工(イ)㉔) 【思判表力】 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、リズムの特徴や曲の雰囲気を感じ取り、体を動かすことについての思いや意図をもつことができる。(中1段階A工(ア)) 【学・人】 進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら身体表現に取り組むことができる。(中1段階)	【知・技】 曲の雰囲気と音楽の構造との関わりについて気付こうとしている。 【思・判・表】 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、リズムの特徴や曲の雰囲気を感じ取り、思いや意図をもって体を動かそうとしている。 【主学】 進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら身体表現に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【身体表現】	・表現方法について確認する。 ・音楽に合わせて身体で表現する。 ・複数の音符を用いたリズム打ちを知る。 ・様々な音符について学ぶ。 ・様々なリズムに合わせて身体で表現をする。
		【知及技】 曲想と歌詞の表す情景やイメージとの関わりについて気付くことができる。(中1段階Aア(イ)㉔) 【思判表力】 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の雰囲気に合いそうな表現を工夫し、歌唱表現に対する思いや意図をもつことができる。(中1段階Aア(ア)) 【学・人】 進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら歌唱表現に取り組むことができる。(中1段階)	【知・技】 曲想と歌詞の表す情景やイメージとの関わりについて気付こうとしている。 【思・判・表】 歌唱表現について知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の雰囲気に合いそうな表現を工夫し、思いや意図をもって歌唱表現をしようとしている。 【主学】 進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら歌唱表現に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【歌唱】	・卒業式の歌を歌う。 ・歌詞の意味について理解する。 ・曲の雰囲気と曲に込められた思いについて理解する。
		【知及技】 簡単な楽譜を見てリズムや速度を意識して演奏する技能を身に付けることができる。(中1段階Aイ(イ)㉔) 【思判表力】 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の雰囲気に合いそうな表現を工夫し、器楽表現に対する思いや意図をもつことができる。(中1段階Aイ(ア)) 【学・人】 進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら器楽表現に取り組むことができる。(中1段階)	【知・技】 簡単な楽譜を見てリズムや速度を意識して演奏する技能を身に付けようとしている。 【思・判・表】 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の雰囲気に合いそうな表現を工夫し、思いや意図をもって器楽表現をしようとしている。 【主学】 進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら器楽表現に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【器楽】	・楽器の名称や楽器の特徴について学ぶ。 ・正しい姿勢と奏法を心がけて演奏する。 ・必要に応じて教師の支援を受けながらグループで合わせて演奏する。 ・豊かな表現力と確かな技術力を身に付ける。 ・他のグループ演奏を鑑賞し、意見交換を行う。
		【知及技】 曲想とリズムや速度、旋律の特徴との関わりについて知ることができる。(中1段階Bア(イ)) 【思判表力】 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見いだし聴くことができる。(中1段階Bア(ア)) 【学・人】 進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら鑑賞の学習に取り組むことができる。(中1段階)	【知・技】 曲想とリズムや速度、旋律の特徴との関わりについて知ろうとしている。 【思・判・表】 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見いだし聴こうとしている。 【主学】 進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら鑑賞の学習に取り組もうとしている。 【評価資料】学習の様子で評価する。	【鑑賞】	・クラシックやポップス、洋楽等、様々な楽曲を鑑賞する。 ・ミュージカルと映画音楽を鑑賞する。 ・音楽とストーリーの一体性や場面にふさわしい表現内容を理解する。
	留意点 引継ぎ等	年間を通じて、真和志高等学校との交流及び共同学習を行い、障害の有無に関わらず共に学ぶ経験を重ね、社会性を養う。			

令和6年度 高等部1年（Ⅱ課程Aグループ） 美術科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	ゆい教室1学年 1名		

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技） 形や色などの違いに気付き、表したいことを基に材料や用具を使い、表し方を工夫してつくるようにする。（小2段階） （思判表力） 表したいことを思い付いたり、作品などの面白さや楽しさを感じ取ったりすることができるようにする。（小2段階） （学・人） 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを感じるとともに、形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。（小2段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
前期	2	（知及技） 自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などの違いに気付くことができる。（小2段階） （思判表力） 形や色などを基に、自分のイメージをもつことができる。（小2段階） （学・人） つくりだす喜びを味わい進んで表現したり鑑賞したりする学習活動に取り組もうとすることができる。（小2段階）	（知・技） 美術には、描く活動、造る活動を基本とし絵画、デザイン、版画、粘土などの幅広い制作があることがわかる。 （思・判・表） これまでやってきた美術を思い出し、印象にのこっている制作や作品について、写真を見て振り返ることができる。 （学・人） これからの授業でやってみたいことを考えようとする様子がみられる。	オリエンテーション ・自己紹介 ・授業の約束 ・年間の予定	・一年間の授業の流れについて確認する。 ・美術の分野について、絵画やデザイン、立体、漫画、アニメーションなど様々な分野があることを知る。 ・ワークシートにこれからの授業で取り組んでみたい分野を書く。
	12	（知及技） 身近な材料や用具を使い、かいたり、形をつくったりすることができる。（小2段階） （思判表力） 材料や、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを思い付くことができる。（小2段階） （学・人） つくりだす喜びを味わい進んで表現する学習活動に取り組もうとすることができる。	（知・技） 身近な材料や用具を使い、かいたり、形をつくったりしようとしている。 （思・判・表） 材料や、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを思い付こうとしている。 （主学） つくりだす喜びを味わい進んで表現する学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	描く活動	・身近な材料や用具を使い、季節や行事に親しみ、かいたり、形をつくったりして表現する。 ・絵の具を使って線や点を描き、水の量による濃淡の変化を楽しみながら、表現する。
	12	（知及技） 自然物や人工物などについて、目で見ると、手で触れるなどして形や色などの違いに気付くことができる。（小2段階） （思判表力） 身近にあるものなどの形や色の面白さについて感じ取り、自分の見方や感じ方を広げることができる。（小2段階） （学・人） つくりだす喜びを味わい進んで鑑賞する学習活動に取り組もうとすることができる。（小2段階）	（知・技） 自然物や人工物などについて、目で見ると、手で触れるなどして形や色などの違いに気付くこととしている。 （思・判・表） 身近にあるものなどの形や色の面白さについて感じ取り、自分の見方や感じ方を広げようとしている。 （主学） つくりだす喜びを味わい進んで鑑賞する学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	作品鑑賞 校外学習 ・地域の芸術作品鑑賞 ・美術関連施設の見学	・沖縄にある美術館・博物館の展示作品を見る。 ・作品を鑑賞することを通して、形や色の面白さを感じたり、見方や感じ方を広げる。
	20	（知及技） 身近な材料や用具を使いかいたり、形をつくったりすることができる。（小2段階） （思判表力） 材料や感じたこと、想像したこと見たことから表したいことを思い付くことができる。（小2段階） （学・人） つくりだす喜びを味わい進んで表現する学習活動に取り組もうとすることができる。（小2段階）	（知・技） 身近な材料や用具を使い、かいたり、形をつくったりしようとしている。 （思・判・表） 材料や、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを思い付こうとしている。 （主学） つくりだす喜びを味わい進んで表現する学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	造る活動 立体制作 ・紙工作 ・粘土	・粘土や紙を用いて、イメージをふくらませながら色々な形をつくったり、色をぬったりする。 ・色々な素材や用具をつかって表現することを楽しむ。 ・自分の表現したいことを思い付き、身近な材料や用具を用いて表現する。 ・完成した作品を展示し鑑賞する。

後期	12	(知・技) 自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などの違いに気付くことができる。(小2段階) (思・判・表) 形や色などを基に、自分のイメージをもつことができる。(小2段階) (学・人) つくりだす喜びを味わい進んで表現したり鑑賞したりする学習活動に取り組もうとすることができる。(小2段階)	(知・技) 自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などの違いに気付くことができる。(小2段階) (思・判・表) 形や色などを基に、自分のイメージをもつことができる。(小2段階) (主・学) つくりだす喜びを味わい進んで表現したり鑑賞したりする学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	描く活動 ・色々な版画 ・凸版画制作 ・鑑賞	・色々な素材や用具をつかって表現することを楽しむ。 ・自分の表現したいことを思い付き、身近な材料や用具を用いて表現する。 ・自分の作品や他生徒の作品のよさや違いをワークシートにまとめる。
	12	(知・技) 自然物や人工物などについて、目で見る、手で触れるなどして形や色などの違いに気付くことができる。(小2段階) (思・判・表) 身近にあるものなどの形や色の面白さについて感じ取り、自分の見方や感じ方を広げることができる。(小2段階) (学・人) つくりだす喜びを味わい進んで鑑賞する学習活動に取り組もうとすることができる。(小2段階)	(知・技) 自然物や人工物などについて、目で見る、手で触れるなどして形や色などの違いに気付くことができる。(小2段階) (思・判・表) 身近にあるものなどの形や色の面白さについて感じ取り、自分の見方や感じ方を広げようとしている。 (主・学) つくりだす喜びを味わい進んで鑑賞する学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	作品鑑賞/校外学習 ・美術関連施設の見学 ・真和志高校卒業作品展鑑賞	・自分の作品を発表したり、友だちの作品を鑑賞することを通して、自分や友だちの作品の良さを感じる。 ・好きな作品を探し、違いや面白さを発見することができる。 ・写真で作品鑑賞の学習を振り返る。
留意点 引継ぎ等		・年間を通じて真和志高等学校との交流及び共同学習を行い、共に学ぶ経験を重ね社会性を養う。 ・生徒の実態に応じて、描く活動及び作る活動の題材を決める。 ・生徒の実態に応じて、年計の目標を再設定する。 ・生徒の目標は合理的配慮を考慮した上で個別の指導計画にて設定する。			

令和6年度 高等部2年（Ⅱ課程Aグループ） 美術科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	ゆい教室2学年 1名		

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技） 形や色などの違いに気付き、表したいことを基に材料や用具を使い、表し方を工夫してつくるようにする。（小2段階） （思判表力） 表したいことを思い付いたり、作品などの面白さや楽しさを感じ取ったりすることができるようにする。（小2段階） （学・人） 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを感じるとともに、形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。（小2段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
前期	2	（知及技） 自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などの違いに気付くことができる。（小2段階） （思判表力） 形や色などを基に、自分のイメージをもつことができる。（小2段階） （学・人） つくりだす喜びを味わい進んで表現したり鑑賞したりする学習活動に取り組もうとすることができる。（小2段階）	（知・技） 美術には、描く活動、造る活動を基本とし絵画、デザイン、版画、粘土などの幅広い制作があることがわかる。 （思・判・表） これまでやってきた美術を思い出し、印象にのこっている制作や作品について、写真を見て振り返ることができる。 （学・人） これからの授業でやってみたいことを考えようとする様子がみられる。	オリエンテーション ・自己紹介 ・授業の約束 ・年間の予定	・一年間の授業の流れについて確認する。 ・美術の分野について、絵画やデザイン、立体、漫画、アニメーションなど様々な分野があることを知る。 ・ワークシートにこれからの授業で取り組んでみたい分野を書く。
	12	（知及技） 身近な材料や用具を使い、かいたり、形をつくったりすることができる。（小2段階） （思判表力） 材料や、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを思い付くことができる。（小2段階） （学・人） つくりだす喜びを味わい進んで表現する学習活動に取り組もうとすることができる。	（知・技） 身近な材料や用具を使い、かいたり、形をつくったりしようとしている。 （思・判・表） 材料や、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを思い付こうとしている。 （主学） つくりだす喜びを味わい進んで表現する学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	描く活動	・身近な材料や用具を使い、季節や行事に親しみ、かいたり、形をつくったりして表現する。 ・絵の具を使って線や点を描き、水の量による濃淡の変化を楽しみながら、表現する。
	12	（知及技） 自然物や人工物などについて、目で見る、手で触れるなどして形や色などの違いに気付くことができる。（小2段階） （思判表力） 身近にあるものなどの形や色の面白さについて感じ取り、自分の見方や感じ方を広げることができる。（小2段階） （学・人） つくりだす喜びを味わい進んで鑑賞する学習活動に取り組もうとすることができる。（小2段階）	（知・技） 自然物や人工物などについて、目で見る、手で触れるなどして形や色などの違いに気付こうとしている。 （思・判・表） 身近にあるものなどの形や色の面白さについて感じ取り、自分の見方や感じ方を広げようとしている。 （主学） つくりだす喜びを味わい進んで鑑賞する学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	作品鑑賞 校外学習 ・地域の芸術作品鑑賞 ・美術関連施設の見学	・沖縄にある美術館・博物館の展示作品を見る。 ・作品を鑑賞することを通して、形や色の面白さを感じたり、見方や感じ方を広げる。
	20	（知及技） 身近な材料や用具を使いかいたり、形をつくったりすることができる。（小2段階） （思判表力） 材料や感じたこと、想像したこと見たことから表したいことを思い付くことができる。（小2段階） （学・人） つくりだす喜びを味わい進んで表現する学習活動に取り組もうとすることができる。（小2段階）	（知・技） 身近な材料や用具を使い、かいたり、形をつくったりしようとしている。 （思・判・表） 材料や、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを思い付こうとしている。 （主学） つくりだす喜びを味わい進んで表現する学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	造る活動 立体制作 ・紙工作 ・粘土	・粘土や紙を用いて、イメージをふくらませながら色々な形をつくったり、色をぬったりする。 ・色々な素材や用具をつかって表現することを楽しむ。 ・自分の表現したいことを思い付き、身近な材料や用具を用いて表現する。 ・完成した作品を展示し鑑賞する。

後期	12	(知・技) 自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などの違いに気付くことができる。(小2段階) (思・判・表) 形や色などを基に、自分のイメージをもつことができる。(小2段階) (学・人) つくりだす喜びを味わい進んで表現したり鑑賞したりする学習活動に取り組もうとすることができる。(小2段階)	(知・技) 自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などの違いに気付くことができる。(小2段階) (思・判・表) 形や色などを基に、自分のイメージをもつことができる。(小2段階) (主・学) つくりだす喜びを味わい進んで表現したり鑑賞したりする学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	描く活動 ・色々な版画 ・凸版画制作 ・鑑賞	・色々な素材や用具をつかって表現することを楽しむ。 ・自分の表現したいことを思い付き、身近な材料や用具を用いて表現する。 ・自分の作品や他生徒の作品のよさや違いをワークシートにまとめる。
	12	(知・技) 自然物や人工物などについて、目で見る、手で触れるなどして形や色などの違いに気付くことができる。(小2段階) (思・判・表) 身近にあるものなどの形や色の面白さについて感じ取り、自分の見方や感じ方を広げることができる。(小2段階) (学・人) つくりだす喜びを味わい進んで鑑賞する学習活動に取り組もうとすることができる。(小2段階)	(知・技) 自然物や人工物などについて、目で見る、手で触れるなどして形や色などの違いに気付くことができる。(小2段階) (思・判・表) 身近にあるものなどの形や色の面白さについて感じ取り、自分の見方や感じ方を広げようとしている。 (主・学) つくりだす喜びを味わい進んで鑑賞する学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	作品鑑賞/校外学習 ・美術関連施設の見学 ・真和志高校卒業作品展鑑賞	・自分の作品を発表したり、友だちの作品を鑑賞することを通して、自分や友だちの作品の良さを感じる。 ・好きな作品を探し、違いや面白さを発見することができる。 ・写真で作品鑑賞の学習を振り返る。
留意点 引継ぎ等		・年間を通じて真和志高等学校との交流及び共同学習を行い、共に学ぶ経験を重ね社会性を養う。 ・生徒の実態に応じて、描く活動及び作る活動の題材を決める。 ・生徒の実態に応じて、年計の目標を再設定する。 ・生徒の目標は合理的配慮を考慮した上で個別の指導計画にて設定する。			

令和6年度 高等部3年（Ⅱ課程Aグループ） 美術科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	ゆい教室3学年 2名		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 形や色などの造形的な視点に気付き、表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫してつくるようにする。(小3段階) (思判表力) 造形的なよさや美しさ、表したいことや表し方などについて考え、発想や構想をしたり、身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。(小3段階) (学・人)進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。(小3段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
前期	2	(知及技) 自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などの違いに気付くことができる。(小3段階) (思判表力) 形や色などを基に、自分のイメージをもつことができる。(小3段階) (学・人) つくりだす喜びを味わい進んで表現したり鑑賞したりする学習活動に取り組もうとすることができる。(小3段階)	(知・技) 美術には、描く活動、造る活動を基本とし絵画、デザイン、版画、粘土などの幅広い制作があることがわかる。 (思・判・表) これまでやってきた美術を思い出し、印象にのこっている制作や作品について、写真を見て振り返ることができる。 (学・人) これからの授業でやってみたいことを考えようとする様子がみられる。	オリエンテーション ・自己紹介 ・年間の予定 ・授業の約束	・一年間の授業の流れについて確認する。 ・美術の分野について、絵画やデザイン、立体、漫画、アニメーションなど様々な分野があることを知る。 ・ワークシートにこれからの授業で取り組んでみたい分野を書く。
	10	(知及技) 様々な材料や道具を使い、工夫して絵を描くことができる(小3段階) (思判表力) イメージをもとに、身近な出来事や思ったことを基に描くことができる。(小3段階) (学・人) 描く喜びを味わいながら、主体的に表現したり鑑賞したりすることができる。(小3段階)	(知及技) 様々な材料や道具を使い、工夫して絵を描くことができる。 (思判表力) イメージをもとに、身近な出来事や思ったことを基に描くことができる。 (主学)描く喜びを味わいながら、主体的に描こうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	造る活動 テーマ 「コラージュ」	・切った紙ややぶいた新聞紙でコラージュ作品を作る ・紙粘土を丸形、ひも状、好きな形で作りながら表現する ・自分の作品を紹介したり、友達の作品を鑑賞することを通して、様々な表し方に気づく。
	20	(知及技) 様々な材料や道具を使い、工夫して絵を描くことができる(小3段階) (思判表力) イメージをもとに、身近な出来事や思ったことを基に描くことができる。(小3段階) (学・人) 描く喜びを味わいながら、主体的に表現したり鑑賞したりすることができる。(小3段階)	(知・技) 様々な材料や道具を使い、工夫して絵を描くことができる。 (思判表力) イメージをもとに、身近な出来事や思ったことを基に描くことができる。 (主学)描く喜びを味わいながら、主体的に描こうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	描く活動 絵画作品制作 ○アイディアスケッチ ○下描き ○材料の選定 ○用具の選定 ○彩色 スクラッチ ・鑑賞ワーク	・描きたいものや好きなものについて調べる。 ・調べた画像や写真をもとにスケッチする。 ・スケッチに色計画する。 ・画材を選んで彩色する。 ・完成した作品を展示し鑑賞する。 ・自分の作品や他生徒の作品のよさや違いをワークシートにまとめる。
	12	(知及技) 身近な作品に触れ、作品を鑑賞することができる。(小3段階) (思判表力) 作品の形や色の特徴に気づくことができる。(小3段階) (学・人) 身近な作品を見て、好きな作品を選んだり気づいたことを発表することができる。(小3段階)	(知及技) 身近な作品に触れ、作品を鑑賞することができる。 (思判表力) 作品の形や色の特徴に気づくことができる。 (主学) 身近な作品を見て、好きな作品を選んだり気づいたことを発表しようとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	作品鑑賞 ・地域の芸術作品鑑賞 ・美術関連施設の見学 ・真和志高校卒業作品展見学	・沖縄にある美術館・博物館について調べる。 ・興味のある分野の美術作品について調べる。 ・調べた作品と実際に見た作品の違いや雰囲気について考え文章等にまとめる。 ・好きな作品を探し、情報や印象をまとめ発表する。 ・作品鑑賞の学習を振り返る。

後期	14	(知及技) 様々な材料や用具を使い、工夫して描いたり作品を作ることができる。(小3段階) (思判表力) 材料や、感じたこと見たことから、表したいことを思い付くことができる。(小3段階) (学・人) 作る喜びを味わいながら、主体的に表現したり鑑賞したりすることができる。(小3段階)	(知及技) 様々な材料や用具を使い、工夫して描いたり作品を作ることができる。(小3段階) (思判表力) 材料や、感じたこと見たことから、表したいことを思い付くことができる。(小3段階) (主学) 作る喜びを味わいながら、主体的に表現したり鑑賞したりすしようとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	描く活動 「版画制作」 ・ドライポイント ・鑑賞	・版画の特性や一版多色版画について学ぶ。 ・必要な材料や用具を準備する。 ・作品のテーマについて構想する。 ・調べた画像や写真をもとにスケッチや色計画する。 ・スケッチを版に転写する。 ・版を彫って刷る。 ・完成した作品を展示し鑑賞する。 ・自分の作品や他生徒の作品のよさや違いをワークシートにまとめる。
	12	(知及技) 様々な材料や用具を使い、工夫して描いたり作品を作ることができる。(小3段階) (思判表力) 材料や、感じたこと見たことから、表したいことを思い付くことができる。(小3段階) (学・人) 作る喜びを味わいながら、主体的に表現したり鑑賞したりすることができる。(小3段階)	(知及技) 様々な材料や用具を使い、工夫して描いたり作品を作ることができる。(小3段階) (思判表力) 材料や、感じたこと見たことから、表したいことを思い付くことができる。(小3段階) (主学) 作る喜びを味わいながら、主体的に表現したり鑑賞したりすしようとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	○描いたり作ったりしよう ・描いてみよう ・工作をしよう	・季節の行事や沖縄の伝統的な玩具などを参考に作品を作る。 ・友人と協力して合同制作、卒業制作等を行う。 ・自分の作品を紹介したり、友達の作品を鑑賞することを通し、様々な表し方に気づく。
留意点 引継ぎ 等		・年間を通じて、真和志高等学校との交流及び共同学習を行い、障害の有無に関わらず共に学ぶ経験を重ね、社会性を養う。 ・生徒の実態に応じて描く活動及びつくる活動の題材を決める。 ・生徒の実態に応じて、年計の目標を再設定する。 ・各生徒の目標は、合理的配慮を考慮した上で個別の指導計画にて設定する。			

令和6年度 高等部1年（Ⅱ課程Aグループ） 保健体育科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
4／140	ゆい教室1学年 1名		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 教師の支援を受けながら、楽しく基本的な運動ができるようにするとともに、健康な生活に必要な事柄ができるようにする。(小2段階ア) (思判表力) 基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現できるようにするとともに、健康な生活に向け、感じたことを他者に伝える力を養う。(小2段階イ) (学・人) 簡単な決まりを守り、友達とともに安全に楽しく運動しようとしたり、健康に必要な事柄をしようとしたりする態度を養う。(小2段階ウ)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
前期	24	(知及技) 教師の支援を受けながら、楽しく水の中での基本的な運動をすることができる。(小2段階Dア) (思判表力) 水の中での基本的な運動になれ、その楽しさや感じたことを表現することができる。(小2段階Dイ) (学・人) 簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、水の中での基本的な運動をしようとすることができる。(小2段階Dウ)	(知・技) 教師の支援を受けながら、水の中で基本的な運動をしている。 (思・判・表) 水の中での活動をすることで、楽しさや喜びを表現している。 (主学) 教師の支援を受けながら、安全に水の中で活動しようとしている。 【評価資料】 ・体育学習ノート ・活動の様子や各種実技テストを実施し、評価する。	【水泳】	・水慣れ、浮く、呼吸法 ・泳法（クロール、平泳ぎ） ・ゲーム（水球）
	70	(知及技) 教師の支援を受けながら、楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをすることができる。(小2段階Eア) (思判表力) ボールを使った基本的な運動やゲームに慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。(小2段階Eイ) (学・人) 簡単な決まりを守り、友達とともに安全に楽しく、ボールを使った基本的な運動やゲームをしようとするすることができる。(小2段階Eウ)	(知・技) 教師の支援を受けながら、ボールを使った基本的な運動やゲームをしている。 (思・判・表) ボールを使った運動をすることで、楽しさや喜びを表現している。 (主学) 簡単なルールを知り、教師の支援を受けながら、安全にボールを使った基本的な運動やゲームをしようとしている。 【評価資料】 ・体育学習ノート ・活動の様子や各種実技テストを実施し、評価する。	【球技】	・ゴール型（サッカー、バスケットボール） ・ネット型（バレーボール、バドミントン、卓球、テニス） ・ベースボール型（ソフトボール） ・校外学習（ボウリング、ゴルフ等） ※ 後期も同様に取り扱う
	8	(知及技) 教師の支援を受けながら、健康な生活に必要な事柄をすることができる。(小2段階Gア) (思判表力) 健康な生活に必要な事柄に慣れ、感じたことを他者へ伝えることができる。(小2段階Gイ) (学・人) 健康な生活に必要な事柄について、知ろうとすることができる。	(知・技) 健康な生活に必要な事柄について、実践しようとしている。 (思・判・表) 健康な生活に必要な事柄について学習することで、感じたことを他者へ伝えようとしている。 (主学) 健康な生活に必要な事柄について、知ろうとしている。 【評価資料】 ・ワークシート ・活動の様子や課題への取り組みを評価する。	【保健】	・現代社会と健康 ・安全な社会生活 ・校外学習
	5	(知及技) 教師の支援を受けながら、楽しく走の基本的な運動をすることができる。(小2段階Cア) (思判表力) 走の基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。(小2段階Cイ) (学・人) 簡単な決まりを守り、友達とともに安全に楽しく、走の基本的な運動をしようとするすることができる。(小2段階Cウ)	(知・技) 教師の支援を受けながら、走の基本的な運動をしている。 (思・判・表) 走の運動をすることで、楽しさや喜びを表現している。 (主学) 教師の支援を受けながら、安全に走の運動に参加しようとしている。 【評価資料】 活動の様子や実技テストを実施し、評価する。	【陸上競技】	・長距離走（男子3000m、女子2000m） ・特体連体育大会に向けて（短距離走等）

後期	5	(知及技) 教師の支援を受けながら、器械や器具を使つての基本的な運動をすることができる。(小2段階Bア) (思判表力) 器械や器具を使つての基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。(小2段階Bイ) (学・人) 簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、器械や器具を使つての運動をしようことができる。(小2段階Bウ)	(知・技) 教師の支援を受けながら、器械や器具を使つての基本的な運動をしている。 (思・判・表) 器械や器具を使つての運動をすることで、楽しさや喜びを表現している。 (主学) 教師の支援を受けながら、安全に器械や器具を使つての運動に参加しようとしている。 【評価資料】 ・体育学習ノート ・活動の様子や実技テストを実施し、評価する。	【器械運動】	・マット運動(回転系:接点技群、ほん転技群、巧技系:平均立ち技群)
	10	(知及技) 教師の支援を受けながら、音楽に合わせて楽しく表現運動をすることができる。(小2段階Fア) (思判表力) 基本的な表現運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。(小2段階Fイ) (学・人) 簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、基本的な表現運動をしようことができる。(小2段階Fウ)	(知・技) 教師の支援を受けながら、表現運動をしている。 (思・判・表) 表現運動をすることで、楽しさや喜びを表現している。 (主学) 教師の支援を受けながら、安全に表現運動に参加しようとしている。 【評価資料】 ・体育学習ノート ・活動の様子や各種実技テストを実施し、評価する。	【ダンス】	・創作ダンス ・伝統的な踊り(エイサー等)
	8	(知及技) 教師の支援を受けながら、健康な生活に必要な事柄をすることができる。(小2段階Gア) (思判表力) 健康な生活に必要な事柄に慣れ、感じたことを他者へ伝えることができる。(小2段階Gイ) (学・人) 健康な生活に必要な事柄について、知ろうとすることができる。	(知・技) 健康な生活に必要な事柄について、実践しようとしている。 (思・判・表) 健康な生活に必要な事柄について学習することで、感じたことを他者へ伝えようとしている。 (主学) 健康な生活に必要な事柄について、知ろうとしている。 【評価資料】 ・ワークシート ・活動の様子や課題への取り組みを評価する。	【保健】	・生涯を通じる健康 ・健康を支える環境づくり ・校外学習(ビーチクリーン、クリーンセンター等)
	10	(知及技) 運動やスポーツの多様性に関する基礎的な知識を身につけることができる。(高1段階Hア) (思判表力) 教師の支援を受けながら、運動やスポーツの多様性について課題を発見し解決のために思考し判断したことを伝えようすることができる。(高1段階Hイ) (学・人) 運動やスポーツの多様性について、学習に取り組むことができる。(高1段階Hウ)	(知・技) 運動やスポーツの多様性について知ろうとしている。 (思・判・表) 教師の支援を受けながら、運動やスポーツの多様性について考え、伝えようとしている。 (主学) 運動やスポーツの多様性について進んで学習している。 【評価資料】 活動の様子や課題への取り組みを評価する。	【体育理論】	・運動やスポーツの多様性 ・運動やスポーツの安全な行い方
年間を通して		(知及技) 教師の支援を受けながら、楽しく基本的な体づくり運動をすることができる。(小2段階Aア) (思判表力) 基本的な体づくり運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。(小2段階Aイ) (学・人) 簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、基本的な体づくり運動をしようことができる。(小2段階Aウ)	(知・技) 教師の支援を受けながら、基本的な運動をすることをしている。 (思・判・表) 基本的な体づくり運動をすることで、楽しさや喜びを表現している。 (主学) 教師の支援を受けながら、安全に活動しようとしている。 【評価資料】 ・体育学習ノート ・活動の様子や各種実技テストを実施し、評価する。	【体づくり運動】	・体ほぐしの運動(準備体操、整理体操) ・体の動きを高める運動(真和志Fit.:腕立て伏せ、腹筋、バーピージャンプ、ボックスジャンプ) ・集団行動(集合・整列、方向転換等) ・新体力テスト(握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走または20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ)※4・5月に行う
留意点 引継ぎ等	年間を通じて、真和志高等学校との交流及び共同学習を行い、障害の有無に関わらず共に学ぶ経験を重ね、社会性を養う。				

令和6年度 高等部2年（Ⅱ課程Aグループ） 保健体育科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2／70	ゆい教室2学年 1名		

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技） 基本的な運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けるとともに、健康や身体の変化について知り、健康な生活ができるようにする。（小3段階ア） （思判表力） 基本的な運動の楽しみ方や健康な生活の仕方について工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝える力を養う。（小3段階イ） （学・人） きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく運動をしたり、場や用具の安全に気を付けたりしようとするとともに、自分から健康に必要な事柄をしようとする態度を養う。（小3段階ウ）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
前期	10	（知及技） 水の中での基本的な運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けることができる。（小3ア） （思判表力） 水の中での基本的な運動の楽しみ方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えることができる。（小3イ） （学・人） きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく水の中での基本的な運動をしたり、場や用具の安全に気を付けたりしようすることができる。（小3ウ）	（知・技） 水の中で活動することで、基本的な動きを身に付けている。 （思・判・表） 水の中での活動をする中で、楽しさを感じたり、考えたことを他者へ伝えようとしている。 （主学） きまりを守り、安全に水の中で活動することができる。 【評価資料】 ・体育学習ノート ・活動の様子や各種実技テストを実施し、評価する。	【水泳】	・水慣れ、浮く、呼吸法 ・泳法（クロール、平泳ぎ） ・ゲーム（水球）
	30	（知及技） ボールを使った基本的な運動やゲームの楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けることができる。（小3ア） （思判表力） ボールを使った基本的な運動やゲームの楽しみ方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えることができる。（小3イ） （学・人） きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをしたり、場や用具の安全に気を付けたりしようすることができる。（小3ウ）	（知・技） ボールを使った運動やゲームに参加することで、基本的な動きを身に付けている。 （思・判・表） ボールを使った運動をする中で、楽しさを感じたり、考えたことを他者へ伝えようとしている。 （主学） 簡単なルールを知り、安全にボールを使った運動やゲームに参加しようとしている。 【評価資料】 ・体育学習ノート ・活動の様子や各種実技テストを実施し、評価する。	【球技】	・ゴール型（サッカー、バスケットボール） ・ネット型（バレーボール、バドミントン、卓球、テニス） ・ベースボール型（ソフトボール） ・校外学習（ボウリング、ゴルフ等） ※ 後期も同様に扱う
	4	（知及技） 健康や身体の変化について知り、健康な生活に必要な事柄に関する基本的な知識や技能を身に付けることができる。（小3ア） （思判表力） 健康な生活に必要な事柄について工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えることができる。（小3イ） （学・人） 健康な生活に必要な事柄について、自分から知ろうとすることができる。	（知・技） 健康や身体の変化について知ること、健康な生活に必要な事柄に関する基本的な知識や技能を身に付けようとしている。 （思・判・表） 健康な生活に必要な事柄について学習することで、考えたことや気付いたことを他者へ伝えようとしている。 （主学） 健康な生活に必要な事柄について、自分から知ろうとしている。 【評価資料】 活動の様子や課題への取り組みを評価する。	【保健】	・現代社会と健康 ・安全な社会生活 ・校外学習
	5	（知及技） 走の基本的な運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けることができる。（小3ア） （思判表力） 走の基本的な運動の楽しみ方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えることができる。（小3イ） （学・人） きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく走・跳の基本的な運動をしたり、場や用具の安全に気を付けたりしようすることができる。（小3ウ）	（知・技） 走の運動をすることで、基本的な動きを身に付けている。 （思・判・表） 走の運動をする中で、楽しさを感じたり、考えたことを他者へ伝えようとしている。 （主学） 安全に走の運動に参加しようとしている。 【評価資料】 ・体育学習ノート ・活動の様子や各種実技テストを実施し、評価する。	【陸上競技】	・長距離走（男子3000m、女子2000m） ・特体連体育大会に向けて（短距離走等）

後期	5	(知及技) 器械・器具を使つての基本的な運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けることができる。(小3ア) (思判表力) 器械・器具を使つての基本的な運動の行い方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えることができる。(小3イ) (学・人) さまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく器械・器具を使つての基本的な運動をしたり、場や器械・器具の安全に気を付けたりしようすることができる。(小3ウ)	(知・技) 器械・器具を使つての基本的な運動をすることで、基本的な動きを身に付けている。 (思・判・表) 器械・器具を使つての基本的な運動をすることで、楽しさを感じたり、考えたことを他者へ伝えようとしている。(主学) 安全に器械・器具を使つての運動に参加しようとしている。 【評価資料】 ・体育学習ノート ・活動の様子や各種実技テストを実施し、評価する。	【器械運動】	・マット運動（回転系：接点技群、ほん転技群、巧技系：平均立ち技群）
	10	(知及技) 基本的な表現運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付け、表現したり踊ったりすることができる。(小3ア) (思判表力) 基本的な表現運動の楽しみ方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えることができる。(小3イ) (学・人) さまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく表現運動をしたり、場や用具の安全に気を付けたりしようすることができる。(小3ウ)	(知・技) 表現運動をすることで、基本的な動きを身に付けている。 (思・判・表) 表現運動をすることで、楽しさを感じたり、考えたことを他者へ伝えようとしている。(主学) 安全に表現運動に参加しようとしている。 【評価資料】 ・体育学習ノート ・活動の様子や各種実技テストを実施し、評価する。	【ダンス】	・創作ダンス ・伝統的な踊り（エイサー等）
	4	(知及技) 健康や身体の変化について知り、健康な生活に必要な事柄に関する基本的な知識や技能を身に付けることができる。(小3ア) (思判表力) 健康な生活に必要な事柄について工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えることができる。(小3イ) (学・人) 健康な生活に必要な事柄について、自分から知ろうとすることができる。	(知・技) 健康や身体の変化について知ること、健康な生活に必要な事柄に関する基本的な知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 健康な生活に必要な事柄について学習することで、考えたことや気付いたことを他者へ伝えようとしている。(主学) 健康な生活に必要な事柄について、自分から知ろうとしている。 【評価資料】 ・活動の様子や課題への取り組みを評価する。	【保健】	・生涯を通じる健康 ・健康を支える環境づくり ・校外学習（ビーチクリーン、クリーンセンター等）
	2	(知及技) 運動やスポーツの多様性に関する基礎的な知識を身に付けることができる。(高1ア) (思判表力) 運動やスポーツの多様性について課題を発見し解決のために思考し判断したことを伝えようすることができる。(高1イ) (学・人) 運動やスポーツの多様性について、学習に取り組むことができる。(高1ウ)	(知・技) 運動やスポーツの多様性について知ろうとしている。 (思・判・表) 運動やスポーツの多様性について考え、伝えようとしている。(主学) 運動やスポーツの多様性について進んで学習している。 【評価資料】 ・活動の様子や課題への取り組みを評価する。	【体育理論】	・運動やスポーツの多様性 ・運動やスポーツの安全な行い方
年間を通して		(知及技) 基本的な体づくり運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けることができる。(小3ア) (思判表力) 基本的な体づくり運動の楽しみ方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えることができる。(小3イ) (学・人) さまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく基本的な体づくり運動をしたり、場や用具の安全に気を付けたりしようすることができる。(小3ウ)	(知・技) 教師の指示を聞いたり示範を見たりすることで、基本的な動きを身に付けることができる。 (思・判・表) 基本的な体づくり運動をすることで、楽しさを感じたり、考えたことを他者へ伝えようとしている。(主学) 安全に活動することができる。 【評価資料】 ・体育学習ノート ・活動の様子や各種実技テストを実施し、評価する。	【体づくり運動】	・体ほぐしの運動（準備体操、整理体操） ・体の動きを高める運動（真和志Fit.：腕立て伏せ、腹筋、バーピージャンプ、ボックスジャンプ） ・集団行動（集合・整列、方向転換等） ・新体力テスト（握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走または20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ）※4・5月に行う
留意点 引継ぎ等	年間を通じて、真和志高等学校との交流及び共同学習を行い、障害の有無に関わらず共に学ぶ経験を重ね、社会性を養う。				

令和6年度 高等部3年（Ⅱ課程Aグループ） 保健体育科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2／70	ゆい教室3学年 2名		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 各種の運動の楽しさや喜びに触れ、その特性に応じた行い方及び体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。(中1段階ア) (思判表力) 各種の運動や健康な生活における自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝える力を養う。(中1段階イ) (学・人) 各種の運動に進んで取り組み、きまりや簡単なスポーツのルールなどを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をする態度を養うことができる。また、健康・安全の大切さに気付き、自己の健康の保持増進に進んで取り組む態度を養う。(中1段階ウ)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
前期	10	(知及技) 初歩的な泳ぎの楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けることができる。(中1ア) (思判表力) 初歩的な泳ぎについての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。(中1イ) (学・人) 初歩的な泳ぎに進んで取り組み、きまりなどを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をすることができる。(中1ウ)	(知・技) 初歩的な及びの楽しさや喜びに触れることで、基本的な動きや技能を身に付けている。 (思・判・表) 初歩的な泳ぎについての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしている。 (主学) 友達と協力して、安全に水泳運動することができる。 【評価資料】 活動の様子や各種実技テストを実施し、評価する。	【水泳】	・水慣れ、浮く、呼吸法 ・泳法（クロール、平泳ぎ） ・ゲーム（水球）
	25	(知及技) 球技の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。(中1ア) (思判表力) 球技についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。(中1イ) (学・人) 球技に進んで取り組み、きまりや簡単なルールを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をすることができる。(中1ウ)	(知・技) 球技の楽しさや喜びに触れることで、基本的な動きや技を身に付けている。 (思・判・表) 球技についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしている。 (主学) 友達と協力して、安全に球技に参加しようとしている。 【評価資料】 活動の様子や各種実技テストを実施し、評価する。	【球技】	・ゴール型（サッカー、バスケットボール） ・ネット型（バレーボール、バドミントン、卓球、テニス） ・ベースボール型（ソフトボール） ・校外学習（ボウリング、ゴルフ等） ※ 後期も同様に扱う
	5	(知及技) 体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方が分かり、基本的な知識及び技能を身に付けることができる。(中1ア) (思判表力) 自分の健康・安全についての課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。(中1イ) (学・人) 健康な生活に必要な事柄について、意欲的に学ぼうとすることができる。	(知・技) 体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方を知らず、健康な生活に必要な事柄に関する基本的な知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 自分の健康・安全についての課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えようとしている。 (主学) 健康な生活に必要な事柄について、意欲的に学ぼうとしている。 【評価資料】 活動の様子や課題への取り組みを評価する。	【保健】	・現代社会と健康 ・安全な社会生活 ・校外学習

後期	5	(知・技) 陸上運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けることができる。(中1ア) (思・判・表) 陸上運動についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。(中1イ) (学・人) 陸上運動に進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をすることができる。(中1ウ)	(知・技) 陸上競技をすることで、基本的な運動や技能を身に付けている。 (思・判・表) 陸上運動についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしている。 (主学) 友達と協力して、安全に陸上競技に参加しようとしている。 【評価資料】 活動の様子や各種実技テストを実施し、評価する。	【陸上競技】	・長距離走（男子3000m、女子2000m） ・特体連体育大会に向けて（短距離走等）
	5	(知・技) 器械・器具を使った運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技を身に付けることができる。(中1ア) (思・判・表) 器械・器具を使った運動についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。(中1イ) (学・人) 器械・器具を使った運動に進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、場や器械・器具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をすることができる。(中1ウ)	(知・技) 器械・器具を使つての基本的な運動をすることで、基本的な動きや技を身に付けている。 (思・判・表) 器械・器具を使った運動についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしている。 (主学) 友達と協力して、安全に器械・器具を使つての運動に参加しようとしている。 【評価資料】 活動の様子や各種実技テストを実施し、評価する。	【器械運動】	・マット運動（回転系：接点技群、ほん転技群、巧技系：平均立ち技群）
	10	(知・技) ダンスの楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付け、表現したり踊ったりすることができる。(中1ア) (思・判・表) ダンスについての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。(中1イ) (学・人) ダンスに進んで取り組み、友達の動きを認め協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をすることができる。(中1ウ)	(知・技) ダンスの楽しさや喜びに触れることで、基本的な動きや技能を身に付けている。 (思・判・表) ダンスについての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしている。 (主学) 友達と協力して、安全にダンスに参加しようとしている。 【評価資料】 活動の様子や各種実技テストを実施し、評価する。	【ダンス】	・創作ダンス ・伝統的な踊り（エイサー等）
	5	(知・技) 体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方が分かり、基本的な知識及び技能を身に付けることができる。(中1ア) (思・判・表) 自分の健康・安全についての課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。(中1イ) (学・人) 健康な生活に必要な事柄について、意欲的に学ぼうとすることができる。	(知・技) 体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方を知ること、健康な生活に必要な事柄に関する基本的な知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 自分の健康・安全についての課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えようとしている。 (主学) 健康な生活に必要な事柄について、意欲的に学ぼうとしている。 【評価資料】 活動の様子や課題への取り組みを評価する。	【保健】	・生涯を通じる健康 ・健康を支える環境づくり ・校外学習（ビーチクリーン、クリーンセンター等）
	5	(知・技) 運動やスポーツの多様性に関する基礎的な知識を身につけることができる。(高1ア) (思・判・表) 運動やスポーツの多様性について課題を発見し解決のために思考し判断したことを伝えようとすることができる。(高1イ) (学・人) 運動やスポーツの多様性について、学習に取り組むことができる。(高1ウ)	(知・技) 表現運動をすることで、基本的な動きを身に付けている。 (思・判・表) 表現運動をすることで、楽しさを感じたり、考えたことを他者へ伝えようとしている。 (主学) 安全に表現運動に参加しようとしている。 【評価資料】 活動の様子や各種実技テストを実施し、評価する。	【体育理論】	・運動やスポーツの多様性 ・運動やスポーツの安全な行い方

年間を通して	(知・技) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさに触れるとともに、その行い方が分かり、友達と関わったり、動きを持続する能力などを高めたりすることができる。 (中1ア) (思判表力) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。(中1イ) (学・人) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動に進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をすることができる。(中1ウ)	(知・技) 教師の指示を聞いたり友達の動きを見たりすることで、体の動きを高めることができる。 (思・判・表) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしている。 (主学) 友達と協力して、安全に活動することができる。 【評価資料】 活動の様子や各種実技テストを実施し、評価する。	【体づくり運動】	・体ほぐしの運動(準備体操、整理体操) ・体の動きを高める運動(真和志Fit.:腕立て伏せ、腹筋、バーピージャンプ、ボックスジャンプ) ・集団行動(集合・整列、方向転換等) ・新体力テスト(握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走または20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ)※4・5月に行う
留意点 引継ぎ等	年間を通じて、真和志高等学校との交流及び共同学習を行い、障害の有無に関わらず共に学ぶ経験を重ね、社会性を養う。			

令和6年度 高等部1年（Ⅱ課程Aグループ） 職業科 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
4/140		ゆい教室1学年 1名			
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技) 職業に関する事柄について理解するとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付けている。 (思判表力) 将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価し、表現する力を身に付けている。 (学・人) よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を身に付けている。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
前期	8	(知及技) 職業に関わる事柄について考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、職業生活に必要な知識や技能を理解することができる。また職業生活を支える社会の仕組み等があることを理解することができる。 (思判表力) 職業に関わる事柄について考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、職業に関わる事柄と作業や実習で取り組む内容との関連について、考えて、発表する力を養う。また自分の成長や課題について考え、表現する力を養う。 (学・人) 職業に関わる事柄について考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。	(知・技) 職業に関わる事柄について考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、職業生活に必要な知識や技能を理解している。また職業生活を支える社会の仕組み等があることを理解している。 (思・判・表) 職業に関わる事柄について考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、職業に関わる事柄と作業や実習で取り組む内容との関連について、考えて、発表する力を身に付けている。また自分の成長や課題について考え、表現する力を身に付けている。 (主学) 職業に関わる事柄について考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を身に付けている。	職業座学	・職業のオリエンテーションを通して、授業で学んでいく内容を理解する。 ・自分の長所、短所、得手、不得手などについて考える。 ・いろいろな仕事があることについて知る。 ・将来の職業生活について理解する ・職業につく上で必要な力について知る （あいさつ、返事、言葉遣い、姿勢、態度、身だしなみ、体力等） ・マナーの必要性について知る（ちゅうマナー） (職業生活に必要なビジネスマナーから自分の課題を見いだすとともに、学校生活での目標を考える) ・学習を振り返り、今後の目標を立てることができる)
	8	(知及技) 実際の学習活動を通して、職業や進路に関わることについて調べて、理解することができる。 (思判表力) 実際の学習活動を通して、職業や職業生活、進路に関わることと自己の成長などについて考えて、発表する力を養う。 (学・人) 実際の学習活動を通して、将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。	(知・技) 実際の学習活動を通して、職業や進路に関わることについて調べて、理解している。 (思・判・表) 実際の学習活動を通して、職業や職業生活、進路に関わることと自己の成長などについて考えて、発表する力を身に付けている。 (主学) 実際の学習活動を通して、将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を身に付けている。	題材名「前期就業体験実習」 ＊前期校内/校外実習を2週間設定し実施する。事前、事後学習をしっかりと計画する。	・校内実習事前事後学習 前期実習に向けて、ちゅうマナー 校内・校外実習に関する学習 実習日誌の使い方等 (日誌の書き方や仕事内容について知る) ・校内、校外実習事前事後学習 校内、校外実習日誌の確認・記入 校内、校外実習感想文作成、実習評価振り返り ・報告会の発表練習・準備 ・実習先へのお礼状の書き方 ・実習事前事後学習を通して、主体的に自己の職業生活について考える。 ・現場実習を通して、将来の進路先について考える ＊キャリアパスポートを意識した取り組みとする ＊1年生は前期後期ともに校内実習、2年は前期校内、後期校外実習、3年は前期後期ともに校外実習

後期	8	(知及技) 職業に関わる事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、職業生活に必要なとされる実践的な知識及び技能を身に付けることができる。また職業生活を支える社会の仕組み等の利用方法や職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方について理解することができる。 (思判表力) 職業に関わる事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、自分の成長や課題について考え、表現する力を養う。また自分の成長や課題について考え、表現する力や職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方について考える力を養う。 (学・人) 職業に関わる事柄について考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。	(知・技) 職業に関わる事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、職業生活に必要なとされる実践的な知識及び技能を身に付けている。また職業生活を支える社会の仕組み等の利用方法や職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方について理解している。 (思・判・表) 職業に関わる事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、自分の成長や課題について考え、表現する力を身に付けている。また自分の成長や課題について考え、表現する力や職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方について考える力を身に付けている。 (主学) 職業に関わる事柄について考えを深めたり、験したりする学習活動を通して、将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を身に付けている。	色々な職業・進路先について 校外学習	・いろいろな仕事、進路先について考える ・興味を持った進路先について考え、iPad等の情報機器を活用して調べ学習を行う。 ・地域にどのような仕事、余暇活動の場があるか見たり体験したりする。 ・調べたことや体験したことをまとめ、職業生活に必要な力、余暇の過ごし方について考える。 ・職業1年間のまとめと振り返りをする。 ＊キャリアパスポートを意識した取り組みとする
	8	(知及技) 実際の学習活動を通して、職業や進路に関わることにについて調べて、理解することができる。 (思判表力) 実際の学習活動を通して、職業や職業生活、進路に関わることに自己の成長などについて考えて、発表する力を養う。 (学・人) 実際の学習活動を通して、将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。	(知・技) 実際の学習活動を通して、職業や進路に関わることにについて調べて、理解している。 (思・判・表) 実際の学習活動を通して、職業や職業生活、進路に関わることに自己の成長などについて考えて、発表する力を身に付けている。 (主学) 実際の学習活動を通して、将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を身に付けている。	題材名「前期就業体験実習」 ＊前期校内/校外実習を2週間設定し実施する。事前、事後学習をしっかりと計画する。	・校内実習事前事後学習 前期実習に向けて、ちゅうマナー 校内・校外実習に関する学習 実習日誌の使い方等 (日誌の書き方や仕事内容について知る) ・校内、校外実習事前事後学習 校内、校外実習日誌の確認・記入 校内、校外実習感想文作成、実習評価振り返り ・報告会の発表練習・準備 ・実習先へのお礼状の書き方 ・実習事前事後学習を通して、主体的に自己の職業生活について考える。 ・現場実習を通して、将来の進路先について考える ＊キャリアパスポートを意識した取り組みとする ＊1年生は前期後期ともに校内実習、2年は前期校内、後期校外実習、3年は前期後期ともに校外実習
年間を通して	108	(知及技) 働くことに対して意欲や関心をもち、他者と協力して取り組む作業や実習等に関わる学習活動を通して、働くことの目的などを理解することができる。また体験したりする学習活動を通して、作業課題が分かり、使用する道具や機械等の扱い方を理解することができる。さらに材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる基礎的な技術について理解することができる。 (思判表力) 働くことに関心をもち、作業や実習等に関わる学習活動に意欲や見通しをもって取り組み、自分と他者との関係や役割について考える力を養う。 (学・人) 他者と協力して作業や実習等に取り組み、達成感を得ることができる。	(知・技) 働くことに対する意欲や関心をもち、他者と協力して取り組む作業や実習等に関わる学習活動を通して、働くことの目的などを理解している。また体験したりする学習活動を通して、作業課題が分かり、使用する道具や機械等の扱い方を理解している。さらに材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる基礎的な技術について理解している。 (思・判・表) 働くことに関心をもち、作業や実習等に関わる学習活動に意欲や見通しをもって取り組み、自分と他者との関係や役割について考える力を身に付けている。 (主学) 他者と協力して作業や実習等に取り組み、達成感を得ている。	職業作業 ○農園芸 ○清掃・環境整備 ○リサイクル活動 ○ものづくり ○事務補助作業	【農園芸】 ・季節の野菜と草花の栽培管理 ・農園作業で使用する道具の扱い方 ・環境整備活動 ・販売学習や接客の基本 【清掃・環境活動】 ・清掃で用いる道具の安全な扱い方 ・洗車、校内清掃(床、階段、窓、トイレ等) ・道具の整理整頓、管理 【リサイクル活動】 ・再生利用が可能な素材の回収・分別 ・回収・分別したものをリサイクル業者へ運搬 ・SDGsについての学習 【ものづくり】 ・製作で使う道具の扱い方 ・製作の方法と手順 ・道具の整理整頓、管理 【事務補助作業】 ・簡易な事務補助作業の流れ ・安全な道具用具の使用の仕方 ・報告連絡相談などのコミュニケーション
留意点 引継ぎ等		年間を通じて、真和志高等学校との交流及び共同学習を行い、障害の有無に関わらず共に学ぶ経験を重ね、社会性を養う。			

令和6年度 高等部2年（Ⅱ課程Aグループ） 職業科 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
4/140		ゆい教室2学年 1名			
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技) 職業に関する事柄について理解するとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付けている。 (思判表力) 将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価し、表現する力を身に付けている。 (学・人) よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を身に付けている。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
前期	8	(知及技) 職業に関わる事柄について考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、職業生活に必要な知識や技能を理解することができる。また職業生活を支える社会の仕組み等があることを理解することができる。 (思判表力) 職業に関わる事柄について考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、職業に関わる事柄と作業や実習で取り組む内容との関連について、考えて、発表する力を養う。また自分の成長や課題について考え、表現する力を養う。 (学・人) 職業に関わる事柄について考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。	(知・技) 職業に関わる事柄について考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、職業生活に必要な知識や技能を理解している。また職業生活を支える社会の仕組み等があることを理解している。 (思・判・表) 職業に関わる事柄について考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、職業に関わる事柄と作業や実習で取り組む内容との関連について、考えて、発表する力を身に付けている。また自分の成長や課題について考え、表現する力を身に付けている。 (主学) 職業に関わる事柄について考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を身に付けている。	職業座学	・職業のオリエンテーションを通して、授業で学んでいく内容を理解する。 ・自分の長所、短所、得手、不得手などについて考える。 ・いろいろな仕事があることについて知る。 ・将来の職業生活について理解する ・職業につく上で必要な力について知る （あいさつ、返事、言葉遣い、姿勢、態度、身だしなみ、体力等） ・マナーの必要性について知る（ちゅうマナー） (職業生活に必要なビジネスマナーから自分の課題を見いだすとともに、学校生活での目標を考える) ・学習を振り返り、今後の目標を立てることができる)
	8	(知及技) 実際の学習活動を通して、職業や進路に関わることにについて調べて、理解することができる。 (思判表力) 実際の学習活動を通して、職業や職業生活、進路に関わることで自己の成長などについて考えて、発表する力を養う。 (学・人) 実際の学習活動を通して、将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。	(知・技) 実際の学習活動を通して、職業や進路に関わることにについて調べて、理解している。 (思・判・表) 実際の学習活動を通して、職業や職業生活、進路に関わることで自己の成長などについて考えて、発表する力を身に付けている。 (主学) 実際の学習活動を通して、将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を身に付けている。	題材名「前期就業体験実習」 ＊前期校内/校外実習を2週間設定し実施する。事前、事後学習をしっかりと計画する。	・校内実習事前事後学習 前期実習に向けて、ちゅうマナー 校内・校外実習に関する学習 実習日誌の使い方等 (日誌の書き方や仕事内容について知る) ・校内、校外実習事前事後学習 校内、校外実習日誌の確認・記入 校内、校外実習感想文作成、実習評価振り返り ・報告会の発表練習・準備 ・実習先へのお礼状の書き方 ・実習事前事後学習を通して、主体的に自己の職業生活について考える。 ・現場実習を通して、将来の進路先について考える ＊キャリアパスポートを意識した取り組みとする ＊1年生は前期後期ともに校内実習、2年は前期校内、後期校外実習、3年は前期後期ともに校外実習

後期	8	(知及技) 職業に関わる事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、職業生活に必要なとされる実践的な知識及び技能を身に付けることができる。また職業生活を支える社会の仕組み等の利用方法や職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方について理解することができる。 (思判表力) 職業に関わる事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、自分の成長や課題について考え、表現する力を養う。また自分の成長や課題について考え、表現する力や職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方について考える力を養う。 (学・人) 職業に関わる事柄について考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。	(知・技) 職業に関わる事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、職業生活に必要なとされる実践的な知識及び技能を身に付けている。また職業生活を支える社会の仕組み等の利用方法や職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方について理解している。 (思・判・表) 職業に関わる事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、自分の成長や課題について考え、表現する力を身に付けている。また自分の成長や課題について考え、表現する力や職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方について考える力を身に付けている。 (主学) 職業に関わる事柄について考えを深めたり、験したりする学習活動を通して、将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を身に付けている。	色々な職業・進路先について 校外学習	・いろいろな仕事、進路先について考える ・興味を持った進路先について考え、iPad等の情報機器を活用して調べ学習を行う。 ・地域にどのような仕事、余暇活動の場があるか見たり体験したりする。 ・調べたことや体験したことをまとめ、職業生活に必要な力、余暇の過ごし方について考える。 ・職業1年間のまとめと振り返りをする。 ＊キャリアパスポートを意識した取り組みとする
	8	(知及技) 実際の学習活動を通して、職業や進路に関わることにについて調べて、理解することができる。 (思判表力) 実際の学習活動を通して、職業や職業生活、進路に関わることに自己の成長などについて考えて、発表する力を養う。 (学・人) 実際の学習活動を通して、将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。	(知・技) 実際の学習活動を通して、職業や進路に関わることにについて調べて、理解している。 (思・判・表) 実際の学習活動を通して、職業や職業生活、進路に関わることに自己の成長などについて考えて、発表する力を身に付けている。 (主学) 実際の学習活動を通して、将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を身に付けている。	題材名「前期就業体験実習」 ＊前期校内/校外実習を2週間設定し実施する。事前、事後学習をしっかりと計画する。	・校内実習事前事後学習 前期実習に向けて、ちゅうマナー 校内・校外実習に関する学習 実習日誌の使い方等 (日誌の書き方や仕事内容について知る) ・校内、校外実習事前事後学習 校内、校外実習日誌の確認・記入 校内、校外実習感想文作成、実習評価振り返り ・報告会の発表練習・準備 ・実習先へのお礼状の書き方 ・実習事前事後学習を通して、主体的に自己の職業生活について考える。 ・現場実習を通して、将来の進路先について考える ＊キャリアパスポートを意識した取り組みとする ＊1年生は前期後期ともに校内実習、2年は前期校内、後期校外実習、3年は前期後期ともに校外実習
年間を通して	108	(知及技) 働くことに対して意欲や関心をもち、他者と協力して取り組む作業や実習等に関わる学習活動を通して、働くことの目的などを理解することができる。また体験したりする学習活動を通して、作業課題が分かり、使用する道具や機械等の扱い方を理解することができる。さらに材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる基礎的な技術について理解することができる。 (思判表力) 働くことに関心をもち、作業や実習等に関わる学習活動に意欲や見通しをもって取り組み、自分と他者との関係や役割について考える力を養う。 (学・人) 他者と協力して作業や実習等に取り組み、達成感を得ることができる。	(知・技) 働くことに対する意欲や関心をもち、他者と協力して取り組む作業や実習等に関わる学習活動を通して、働くことの目的などを理解している。また体験したりする学習活動を通して、作業課題が分かり、使用する道具や機械等の扱い方を理解している。さらに材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる基礎的な技術について理解している。 (思・判・表) 働くことに関心をもち、作業や実習等に関わる学習活動に意欲や見通しをもって取り組み、自分と他者との関係や役割について考える力を身に付けている。 (主学) 他者と協力して作業や実習等に取り組み、達成感を得ている。	職業作業 ○農園芸 ○清掃・環境整備 ○リサイクル活動 ○ものづくり ○事務補助作業	【農園芸】 ・季節の野菜と草花の栽培管理 ・農園作業で使用する道具の扱い方 ・環境整備活動 ・販売学習や接客の基本 【清掃・環境活動】 ・清掃で用いる道具の安全な扱い方 ・洗車、校内清掃(床、階段、窓、トイレ等) ・道具の整理整頓、管理 【リサイクル活動】 ・再生利用が可能な素材の回収・分別 ・回収・分別したものをリサイクル業者へ運搬 【SDGsについての学習 ものづくり】 ・製作で使う道具の扱い方 ・製作の方法と手順 ・道具の整理整頓、管理 【事務補助作業】 ・簡易な事務補助作業の流れ ・安全な道具用具の使用の仕方 ・報告連絡相談などのコミュニケーション
留意点 引継ぎ等		年間を通じて、真和志高等学校との交流及び共同学習を行い、障害の有無に関わらず共に学ぶ経験を重ね、社会性を養う。			

令和6年度 高等部3年（Ⅱ課程Aグループ） 職業科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
5/175	ゆい教室3学年 2名		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 職業に関する事柄について理解するとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付けている。 (思判表力) 将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価し、表現する力を身に付けている。 (学・人) よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を身に付けている。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
前期	8	(知及技) 職業に関わる事柄について考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、職業生活に必要な知識や技能を理解することができる。また職業生活を支える社会の仕組み等があることを理解することができる。 (思判表力) 職業に関わる事柄について考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、職業に関わる事柄と作業や実習で取り組む内容との関連について、考えて、発表する力を養う。また自分の成長や課題について考え、表現する力を養う。 (学・人) 職業に関わる事柄について考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。	(知・技) 職業に関わる事柄について考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、職業生活に必要な知識や技能を理解している。また職業生活を支える社会の仕組み等があることを理解している。 (思・判・表) 職業に関わる事柄について考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、職業に関わる事柄と作業や実習で取り組む内容との関連について、考えて、発表する力を身に付けている。また自分の成長や課題について考え、表現する力を身に付けている。 (主学) 職業に関わる事柄について考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を身に付けている。	職業座学	・職業のオリエンテーションを通して、授業で学んでいく内容を理解する。 ・自分の長所、短所、得手、不得手などについて考える。 ・いろいろな仕事があることについて知る。 ・将来の職業生活について理解する ・職業につく上で必要な力について知る（あいさつ、返事、言葉遣い、姿勢、態度、身だしなみ、体力等） ・マナーの必要性について知る（ちゅうらマナー） （職業生活に必要なビジネスマナーから自分の課題を見いだすとともに、学校生活での目標を考える） ・学習を振り返り、今後の目標を立てることができる）
	8	(知及技) 実際の学習活動を通して、職業や進路に関わることにについて調べて、理解することができる。 (思判表力) 実際の学習活動を通して、職業や職業生活、進路に関わることと自己の成長などについて考えて、発表する力を養う。 (学・人) 実際の学習活動を通して、将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。	(知・技) 実際の学習活動を通して、職業や進路に関わることにについて調べて、理解している。 (思・判・表) 実際の学習活動を通して、職業や職業生活、進路に関わることと自己の成長などについて考えて、発表する力を身に付けている。 (主学) 実際の学習活動を通して、将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を身に付けている。	題材名「前期就業体験実習」 ＊前期校内/校外実習を2週間設定し実施する。事前、事後学習をしっかりと計画する。	・校内実習事前事後学習 前期実習に向けて、ちゅうらマナー 校内・校外実習に関する学習 実習日誌の使い方等 （日誌の書き方や仕事内容について知る） ・校内、校外実習事前事後学習 校内、校外実習日誌の確認・記入 校内、校外実習感想文作成、実習評価振り返り ・報告会の発表練習・準備 ・実習先へのお礼状の書き方 ・実習事前事後学習を通して、主体的に自己の職業生活について考える。 ・現場実習を通して、将来の進路先について考える ＊キャリアパスポートを意識した取り組みとする ＊1年生は前期後期ともに校内実習、2年は前期校内、後期校外実習、3年は前期後期ともに校外実習
後期	8	(知及技) 職業に関わる事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、職業生活に必要とされる実践的な知識及び技能を身に付けることができる。また職業生活を支える社会の仕組み等の利用方法や職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方について理解することができる。 (思判表力) 職業に関わる事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、自分の成長や課題について考え、表現する力を養う。また自分の成長や課題について考え、表現する力や職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方について考える力を養う。 (学・人) 職業に関わる事柄について考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。	(知・技) 職業に関わる事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、職業生活に必要とされる実践的な知識及び技能を身に付けている。また職業生活を支える社会の仕組み等の利用方法や職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方について理解している。 (思・判・表) 職業に関わる事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、自分の成長や課題について考え、表現する力を身に付けている。また自分の成長や課題について考え、表現する力や職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方について考える力を身に付けている。 (主学) 職業に関わる事柄について考えを深めたり、験したりする学習活動を通して、将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を身に付けている。	色々な職業・進路先について 校外学習	・いろいろな仕事、進路先について考える ・興味を持った進路先について考え、iPad等の情報機器を活用して調べ学習を行う。 ・地域にどのような仕事、余暇活動の場があるか見たり体験したりする。 ・調べたことや体験したことをまとめ、職業生活に必要な力、余暇の過ごし方について考える。 ・職業1年間のまとめと振り返りをする。 ＊キャリアパスポートを意識した取り組みとする

	8	(知及技) 実際の学習活動を通して、職業や進路に関わるについて調べて、理解することができる。 (思判表力) 実際の学習活動を通して、職業や職業生活、進路に関わることと自己の成長などについて考えて、発表する力を養う。 (学・人) 実際の学習活動を通して、将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。	(知・技) 実際の学習活動を通して、職業や進路に関わるについて調べて、理解している。 (思・判・表) 実際の学習活動を通して、職業や職業生活、進路に関わることと自己の成長などについて考えて、発表する力を身に付けている。 (主学) 実際の学習活動を通して、将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を身に付けている。	題材名「前期就業体験実習」 ＊前期校内/校外実習を2週間設定し実施する。事前、事後学習をしっかりと計画する。	・校内実習事前事後学習 前期実習に向けて、ちゅうまナー校内・校外実習に関する学習実習日誌の使い方等 (日誌の書き方や仕事内容について知る) ・校内、校外実習事前事後学習 校内、校外実習日誌の確認・記入 校内、校外実習感想文作成、実習評価振り返り ・報告会の発表練習・準備 ・実習先へのお礼状の書き方 ・実習事前事後学習を通して、主体的に自己の職業生活について考える。 ・現場実習を通して、将来の進路先について考える ＊キャリアパスポートを意識した取り組みとする ＊1年生は前期後期ともに校内実習、2年は前期校内、後期校外実習、3年は前期後期ともに校外実習
年間を通して	143	(知及技) 働くことに対する意欲や関心を高め、他者と協力して取り組む作業や実習等に関わる学習活動を通して、働くことの目的などを理解することができる。また職業に関わる事柄について考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、作業課題が分かり、使用する道具や機械等の扱い方を理解することができる。さらに材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる基礎的な技術について理解することができる。 (思判表力) 働くことに対する意欲や関心を高め、作業や実習等に関わる学習活動に意欲や見通しをもって取り組み、自分と他者との関係や役割について考える力を養う。また職業に関わる事柄について考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる基礎的な技術について気付き、考える力を養う。最後に作業場の安全や衛生及び作業の効率について考え、改善を図る力を養う。 (学・人) 他者と協力して作業や実習等に取り組み、達成感を得ることができる。	(知・技) 働くことに対する意欲や関心を高め、他者と協力して取り組む作業や実習等に関わる学習活動を通して、働くことの目的などを理解している。また職業に関わる事柄について考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、作業課題が分かり、使用する道具や機械等の扱い方を理解している。さらに材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる基礎的な技術について理解している。 (思・判・表) 働くことに対する意欲や関心を高め、作業や実習等に関わる学習活動に意欲や見通しをもって取り組み、自分と他者との関係や役割について考える力を身に付けている。また職業に関わる事柄について考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる基礎的な技術について気付き、考える力を身に付けている。最後に作業場の安全や衛生及び作業の効率について考え、改善を図る力を身に付けている。 (主学) 他者と協力して作業や実習等に取り組み、達成感を得ている。	職業作業 ○農園芸 ○清掃・環境整備 ○リサイクル活動 ○ものづくり ○事務補助作業	【農園芸】 ・季節の野菜と草花の栽培管理 ・農園作業で使用する道具の扱い方 ・環境整備活動 ・販売学習や接客の基本 【清掃・環境活動】 ・清掃で用いる道具の安全な扱い方 ・洗車、校内清掃(床、階段、窓、トイレ等) ・道具の整理整頓、管理 【リサイクル活動】 ・再生利用が可能な素材の回収・分別 ・回収・分別したものをリサイクル業者へ運搬 ・SDGs についての学習 【ものづくり】 ・製作で使う道具の扱い方 ・製作の方法と手順 ・道具の整理整頓、管理 【事務補助作業】 ・簡易な事務補助作業の流れ ・安全な道具用具の使用の仕方 ・報告連絡相談などのコミュニケーション
留意点 引継ぎ等		年間を通じて、真和志高等学校との交流及び共同学習を行い、障害の有無に関わらず共に学ぶ経験を重ね、社会性を養う。			

令和6年度 高等部1～3年（Ⅱ課程Aグループ） 家庭科 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
1/35		ゆい教室 1 学年 1 名 2 学年 1 名 3 学年 2 名			『くらしに役立つ家庭』 (東洋館出版社)
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技) 家族・家庭の機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。 (学・人) 家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
前期	17	(知及技) 目的に応じた縫い方及び用具の安全な取扱いについて理解し、適切にできる。 (思判表力) 目的に応じた縫い方について考え、工夫することができる。 (学・人) 目的に応じた縫い方及び用具の安全な取扱いについての学習を通して、よりよい生活の実現に向け、生活を工夫しようとする実践的な態度を身に付けることができる。	(知・技) 目的に応じた縫い方及び用具の安全な取扱いについて理解し、適切にできている。 (思・判・表) 目的に応じた縫い方について考え、工夫することができる。 (主学) 目的に応じた縫い方及び用具の安全な取扱いについての学習を通して、よりよい生活の実現に向け、生活を工夫しようとする実践的な態度を身に付けることができる。	単元名「手ぬいでイカした小もの作り」	・目的に応じた縫い方を調べる。 手縫い（なみ縫い、返し縫い、かがり縫い）やミシン縫い（直線縫い）の特徴について知る。 ・生活に役立つ布小物を製作する。
		(知及技) 購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性に気づき、売買契約のしくみや消費者被害の背景について理解し必要な情報の収集・整理ができ、消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について気づくことができる。 (思判表力) 物資・サービスの選択に必要な情報を活用して購入について考え、表現することができる。	(知・技) 購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性に気づき、売買契約のしくみや消費者被害の背景について理解し必要な情報の収集・整理ができ、消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解しようとしている。 (思・判・表) 物資・サービスの選択に必要な情報を活用して購入について考え、表現しようとしている。	単元名「どうやって買う？」 ・物を買うときに気をつけること ・買い物にまつわるトラブル ・エシカル消費 ・契約について	・購入方法、支払い方法の特徴について調べる ・計画的な金銭管理の必要性を話し合う ・物資、サービスの選択に必要な情報の収集・整理をする。 ・消費者の基本的な権利と責任について
後期	18	(知及技) 家族の生活と住空間との関わりや住居の基本的な機能について知ることができる。 日常生活と関連付けた基礎的な日常食の調理ができる。 (思判表力) 家族の安全や快適さを考えた住空間について考え、表現することができる。 基礎的な調理について調理計画を考え、表現することができる。 (学・人) 住居の基本的な機能や快適で安全な住まい方に関わる学習を通し、よりよい生活の実現に向けて工夫し考えようとする実践的な態度を養うことができる。	(知・技) 家族の生活と住空間との関わりや住居の基本的な機能について理解している。 日常生活と関連付けた基礎的な日常食の調理ができる。 (思・判・表) 家族の安全や快適さを考えた住空間について考え、表現しようとしている。 基礎的な調理について調理計画を考え、表現しようとしている。 (主学) 住居の基本的な機能や快適で安全な住まい方に関わる学習を通し、よりよい生活の実現に向けて工夫し考えようとする実践的な態度を身に付けようとしている。	単元名 ・清潔な衣類と洗濯 ・住居の基本的な機能と快適で安全な住まい方 ・日常食の調理	・家族の生活と住空間との関わり ・住居の基本的な機能 ・安全な住まい方 ・日常食の調理 ・用途に応じた食品の選択 ・食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理 食中毒の予防、食品の保存方法と保存期間 ・ゴミの適切な処理 ・SDGsの取り組み
		(知及技) 生活の中で食事が果たす役割について理解することができる。 (思判表力) 健康によい食習慣について考え、工夫することができる。 (学・人) 食事が果たす役割の学習を通し、健康によい食習慣の実現に向けて生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養うことができる。	(知・技) 生活の中で食事が果たす役割について理解している。 (思・判・表) 健康によい食習慣について考え、工夫しようとしている。 (主学) 食事が果たす役割についての学習を通し、健康によい食習慣の実現に向けて生活を工夫し考えようとする実践的しようとしている。	単元名「栄養を正しくとって元気になるう」 ・食事の役割 ・五大栄養素 ・健康によい食習慣	・生活の中で食事が果たす役割 ・楽しく食べるための工夫
留意点 引継ぎ等		・買い物学習（校外学習）、調理実習等を各単元の中で行う。 ※感染症の状況によって、調理実習の実施方法を視聴形式に変更する。			

令和6年度 高等部1年（Ⅱ課程Aグループ） 外国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	ゆい教室1年 1名		『絵で学ぶ小学生の英語レッスンABCから英会話まで』

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 外国語を用いた体験的な活動を通して、身近な生活で見聞きする外国語に興味や関心をもち、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。(中学部) (思判表力)身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。(中学部) (学・人) 外国語を通して、外国語やその背景にある文化の多様性を知り、相手に配慮しながらコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。(中学部)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
前期	4	(知及技) あいさつや自己紹介について、英語の音声を聞き、真似て声を出したり、話したりすることができる。また体験的な活動を通して、日本と外国との生活、習慣、行事などの違いを知ることができる。(中学部(1)ア(ア)、イ(イ)) (思判表力) 自分の名前や住んでいる所、好きな物など簡単な語句や基本的な表現を用いて伝えることができる。(中学部(3)①イ(イ)) (学・人) 簡単な英語表現を用いてコミュニケーションを図ることができる。(中学部)	(知・技) あいさつや自己紹介について、英語の音声を聞き、真似て声を出したり、話したりしようとしている。 (思・判・表) 簡単な語句や基本的な表現を用いて伝えようとしている。 (主学) 簡単な英語表現を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	Lesson 1 あいさつ・自己紹介 (誕生日、住んでいる所)・ジェスチャー、色、形)	・英語のあいさつ表現や自分に関すること(誕生日、住んでいる場所など)を簡単な語句を使って自己紹介する。 ・名前、学校名、住んでいる場所などを記入してネームカードを作成し、名刺交換の場を設定して、あいさつ、自分について紹介する。 ・日本と外国のジェスチャーの違いと類似点をその動きを模倣して理解する。ジェスチャーを交えながら簡単な英単語を声に出す。
	4	(知及技) 数について、英語の音声を聞き、真似て声を出したり、話したりすることができる。(中学部(1)ア(ア)) (思判表力) 数の数え方やいくつあるかをたずねる表現に慣れ親しみ、さまざまなものの数を伝えることができる。(中学部(3)①ア(イ)②) (学・人) 簡単な英語表現を用いてコミュニケーションを図ることができる。(中学部)	(知・技) 数について、英語の音声を聞き、真似て声を出したり、話したりしようとしている。 (思・判・表) 簡単な語句や基本的な表現を用いて伝えようとしている。 (主学) 簡単な英語表現を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	Lesson 2 数の数え方 twelve months	・0～20、2桁の数字の数え方の特徴を知り、数を数える。いくつあるかをたずねる表現を知り「How many～?」の質問を受けて、自分の持ち物の数などを数えて答える。 例) How many books do you have?- I have 5 books.
	4	(知及技) 家族に関する、英語の音声を聞き、真似て声を出したり、話したりすることができる。(中学部(1)ア(ア)) (思判表力) 家族メンバーの名称に関する簡単な語句や基本的な表現を用いて自分の家族について相手に伝えることができる。(中学部(3)①ア(イ)②) (学・人) 簡単な英語表現を用いてコミュニケーションを図ることができる。(中学部)	(知・技) 家族について、英語の音声を聞き、真似て声を出したり、話したりしようとしている。 (思・判・表) 簡単な語句や基本的な表現を用いて伝えようとしている。 (主学) 簡単な英語表現を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	Lesson 3 家族	・家族のメンバーの言い方を知り、自分の家族について紹介する。 例) I have one brother and two sisters.
	5	(知及技) 学校の教室の名前や施設の名称について、英語の音声を聞き、真似て声を出したり、話したりすることができる。(中学部(1)ア(ア)) (思判表力) 学校の教室や施設の名称や案内する表現に慣れ親しみ、校内を案内することができる。(中学部(3)②ア(イ)③) (学・人) 簡単な英語表現を用いてコミュニケーションを図ることができる。(中学部)	(知・技) 学校の教室の名前や施設の名称について、英語の音声を聞き、真似て声を出したり、話したりしようとしている。 (思・判・表) 簡単な語句や基本的な表現を用いて伝えようとしている。 (主学) 簡単な英語表現を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	Lesson 4 学校案内	・学校の教室の名前や施設の名称や「ここが～です。」という場所を紹介する表現を使って相手に伝える。 例) This is our music room.

後期	4	(知及技) 時間の言い方・たずね方の英語表現について、英語の音声を聞き、真似て声を出したり、話したりすることができる。(中学部(1)7(7)) (思判表力) 時間の伝える表現に慣れ親しみ、表示を参考にしながら相手におおまかな時間を伝えることができる。(中学部(3)27(7)) (学・人) 簡単な英語表現を用いてコミュニケーションを図ることができる。(中学部)	(知・技) 時間の伝え方について、英語の音声を聞き、真似て声を出したり、話したりしようとしている。 (思・判・表) 簡単な語句や基本的な表現を用いて伝えようとしている。 (主学) 簡単な英語表現を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	Lesson 5 今何時？	・時間の言い方やたずね方の英語表現の特徴を知り、時間を伝える。 例) What time is is now?-It's ten thirty. ・0～30、2桁の数字の数え方の特徴を知り、数を数える。
	4	(知及技) 衣類や食べものについて、英語の音声を聞き、真似て声を出したり、話したりしようとしている。 (中学部(1)7(7)) (思判表力) 買い物や注文の仕方について簡単な語句や基本的な表現を用いて伝えることができる。(中学部(3)17(7))。 (学・人) 簡単な英語表現を用いてコミュニケーションを図ることができる。(中学部)	(知・技) 衣類や食べものについて、英語の音声を聞き、真似て声を出したり、話したりしようとしている。 (思・判・表) 簡単な語句や基本的な表現を用いて伝えようとしている。 (主学) 簡単な英語表現を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	Lesson 6 買い物へ行こう (衣服・食べ物)	・食べ物や衣類、生活用品に関する語句を知り、校内外での買い物の体験を通して欲しいものを伝えたり値段を聞いたりする。 例) I'd like a chinese noodle. How much is it? ・いろいろな形容詞 (big, small, beautiful, nice, heavy, etc.)を使って、食べものや服や生活用について説明する。 例) This bag is big.
	4	(知及技) 体験的な活動を通して、日本と外国との生活、習慣、行事などの違いを知ることができる。(中段階(1)7(7)2) (思判表力) グリーティングカードで季節のあいさつを伝えるために、基本的な英文レターの書き方に沿って書き写すことができる。(中学部(3)17(7)) (学・人) 簡単な英語表現を用いてコミュニケーションを図ることができる。(中学部)	(知・技) グリーティングカードで用いる語句や表現について、日本語との違いを理解している。 (思・判・表) グリーティングカードの基本的な英文レターの書き方に沿って書き写すことができる。 (主学) 英語を使ってコミュニケーションを図ろうとしている。	Lesson 7 ハッピーホリデイ	・外国の季節の行事を通して、自国・自分の地域の文化との類似点や違いを知り、外国の文化・風習に対する理解を深める。 ・グリーティングカードに使われる表現を用いて基本的な英文レターの書き方に沿ってカードを書く。
	3	(知及技) 新年のあいさつや新年に関する簡単な語句や基本的な表現に慣れ親しむことができる。また、体験的な活動を通して、日本と外国との生活、習慣、行事などの違いを知ることができる。(中学部(2)7、7(7)) (思判表力) 動物や顔のパーツの名称など簡単な語句や基本的な表現を用いて、相手に伝えること活動ができる。(中学部(3)27(7)) (学・人) 簡単な英語表現を用いてコミュニケーションを図ることができる。(中学部)	(知・技) 新年に関する簡単な語句や基本的な表現に慣れ親しんでいる。 (思・判・表) 簡単な語句や基本的な表現を用いて伝えようとしている。 (主学) 簡単な英語表現を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	Lesson 8 新年を祝おう	・新年や冬に関する語句に慣れ親しむ。(新年のあいさつ、外国の新年、干支) ・顔のパーツ、上下左右の言い方を知る。 animals
	3	(知及技) 動作を表す語句や可能の表現「I can～./I can't～」が表す内容の音声を聞き、真似て声を出したり、話することができる。(中学部(1)7(7)) (思判表力) 自分ができることやできないことを伝えるために簡単な語句や基本的な表現を用いて、相手に伝えること活動ができる。(中学部(3)27(7)) (学・人) 簡単な英語表現を用いてコミュニケーションを図ることができる。(中学部)	(知・技) 動作を表す語句や可能の表現「I can～./I can't～」が表す内容を真似て声を出したり話をしようとしている。 (思・判・表) 自分ができることやできないことを伝える語句や表現を用いて、自分のことを相手に伝えようとしている。 (主学) 英語を使ってコミュニケーションを図ろうとしている。	Lesson 9 できることを伝えよう	・動作を表す語句や「I can～.」「I can't～」の英語表現を用いて、自分のできることやできないことを伝える。 例) I can swim./Can you eat <i>natto</i> ?-No, I can't.
	留意点 引継ぎ等	年間を通じて、真和志高等学校との交流及び共同学習を行い、障害の有無に関わらず共に学ぶ経験を重ね、社会性を養う。			

令和6年度 高等部2年（Ⅱ課程Aグループ） 外国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	ゆい教室2学年 1名		『絵で学ぶ小学生の英語レッスンABCから英会話まで』

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 外国語を用いた体験的な活動を通して、身近な生活で見聞きする外国語に興味や関心をもち、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。(中学部) (思判表力)身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。(中学部) (学・人) 外国語を通して、外国語やその背景にある文化の多様性を知り、相手に配慮しながらコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。(中学部)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
前期	4	(知及技) あいさつや自己紹介について、英語の音声を聞き、真似て声を出したり、話したりすることができる。また体験的な活動を通して、日本と外国との生活、習慣、行事などの違いを知ることができる。(中学部(1)ア(7)、イ(7)) (思判表力) 自分の名前や住んでいる所、好きな物など簡単な語句や基本的な表現を用いて伝えることができる。(中学部(3)①イ(7)) (学・人) 簡単な英語表現を用いてコミュニケーションを図ることができる。(中学部)	(知・技) あいさつや自己紹介について、英語の音声を聞き、真似て声を出したり、話したりしようとしている。 (思・判・表) 簡単な語句や基本的な表現を用いて伝えようとしている。 (主学) 簡単な英語表現を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	Lesson 1 あいさつ・自己紹介 (誕生日、住んでいる所)・ジェスチャー、色、形)	・英語のあいさつ表現や自分に関すること(誕生日、住んでいる場所など)を簡単な語句を使って自己紹介する。 ・名前、学校名、住んでいる場所などを記入してネームカードを作成し、名刺交換の場を設定して、あいさつ、自分について紹介する。 ・日本と外国のジェスチャーの違いと類似点をその動きを模倣して理解する。ジェスチャーを交えながら簡単な英単語を声に出す。
	4	(知及技) 数について、英語の音声を聞き、真似て声を出したり、話したりすることができる。(中学部(1)ア(7)) (思判表力) 数の数え方やいくつあるかをたずねる表現に慣れ親しみ、さまざまなものの数を伝えることができる。(中学部(3)①ア(イ)㊤) (学・人) 簡単な英語表現を用いてコミュニケーションを図ることができる。(中学部)	(知・技) 数について、英語の音声を聞き、真似て声を出したり、話したりしようとしている。 (思・判・表) 簡単な語句や基本的な表現を用いて伝えようとしている。 (主学) 簡単な英語表現を用いてコミュニケーションを図るよう取り組んでいる。	Lesson 2 数の数え方 twelve months	・0～20、2桁の数字の数え方の特徴を知り、数を数える。いくつあるかをたずねる表現を知り「How many～?」の質問を受けて、自分の持ち物の数などを数えて答える。 (例) How many books do you have?— I have 5 books.
	4	(知及技) 家族に関する、英語の音声を聞き、真似て声を出したり、話したりすることができる。(中学部(1)ア(7)) (思判表力) 家族メンバーの名称に関する簡単な語句や基本的な表現を用いて自分の家族について相手に伝えることができる。(中学部(3)①ア(イ)㊤) (学・人) 簡単な英語表現を用いてコミュニケーションを図ることができる。(中学部)	(知・技) 家族について、英語の音声を聞き、真似て声を出したり、話したりしようとしている。 (思・判・表) 簡単な語句や基本的な表現を用いて伝えようとしている。 (主学) 簡単な英語表現を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	Lesson 3 家族	・家族のメンバーの言い方を知り、自分の家族について紹介する。 (例) I have one brother and two sisters.
	5	(知及技) 学校の教室の名前や施設の名称について、英語の音声を聞き、真似て声を出したり、話したりすることができる。(中学部(1)ア(7)) (思判表力) 学校の教室や施設の名称や案内する表現に慣れ親しみ、校内を案内することができる。(中学部(3)②ア(イ)㊤) (学・人) 簡単な英語表現を用いてコミュニケーションを図ることができる。(中学部)	(知・技) 学校の教室の名前や施設の名称について、英語の音声を聞き、真似て声を出したり、話したりしようとしている。 (思・判・表) 簡単な語句や基本的な表現を用いて伝えようとしている。 (主学) 簡単な英語表現を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	Lesson 4 学校案内	・学校の教室の名前や施設の名称や「ここが～です。」という場所を紹介する表現を使って相手に伝える。 (例) This is our music room.

後期	4	(知及技) 時間の言い方・たずね方の英語表現について、英語の音声を聞き、真似て声を出したり、話したりすることができる。(中学部(1)7(7)) (思判表力) 時間の伝える表現に慣れ親しみ、表示を参考にしながら相手におおまかな時間を伝えることができる。(中学部(3)27(7)) (学・人) 簡単な英語表現を用いてコミュニケーションを図ることができる。(中学部)	(知・技) 時間の伝え方について、英語の音声を聞き、真似て声を出したり、話したりしようとしている。 (思・判・表) 簡単な語句や基本的な表現を用いて伝えようとしている。 (主学) 簡単な英語表現を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	Lesson 5 今何時？	・時間の言い方・たずね方の英語表現の特徴を知り、時間を伝える。 (例) What time is it now?—It's ten thirty. ・0～30、2桁の数字の数え方の特徴を知り、数を数える。
	4	(知及技) 衣類や食べものについて、英語の音声を聞き、真似て声を出したり、話したりすることができる。(中学部(1)7(7)) (思判表力) 買い物や注文の仕方について簡単な語句や基本的な表現を用いて伝えることができる。(中学部(3)14(7)) (学・人) 簡単な英語表現を用いてコミュニケーションを図ることができる。(中学部)	(知・技) 衣類や食べものについて、英語の音声を聞き、真似て声を出したり、話したりしようとしている。 (思・判・表) 簡単な語句や基本的な表現を用いて伝えようとしている。 (主学) 簡単な英語表現を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	Lesson 6 買い物へ行こう (衣服・食べ物)	・食べ物や衣類、生活用品に関する語句を知り、校内外で買い物の体験を通して欲しいものを伝えたり値段を聞いたりする。 (例) I'd like a chinese noodle. How much is it? ・いろいろな形容詞 (big, small, beautiful, nice, heavy, etc.)を使って・食べものや服や生活用品について説明する。 (例) This bag is big.
	4	(知及技) 体験的な活動を通して、日本と外国との生活、習慣、行事などの違いを知ることができる。(中学部(1)14(7)②) (思判表力) グリーティングカードで季節のあいさつを伝えるために、基本的な英文レターの書き方に沿って書き写すことができる。(中学部(3)14(7)) (学・人) 簡単な英語表現を用いてコミュニケーションを図ることができる。(中学部)	(知・技) グリーティングカードで用いる語句や表現について、日本語との違いを理解している。 (思・判・表) グリーティングカードの基本的な英文レターの書き方に沿って書き写すことができる。 (主学) 英語を使ってコミュニケーションを図ろうとしている。	Lesson 7 ハッピーホリデイ	・外国の季節の行事を通して、自国・自分の地域の文化との類似点や違いを知り、外国の文化・風習に対する理解を深める。 ・グリーティングカードに使われる表現を用いて基本的な英文レターの書き方に沿ってカードを書く。
	3	(知及技) 新年のあいさつや新年に関する簡単な語句や基本的な表現に慣れ親しむことができる。また、体験的な活動を通して、日本と外国との生活、習慣、行事などの違いを知ることができる。(中学部(2)7、14(7)) (思判表力) 動物や顔のパーツの名称など簡単な語句や基本的な表現を用いて、相手に伝えること活動ができる。(中学部(3)27(7)) (学・人) 簡単な英語表現を用いてコミュニケーションを図ることができる。(中学部)	(知・技) 新年に関する簡単な語句や基本的な表現に慣れ親しんでいる。 (思・判・表) 簡単な語句や基本的な表現を用いて伝えようとしている。 (主学) 簡単な英語表現を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	Lesson 8 新年を祝おう	・新年や冬に関する語句に慣れ親しむ。(新年のあいさつ、外国の新年、干支) ・顔のパーツ、上下左右の言い方を知る。 animals
	3	(知及技) 動作を表す語句や可能な表現「I can～./I can't～」が表す内容の音声を聞き、真似て声を出したり、話することができる。(中学部(1)7(7)) (思判表力) 自分ができることやできないことを伝えるために簡単な語句や基本的な表現を用いて、相手に伝えること活動ができる。(中学部(3)27(7)) (学・人) 簡単な英語表現を用いてコミュニケーションを図ることができる。(中学部)	(知・技) 動作を表す語句や可能な表現「I can～./I can't～」が表す内容を真似て声を出したり話をしようとしている。 (思・判・表) 自分ができることやできないことを伝える語句や表現を用いて、自分のことを相手に伝えようとしている。 (主学) 英語を使ってコミュニケーションを図ろうとしている。	Lesson 9 できることを伝えよう	・動作を表す語句や「I can～.」「I can't～」の英語表現を用いて、自分のできることやできないことを伝える。 (例) I can swim./Can you eat <i>natto</i> ?—No, I can't.
留意点 引継ぎ等	年間を通じて、真和志高等学校との交流及び共同学習を行い、障害の有無に関わらず共に学ぶ経験を重ね、社会性を養う。				

令和6年度 高等部3年（Ⅱ課程Aグループ） 外国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	ゆい教室3学年 2名		『絵で学ぶ小学生の英語レッスンABCから英会話まで』

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 外国語を用いた体験的な活動を通して、身近な生活で見聞きする外国語に興味や関心をもち、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。(中学部) (思判表力) 身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。(中学部) (学・人) 外国語を通して、外国語やその背景にある文化の多様性を知り、相手に配慮しながらコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。(中学部)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
前期	4	(知及技) 一日の生活についてのに関する英語の音声を聞き、真似て声を出したり、話したりすることができる。(中学部(1)ア(7)) (思判表力) 簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分のことを紹介する活動ができる。(中学部(3)①ア(イ)㊥) (学・人) 簡単な英語表現を用いてコミュニケーションを図ることができる。(中学部)	(知・技) 一日の生活についてのに関する英語の音声を聞き、真似て声を出したり、話そうとしている。 (思・判・表) 簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の生活のことを紹介しようとしている。 (主学) 英語を使ってコミュニケーションを図ろうとしている。	Lesson 1 私の一日	・ 毎日の生活動作を表す表現や時刻・時間をたずねる表現を使って簡単な質問をしたり質問に答えたりする。 例) What time do you get up? - I get up at 6:30.
	4	(知及技) 交通手段や乗り物についてに関する英語の音声を聞き、真似て声を出したり、話したりすることができる。(中学部(1)ア(7)) (思判表力) 通学方法や交通手段に関する簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分のことを紹介する活動ができる。(中学部(3)①ア(イ)㊥) (学・人) 簡単な英語表現を用いてコミュニケーションを図ることができる。(中学部)	(知・技) 交通手段や乗り物に関する語句や表現を聞いて何を表しているか理解している。 (思・判・表) 簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の通学方法を説明しようとしている。 (主学) 英語を使ってコミュニケーションを図ろうとしている。	Lesson 2 通学・交通手段	・ 交通手段や乗り物に関する語句を知り、英語表現を使って移動手段を説明する。 例) How do you go to school? - I go to school by bus.
	4	(知及技) 建物・場所を表す簡単な語句や道案内についての基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付く。(中学部(1)ア(7)) (思判表力) 道案内に関する簡単な語句や基本的な表現を用いて、表示を参考にしながら案内活動ができる。(中学部(3)①ア(イ)㊥) (学・人) 簡単な英語表現を用いてコミュニケーションを図ることができる。(中学部)	(知・技) 建物・場所に関する語句や表現を聞いて何を表しているか理解している。 (思・判・表) 簡単な語句や基本的な表現を用いて、道案内をしようとしている。 (主学) 英語を使ってコミュニケーションを図ろうとしている。	Lesson 3 道案内	・ 建物・場所を表す語句を知り、校内外で英語表現を使って目的地までの道をたずねたり、道案内をする。 例) Where is a bookstore? -Go straight, and turn right.
	5	(知及技) 国名についてたずねる簡単な語句や行きたい国をたずねるたり答えたりする基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付く。(中学部(1)ア(7)) (思判表力) 関する簡単な語句や基本的な表現を用いて、表示を参考にしながら自分の行きたい所を紹介できる。(中学部(3)①ア(イ)㊥) (学・人) 簡単な英語表現を用いてコミュニケーションを図ることができる。(中学部)	(知・技) 国名に関する語句や表現を聞いて何を表しているか理解している。 (思・判・表) 簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の行きたい国を説明しようとしている。 (主学) 英語を使ってコミュニケーションを図ろうとしている。	Lesson 4 行きたい国	・ 世界の国々の名称や行きたい国についてたずねたり答えたりする表現を用いて、質問をしたり質問に答えたりする。例) Which country do you want to go? - I want to go to Italy. What it famous for Italy?-Pizza.

後期	4	(知及技) 動詞の過去形の内容を知り、英語の音声を聞き、真似て声を出したり、話したりすることができる。(中学部(1)ア(7)) (思判表力) 通字方法や交通手段に関する簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分のことを紹介する活動ができる。(中学部(3)①ア(イ)㊥) (学・人) 簡単な英語表現を用いてコミュニケーションを図ることができる。(中学部)	(知・技) 動詞の過去形を聞いて何を表しているか理解している。 (思・判・表) 簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分のことを説明しようとしている。 (主学) 英語を使ってコミュニケーションを図ろうとしている。	Lesson 5 夏休みのできごと	・動詞の過去形を用いて、夏休みのできごとを紹介する。 例) I went to beach with my family.
	4	(知及技) 体調や症状を表す語句や表現に関する英語の音声を聞き、真似て声を出したり、話したりすることができる。(中学部(1)ア(7)) (思判表力) 体調や病状に関する簡単な語句や基本的な表現を用いて、状況に応じて選択したりして伝え合うことができる。(中学部(3)①ア(イ)㊥) (学・人) 簡単な英語表現を用いてコミュニケーションを図ることができる。(中学部)	(知・技) 体調や症状に関する語句や表現を聞いて何を表しているか理解している。 (思・判・表) 体調や病状に簡単な語句や基本的な表現を用い、適切な表現を選んで伝えようとしている。 (主学) 英語を使ってコミュニケーションを図ろうとしている。	Lesson 6 体調を伝えよう	・病気や体の状態を表す語句や体調を伝える表現を使って相手に伝える。 例) What's the matter? -I have a headache.
	4	(知及技) 時節のカードで用いる語句や基本的な表現について慣れ親しむ。(中学部(1)ア(7)) (思判表力) グリーティングカードで季節のあいさつを伝えるために、基本的な英文レターの書き方に沿って書き写すことができる。(中学部(3)①イ(7)) (学・人) 簡単な英語表現を用いてコミュニケーションを図ることができる。(中学部)	(知・技) グリーティングカードで用いる語句や表現について、日本語との違いを理解している。 (思・判・表) グリーティングカードの基本的な英文レターの書き方に沿って書き写すことができる。 (主学) 英語を使ってコミュニケーションを図ろうとしている。	Lesson 7 季節の行事	・外国の季節の行事を通して、自国・自分の地域の文化との類似点や違いを知り、外国の文化・風習に対する理解を深める。
	3	(知及技) 願望を表す基本的な表現などが表す内容について関する英語の音声を聞き、真似て声を出したり、話したりすることができる。(中学部(1)ア(7)) (思判表力) 将来の夢ややりたいことに関する簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の夢を伝えることができる。(中学部(3)①ア(イ)㊥) (学・人) 簡単な英語表現を用いてコミュニケーションを図ることができる。(中学部)	(知・技) 願望を表す表現を聞いて何を表しているか理解している。情報機器を活用して英単語を調べようとしている。 (思・判・表) 将来の夢ややりたいことに簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の将来の夢を説明しようとしている。 (主学) 英語を使ってコミュニケーションを図ろうとしている。	Lesson 8 私の夢	・新年の抱負や自分の将来の夢について考え、卒業後にやりたいことなどを表現する。 例) I want to drive a car. ・情報機器を活用して、知りたい英単語を調べて使う。
	3	(知及技) 時節のカードで用いる語句や基本的な表現について慣れ親しむ。(中学部(1)ア(7)) (思判表力) グリーティングカードで感謝の気持ちを伝えるために、基本的な英文レターの書き方に沿って書き写すことができる。(中学部(3)①イ(7)) (学・人) 簡単な英語表現を用いてコミュニケーションを図ることができる。(中学部)	(知・技) グリーティングカードで用いる語句や表現について、日本語との違いを理解している。 (思・判・表) グリーティングカードの基本的な英文レターの書き方に沿って書き写すことができる。 (主学) 英語を使ってコミュニケーションを図ろうとしている。	Lesson 9 ありがとう	・感謝の気持ちを表す英語表現を用いて、基本的な英文レターの書き方で簡単な英文の手紙を書く。
留意点 引継ぎ等	年間を通じて、真和志高等学校との交流及び共同学習を行い、障害の有無に関わらず共に学ぶ経験を重ね、社会性を養う。				

令和6年度 高等部2年（Ⅱ課程Aグループ） 情報科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1／35	ゆい教室2学年 1名		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 効果的なコミュニケーションの方法や、身近にあるコンピュータやデータの活用について知り、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて知ることができる。(高1段階) (思判表力) 身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を活用する力を養うことができる。(高1段階) (学・人) 身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養うことができる。(高1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
前期	10	(知及技) 身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを知ることができる。(高1 A ア(ア)) (思判表力) 目的や状況に応じて、身近にある情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法について考えることができる。(高1 A イ(ア)) (学・人) 身近にある情報技術を適切に活用する態度を身につけることができる。	(知・技) 身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを知ろうとしている。(思・判・表) 目的や状況に応じて、身近にある情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法について考えようとしている。(主学) 身近にある情報技術を適切に活用する態度を身につけようとしている。 【評価資料】 ・単元テスト ・活動の様子や課題への取り組みを評価する。	【情報社会の問題解決】 ・身近な情報機器について ・情報社会について	・身近な情報機器について知る。 ・教材（PC、PC周辺機器、iPad等の情報端末） ・情報とメディア、情報モラル、個人情報、著作権等
	15	(知及技) 身近にある情報デザインから、表現する基礎的な技能を身に付けることができる。(高1 B ア(ア)) (思判表力) 身近なメディアとコミュニケーション手段の関係を考えることができる。(高1 B イ(ア)) (学・人) 身近にある情報技術を適切に活用する態度を身に付けることができる。	(知・技) 身近にある情報デザインから、表現する基礎的な技能を身に付けようとしている。(思・判・表) 身近なメディアとコミュニケーション手段の関係を考えようとしている。(主学) 身近にある情報技術を適切に活用する態度を身につけようとしている。 【評価資料】 ・単元テスト ・活動の様子や課題への取り組みを評価する。	【コミュニケーションと情報デザイン】 ・数値と文字のデジタル表現 ・画像や動画のデジタル表現 ・情報デザイン ・ユニバーサルデザイン	・マイクロソフト（ワード、エクセル、パワーポイント）の活用
後期	10	(知及技) 情報通信ネットワークの基本的な仕組みや情報セキュリティを確保するための基本的な方法を知ることができる。(高1 C ア(ア)) (思判表力) 情報通信ネットワークにおける基本的な仕組みや情報セキュリティを確保するための基本的な方法について考えることができる。(高1 C イ(ア)) (学・人) 身近にある情報技術を適切に活用する態度を身につけることができる。	(知・技) 情報通信ネットワークの基本的な仕組みや情報セキュリティを確保するための基本的な方法を知ろうとしている。(思・判・表) 情報通信ネットワークにおける基本的な仕組みや情報セキュリティを確保するための基本的な方法について考えようとしている。(主学) 身近にある情報技術を適切に活用する態度を身につけようとしている。 【評価資料】 ・単元テスト ・活動の様子や課題への取り組みを評価する。	【情報ネットワークとデータの活用】 ・プログラミング学習 ・ネットリテラシー	・プログラミングソフトの活用 ・インターネットを使用する上での注意点について
留意点 引継ぎ等					

令和6年度 高等部3年（Ⅱ課程Aグループ） 情報科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1／35	ゆい教室3学年 2名		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 効果的なコミュニケーションの方法や、身近にあるコンピュータやデータの活用について知り、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて知ることができる。(高1段階) (思判表力) 身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を活用する力を養うことができる。(高1段階) (学・人) 身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養うことができる。(高1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
前期	10	(知及技) 身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを知ることができる。(高1 A ア) (思判表力) 目的や状況に応じて、身近にある情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法について考えることができる。(高1 A イ ア) (学・人) 身近にある情報技術を適切に活用する態度を身に付けることができる。	(知・技) 身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを知ろうとしている。 (思・判・表) 目的や状況に応じて、身近にある情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法について考えようとしている。 (主学) 身近にある情報技術を適切に活用する態度を身に付けようとしている。 【評価資料】 ・単元テスト ・活動の様子や課題への取り組みを評価する。	【情報社会の問題解決】 ・身近な情報機器について ・情報社会について	・身近な情報機器について知る。 ・教材（PC、PC周辺機器、iPad等の情報端末） ・情報とメディア、情報モラル、個人情報、著作権等
	15	(知及技) 身近にある情報デザインから、表現する基礎的な技能を身に付けることができる。(高1 B ア(ア)) (思判表力) 身近なメディアとコミュニケーション手段の関係を考えることができる。(高1 B イ(ア)) (学・人) 身近にある情報技術を適切に活用する態度を身に付けることができる。	(知・技) 身近にある情報デザインから、表現する基礎的な技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 身近なメディアとコミュニケーション手段の関係を考えようとしている。 (主学) 身近にある情報技術を適切に活用する態度を身に付けようとしている。 【評価資料】 ・単元テスト ・活動の様子や課題への取り組みを評価する。	【コミュニケーションと情報デザイン】 ・数値と文字のデジタル表現 ・画像や動画のデジタル表現 ・情報デザイン ・ユニバーサルデザイン	・マイクロソフト（ワード、エクセル、パワーポイント）の活用
後期	10	(知及技) 情報通信ネットワークの基本的な仕組みや情報セキュリティを確保するための基本的な方法を知ることができる。(高1 C ア(ア)) (思判表力) 情報通信ネットワークにおける基本的な仕組みや情報セキュリティを確保するための基本的な方法について考えることができる。(高1 C イ(ア)) (学・人) 身近にある情報技術を適切に活用する態度を身に付けることができる。	(知・技) 情報通信ネットワークの基本的な仕組みや情報セキュリティを確保するための基本的な方法を知ろうとしている。 (思・判・表) 情報通信ネットワークにおける基本的な仕組みや情報セキュリティを確保するための基本的な方法について考えようとしている。 (主学) 身近にある情報技術を適切に活用する態度を身に付けようとしている。 【評価資料】 ・単元テスト ・活動の様子や課題への取り組みを評価する。	【情報ネットワークとデータの活用】 ・プログラミング学習 ・ネットリテラシー	・プログラミングソフトの活用 ・インターネットを使用する上での注意点について
		留意点 引継ぎ等			

令和6年度 高等部年間指導計画			
教科/科目	特別の教科 道徳	単位数	1単位
学部 学年 組 氏名	ゆい教室1学年 1名 2学年 1名 3学年 2名	担当者	

中心目標
【中心目標】 ◎身の回りの生活や人との関わりにおける道徳的諸価値について理解し、自分の生活や周りの人とよりよく関わり生活するための道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育む。 (学期目標例) ○基本的な生活習慣の意義や大切さを理解し、進んで望ましい生活習慣を身に付けようとする意欲をもつ。 ○よいこととよくないことを判断し、してはならないことをしないことや、社会生活上のきまりを守ろうとする意識をもつ。 ○命の大切さに気づき、自然や美しいものに感動する心をもつ。

★幼小学部重点内容項目 ☆中学部重点内容項目 ◎高等部重点内容項目

学期	時数	『主題名』 【指導内容項目】 ★☆☆重点内容項目	指導目標	指導方法 支援の手立て	・教材 ●評価
	5	『休みの過ごし方について』 『自立した生活について』 ◎A【節度、節制】	・自分でできることは自分でやり、安全に気を付け、よく考えて行動し、節度ある生活をしようとする態度を養う。 ・お金の計画的な使い方や生活習慣の大切さについて理解し、これからの生活に生かそうとする態度を養う。 【健康や安全に気を付け、物や金銭を大切にし、身の回りを整え、わがままをしないで、規則正しい生活をする事】	1 資料提示 2 発問 3 話し合い 4 書く活動 5 表現活動 6 板書 7 説話	・教科書・書籍等 ・自作教材 ・その他 ●授業観察 ●ワークシート ●表情・発言
	3	『挨拶、丁寧な言葉遣い、お願いの仕方』 ◎B【礼儀】	・気持ちのよい挨拶、言葉遣い、動作などに心掛けて、実践しようとする態度を養う。 【気持ちのよい挨拶、言葉遣い、動作などに心掛けて、明るく接すること】	1 インタビュー 2 資料提示 3 発問 4 話し合い 5 書く活動 6 表現活動 7 板書 8 説話	・教科書・書籍等 ・自作教材 ・その他 ●授業観察 ●ワークシート ●表情・発言

	3	『友達や異性との付き合い方(性教育)』 ★◎B【友情、信頼】	・友達と互いに信頼し、助け合おうとする態度を養う。 ・異性の特性や違いを受け止め、相手を理解しながら、人間関係を築いていく態度を養う。 【友達と仲よくし、助け合うこと】	1 交流及び共同学習 2 資料提示 3 発問 4 話し合い 5 書く活動 6 表現活動 7 板書 8 説話	・教科書・書籍等 ・自作教材 ・その他 ●授業観察 ●ワークシート ●表情・発言
	3	『話し合いによって問題を解決する』 ◎B【相互理解、寛容】	・自分の考えや意見を相手に伝えるとき、相手のことを理解し、自分と異なる意見も大切にする態度を養う。 【自分の考えや意見を相手に伝えるとき、相手のことを理解し、自分と異なる意見も大切にするこ】	1 資料提示 2 発問 3 話し合い 4 書く活動 5 表現活動 6 板書 7 説話	・教科書・書籍等 ・自作教材 ・その他 ●授業観察 ●ワークシート ●表情・発言
	3	『人権について』 ◎C【公正、公平、社会正義】	・誰に対しても分け隔てをせず、公正、公平な態度で接しようとする態度を養う。 【自分の好き嫌いにとらわれないで接すること】	1 資料提示 2 発問 3 話し合い 4 書く活動 5 表現活動 6 板書 7 説話	・教科書・書籍等 ・自作教材 ・その他 ●授業観察 ●ワークシート ●表情・発言
	4	『職業や働くことについて考える』 ★◎C【勤労、公共の精神】	・働くことの意義を理解し、将来の生き方について考えを深め、勤労を通じて社会に貢献する態度を養う。 【働くことのよさを知り、みんなのために働くこと】	1 資料提示 2 校外学習 3 発問 4 話し合い 5 書く活動 6 表現活動 7 板書 8 説話	・校外学習 ・自作教材 ・その他 ●授業観察 ●ワークシート ●表情・発言
	5	『よりよい学校生活について【環境美化活動】』 ★C【よりよい学校生活、集団生活の充実】	学校や学級の一員としての自覚を持ち、協力し合ってよりよい校風を作るとともに、様々な集団の意義や集団生活の中での自分の役割と責任を自覚して集団生活の充実に努める態度を養う。 【先生を敬愛し、学校の人々に親しんで、学級や学校の生活を楽しむこと】	1 資料提示 2 発問 3 話し合い 4 書く活動 5 表現活動 6 板書 7 説話	・教科書・書籍等 ・自作教材 ・その他 ●授業観察 ●ワークシート ●表情・発言
	5	『先人から受け継がれてきた郷土の自然とくらしについて』 C【郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度】	・我が国や郷土の文化と生活に親しみ、愛着をもとうとする態度を養う。 ・他国の人々や文化について親しもうとする態度を養う。 【我が国や郷土の文化と生活に親しみ、愛着をもつこと】	1 資料提示 2 校外学習 3 発問 4 話し合い 5 書く活動 6 表現活動 7 板書 8 説話	・校外学習 ・自作教材 ・その他 ●授業観察 ●ワークシート ●表情・発言
	4	『平和について』 『命の誕生について』 ☆D【生命の尊さ】	・生命の尊さを知り、生命あるものを大切にしようとする態度を養う。 【生きることのすばらしさを知り、生命を大切にすること。】	1 資料提示 2 発問 3 話し合い 4 書く活動 5 表現活動 6 板書 7 説話	・教科書・書籍等 ・自作教材 ・その他 ●授業観察 ●ワークシート ●表情・発言
計	35				

令和6年度 高等部1年（Ⅱ課程Aグループ）総合的な探究の時間 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	ゆい教室1学年 1名		

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解することができる。 （思判表力）実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。 （学・人）探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
前期	17	（知及技）これまでの自分や生活について振り返り、課題の解決に向けて、やるべきことを見いだすことができる。 （思判表力）自分の課題を見だし、その解決に向けて、目標を考え、発表することができる。 （学・人）自分のことについての学習に、主体的に取り組むことができる。	（知・技）教師と一緒にこれまでの自分や生活について振り返り、課題の解決に向けて、やるべきことを見いだそうとしている。 （思・判・表）教師と一緒に自分の課題について考え、その解決に向けて、目標を決めて発表しようとしている。 （主学）自分のことについての学習に、主体的に取り組もうとしている。 【評価資料】学習の様子で評価する。	・前期の目標を立てよう ・自己理解について	・これまでの自分や生活について振り返り、課題を見つけ、その解決に向けた目標を考える。 ・質問を見ながら自分のことについて考える。
		（知及技）社会人としてのマナーを知り、自分に必要なスキルを身に付けることができる。 （思判表力）社会人としてふさわしい言葉遣いや服装を考え、場面に応じた服装や適切な言葉遣いができる。 （学・人）主体的・協働的に学習に取り組むことができる。	（知・技）社会人としてのマナーを知り、自分に必要なスキルを身に付けようとしている。 （思・判・表）社会人としてふさわしい言葉遣いや服装を考え、場面に応じた服装や適切な言葉遣いをしようとしている。 （主学）主体的・協働的に学習に取り組もうとしている。 【評価資料】学習の様子で評価する。	・ルールについて ・社会人としてのマナー（ちゅうらマナー週間） ・前期就業体験実習事前事後学習	・学校でのルールについて学ぶ。 ・社会人としてのマナーを知り、自分に必要なスキルを見いだす。 ・社会人としてふさわしい言葉遣いや服装を考え、場面に応じて適切な言葉遣いや服装を考える。
		（知・技）学ぶことや働くことの意義について知り、社会生活に必要な力を身に付けることができる。 （思・判・表）何をすべきか、どのようにすべきかなどを考えながら職業体験に取り組むことができる。 （主学）主体的・協働的に学習に取り組むことができる。	（知・技）学ぶことや働くことの意義について知り、社会生活に必要な力を身に付けようとしている。 （思・判・表）教師と一緒に、何をすべきか、どのようにすべきかなどを考えながら職業体験に取り組もうとしている。 （主学）主体的・協働的に学習に取り組もうとしている。 【評価資料】学習の様子で評価する。	・職業体験授業	・働くことの意義について学ぶ。 ・働く上で必要な力について学ぶ。 ・様々な仕事があることを知る。
		（知及技）これまでの自分や生活について振り返り、課題の解決に向けて、やるべきことを見いだすことができる。 （思判表力）自分の課題を見だし、その解決に向けて、目標を考え、発表することができる。 （学・人）自分についての学習に主体的に学習に取り組むとともに、クラスメイトのよさを理解することができる。	（知・技）教師と一緒にこれまでの自分や生活について振り返り、課題の解決に向けて、やるべきことを見いだそうとしている。 （思・判・表）教師と一緒に自分の課題を見だし、その解決に向けて、目標を決めて発表している。 （主学）自分についての学習に主体的に取り組むとともに、クラスメイトのよさを理解しようとしている。 【評価資料】学習の様子で評価する。	・後期の目標を考えよう ・自己分析について ・未来予想図について ・自己理解について ・価値観について	・後期の目標を考え、発表する。 ・これまでの自分や生活について振り返り、自分のことについて考えてみる。 ・将来のなりたい自分について考える。 ・質問を見ながら自分のことについて考える。 ・価値観について考える。
		（知及技）社会人としてのマナーを知り、自分に必要なスキルを見いだすことができる。 （思判表力）社会人としてふさわしい服装や言葉遣いを考え、場面に応じた服装や適切な言葉遣いができる。 （学・人）主体的・協働的に学習に取り組むことができる。	（知・技）社会人としてのマナーを知り、自分に必要なスキルを見いだそうとしている。 （思・判・表）社会人としてふさわしい服装や言葉遣いを考え、場面に応じた服装や適切な言葉遣いをしようとしている。 （主学）主体的・協働的に学習に取り組もうとしている。 【評価資料】学習の様子で評価する。	・社会人としてのマナー（ちゅうらマナー週間） ・後期就業体験実習事前事後学習 ・マナー講座	・社会人としてのマナーについて学ぶ。 ・社会人としてふさわしい言葉遣いや服装を考える。

後期	18	(知及技) 身近な生活の中で、環境に配慮した物の使い方などについて知り、実践することができる。 (思判表力) 身近な生活の中で、環境に配慮した物の使い方などについて考え、工夫することができる。 (学・人) 奉仕活動を通して、社会の一員として行動することができる。	(知及技) 身近な生活の中で、環境に配慮した物の使い方などについて知り、実践しようとしている。 (思判表力) 身近な生活の中で、環境に配慮した物の使い方などについて考え、工夫しようとしている。 (主学) 奉仕活動を通して、社会の一員として取り組もうとしている。 【評価資料】学習の様子で評価する。	・環境学習	・皆で校内外の清掃活動を行う。
		(知及技) 真和志フェスの意義や価値を知り、周りと協力する力を身に付けることができる。 (思判表力) 真和志フェスについて自分の意見や考えをまとめて、それを表現することができる。 (学・人) 主体的・協働的に学習に取り組むことができる。	(知・技) 真和志フェスの意義や価値を知り、周りと協力する力を身に付けようとしている。 (思・判・表) 真和志フェスについて、教師と一緒に自分の意見や考えをまとめて、それを表現しようとしている。 (主学) 主体的・協働的に学習に取り組もうとしている。 【評価資料】学習の様子で評価する。	・真和志フェス事前、事後学習	・真和志フェスについての意義について知る。 ・真和志フェスで何をするか皆で考える。 ・皆で準備をする。 ・真和志フェスでの取り組みを振り返り感想を記入する。
		(知及技) 学ぶことや働くことの意義、人との付き合い方の大切さについて知り、社会生活に必要なスキルを身に付けることができる。 (思判表力) 自分がどのような行動をしたらよいか場面ごとに考え、実践することができる。 (学・人) 主体的・協働的に学習に取り組むことができる。	(知・技) 学ぶことや働くことの意義、人との付き合い方の大切さについて知り、社会生活に必要なスキルを身に付けようとしている。 (思・判・表) 自分がどのような行動をしたらよいか場面ごとに考え、実践しようとしている。 (主学) 主体的・協働的に学習に取り組もうとしている。 【評価資料】学習の様子で評価する。	・働くことと職場の人との付き合い方 ＊前期就業体験実習 ＊後期就業体験実習 ・職業を知る	・就業体験実習を行い、働くために必要なことを学ぶ。 ・職業の業種を知る。
留意点 引継ぎ等		年間を通じて、真和志高等学校との交流及び共同学習を行い、障害の有無に関わらず共に学ぶ経験を重ね、社会性を養う。			

令和6年度 高等部2年（Ⅱ課程Aグループ）総合的な探究の時間 年間指導計画

単位数 ／配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	ゆい教室2学年 1名		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解することができる。 (思判表力) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。 (学・人) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。			
学 期	時 数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
前 期	17	(知及技) これまでの自分や生活について振り返り、課題の解決に向けて、やるべきことを見いだすことができる。 (思判表力) 自分の課題を見いだし、その解決に向けて、目標を考え、発表することができる。 (学・人) 自分についての学習に主体的に学習に取り組むとともに、クラスメイトのよさを理解することができる。	(知・技) これまでの自分や生活について振り返り、課題の解決に向けて、やるべきことを見いだしている。 (思・判・表) 自分の課題を見いだし、その解決に向けて、目標を考え、発表している。 (主学) 自分についての学習に主体的に学習に取り組むとともに、クラスメイトのよさを理解している。 【評価資料】学習の様子で評価する。	・1年間の目標を立てよう ・前期の目標を立てよう	・これまでの自分や生活について振り返り、課題の解決に向けて、やるべきことを見いだす。 ・前期の目標を考え、発表する。
		(知及技) 社会人としてのマナーを知り、自分に必要なスキルを見いだすことができる。 (思判表力) 社会人としてふさわしい言葉遣いや服装を考え、場面に応じて適切な言葉遣いや服装ができる。 (学・人) 就業体験を意識しながら、適切な言葉遣いや服装を心がけ、日常生活を過ごすことができる。	(知・技) 社会人としてのマナーを知り、自分に必要なスキルを見いだしている。 (思・判・表) 社会人としてふさわしい言葉遣いや服装を考え、場面に応じて適切な言葉遣いや服装をしている。 (主学) 就業体験を意識しながら、適切な言葉遣いや服装を心がけ、日常生活を過ごしている。 【評価資料】学習の様子で評価する。	・社会人としてのマナー（ちゅうらマナー週間） ・前期就業体験実習事前事後学習	・社会人としてのマナーを知り、自分に必要なスキルを見いだす。 ・社会人としてふさわしい言葉遣いや服装を考え、場面に応じて適切な言葉遣いや服装を考える。
		(知・技) 自分の将来や生き方について考え、よりよい生き方に気付くことができる。 (思・判・表) 自分の課題を見つめ、これからの生活について考えたことを、自信を持って伝えることができる。 (主学) 学習して獲得したことを実生活、実社会に生かそうとすることができる。	(知・技) 自分の将来や生き方について考え、よりよい生き方に気付いている。 (思・判・表) 自分の課題を見つめ、これからの生活について考えたことを、自信を持って伝えている。 (主学) 学習して獲得したことを実生活、実社会に生かそうとしている。 【評価資料】学習の様子で評価する。	・ライフキャリアアズごろく	・これまでの自分や生活について振り返り、自分将来や生き方について考え、課題の解決に向けて、やるべきことを見いだす。
		(知及技) これまでの自分や生活について振り返り、課題の解決に向けて、やるべきことを見いだすことができる。 (思判表力) 自分の課題を見いだし、その解決に向けて、目標を考え、発表することができる。 (学・人) 自分についての学習に主体的に学習に取り組むとともに、クラスメイトのよさを理解することができる。	(知・技) これまでの自分や生活について振り返り、課題の解決に向けて、やるべきことを見いだしている。 (思・判・表) 自分の課題を見いだし、その解決に向けて、目標を考え、発表している。 (主学) 自分についての学習に主体的に学習に取り組むとともに、クラスメイトのよさを理解している。 【評価資料】学習の様子で評価する。	・自分について考えよう ・後期の目標を考えよう	・これまでの自分や生活について振り返り、課題の解決に向けて、やるべきことを見いだす。 ・後期の目標を考え、発表する。
		(知及技) 社会人としてのマナーを知り、自分に必要なスキルを見いだすことができる。 (思判表力) 社会人としてふさわしい言葉遣いや服装を考え、場面に応じて適切な言葉遣いや服装ができる。 (学・人) 就業体験を意識しながら、適切な言葉遣いや服装を心がけ、日常生活を過ごすことができる。	(知・技) 社会人としてのマナーを知り、自分に必要なスキルを見いだしている。 (思・判・表) 社会人としてふさわしい言葉遣いや服装を考え、場面に応じて適切な言葉遣いや服装をしている。 (主学) 就業体験を意識しながら、適切な言葉遣いや服装を心がけ、日常生活を過ごしている。 【評価資料】学習の様子で評価する。	・社会人としてのマナー（ちゅうらマナー週間） ・後期就業体験実習事前事後学習 ・マナー講座	・社会人としてのマナーを知り、自分に必要なスキルを見いだす。 ・社会人としてふさわしい言葉遣いや服装を考え、場面に応じて適切な言葉遣いや服装を考える。

後期	18	(知・技) 身近な生活の中で、環境に配慮した物の使い方などについて知り、実践しようとするができる。 (思・判・表) 身近な生活の中で、環境に配慮した物の使い方などについて考え、工夫することができる。 (学・人) 奉仕活動を通して、社会の一員としての姿について行動することができる。	(知・技) 身近な生活の中で、環境に配慮した物の使い方などについて知り、実践しようとしている。 (思・判・表) 身近な生活の中で、環境に配慮した物の使い方などについて考え、工夫しようとしている。 (主・学) 奉仕活動を通して、社会の一員としての取り組みもうとする態度を養う。 【評価資料】学習の様子で評価する。	環境学習	・身近な生活の中で、環境に配慮した物の使い方などについて知り、実践する。 ・身近な生活の中で、環境に配慮した物の使い方などについて考え、工夫する。
		(知・技) 真和志フェスティバルの意義や価値を知り、周りと協力する力を身に付けることができる。 (思・判・表) 真和志フェスティバルについて自分の意見や考えをまとめて、それを表現することができる。 (学・人) 主体的・協働的に学習に取り組むことができる。	(知・技) 真和志フェスティバルの意義や価値を知り、周りと協力する力を身に付けようとしている。 (思・判・表) 真和志フェスティバルについて、教師と一緒に自分の意見や考えをまとめて、それを表現しようとしている。 (主・学) 主体的・協働的に学習に取り組もうとしている。 【評価資料】学習の様子で評価する。	・真和志フェスティバル事前、事後学習	・真和志フェスティバルについての意義について知る。 ・真和志フェスティバルで何をするか皆で考える。 ・皆で準備をする。 ・真和志フェスティバルでの取り組みを振り返り感想を記入する。
		(知・技) 学ぶことや働くことの意義、人との付き合い方の大切さについて知り、社会生活に必要なスキルを身に付けることができる。 (思・判・表) 自分がどのような行動をしたらよい場面ごとに考え、実践することができる。 (学・人) 主体的・協働的に学習に取り組むことができる。	(知・技) 学ぶことや働くことの意義、人との付き合い方の大切さについて知り、社会生活に必要なスキルを身に付けようとしている。 (思・判・表) 自分がどのような行動をしたらよい場面ごとに考え、実践しようとしている。 (主・学) 主体的・協働的に学習に取り組もうとしている。 【評価資料】学習の様子で評価する。	・学ぶことや働くことと人との付き合い方 *前期就業体験実習 *後期就業体験実習	・就業体験実習を行い、社会生活に必要なスキルの習得を図る。
	年間を通じて、真和志高等学校との交流及び共同学習を行い、障害の有無に関わらず共に学ぶ経験を重ね、社会性を養う。				
留意点 引継ぎ等					

令和6年度 高等部3年（Ⅱ課程Aグループ）総合的な探究の時間 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1／35	ゆい教室3学年 2名		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。 (思判表力) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 (学・人) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
前期		(知及技) これまでの自分や生活について振り返り、課題の解決に向けて、やるべきことを見いだすことができる。 (思判表力) 自分の課題を見いだし、その解決に向けて、目標を考え、発表することができる。 (学・人) 自分のことについての学習に、主体的に取り組むことができる。	(知・技) 教師と一緒にこれまでの自分や生活について振り返り、課題の解決に向けて、やるべきことを見いだそうとしている。 (思・判・表) 教師と一緒に自分の課題について考え、その解決に向けて、目標を決めて発表しようとしている。 (主学) 自分のことについての学習に、主体的に取り組もうとしている。 【評価資料】学習の様子で評価する。	【生徒の興味・関心に基づく課題】 ・前期の目標を立てよう ・個人撮影	・これまでの自分や生活について振り返り、課題を見つけ、その解決に向けた目標を考える。
		(知及技) 社会人としてのマナーを知り、自分に必要なスキルを見いだすことができる。 (思判表力) 社会人としてふさわしい言葉遣いや服装を考え、場面に応じて適切な言葉遣いや服装ができる。 (学・人) 就業体験を意識しながら、適切な言葉遣いや服装を心がけ、日常生活を過ごすことができる。	(知・技) 社会人としてのマナーを知り、自分に必要なスキルを見いだしている。 (思・判・表) 社会人としてふさわしい言葉遣いや服装を考え、場面に応じて適切な言葉遣いや服装をしている。 (主学) 就業体験を意識しながら、適切な言葉遣いや服装を心がけ、日常生活を過ごしている。	【職業や自己の進路に関する課題】 ・社会人としてのマナー（ちゅうらマナー週間） ・前期就業体験実習事前事後学習 ・スーツ着こなし講座 ・マナー講座	・社会人としてのマナーを知り、自分に必要なスキルを見いだす。 ・社会人としてふさわしい言葉遣いや服装を考え、場面に応じて適切な言葉遣いや服装を考える。
		(知・技) 学ぶことや働くことの意義について知り、社会生活に必要な力を身に付けることができる。 (思・判・表) 何をすべきか、どのようにすべきかなどを考えながら進路学習に取り組むことができる。 (主学) 主体的・協働的に学習に取り組むことができる。	(知・技) 学ぶことや働くことの意義について知り、社会生活に必要な力を身に付けようとしている。 (思・判・表) 教師と一緒に、何をすべきか、どのようにすべきかなどを考えながら進路学習に取り組もうとしている。 (主学) 主体的・協働的に学習に取り組もうとしている。 【評価資料】学習の様子で評価する。	【職業や自己の進路に関する課題】 ・進路別集会 ・進路学習 ・進学フェスタ ・出願・応募書類準備	・学ぶことや働くことの意義について学ぶ。 ・社会生活で必要な力について学ぶ。 ・様々な進路があることを知る。
		(知及技) これまでの自分や生活について振り返り、課題の解決に向けて、やるべきことを見いだすことができる。 (思判表力) 自分の課題を見いだし、その解決に向けて、目標を考え、発表することができる。 (学・人) 自分についての学習に主体的に学習に取り組むとともに、クラスメイトのよさを理解することができる。	(知・技) 教師と一緒にこれまでの自分や生活について振り返り、課題の解決に向けて、やるべきことを見いだそうとしている。 (思・判・表) 教師と一緒に自分の課題を見いだし、その解決に向けて、目標を決めて発表している。 (主学) 自分についての学習に主体的に取り組むとともに、クラスメイトのよさを理解しようとしている。 【評価資料】学習の様子で評価する。	【生徒の興味・関心に基づく課題】 ・後期の目標を考えよう	・後期の目標を考え、発表する。 ・これまでの自分や生活について振り返り、自分のことについて考えてみる。 ・将来のなりたい自分について考える。
		(知及技) 社会人としてのマナーを知り、自分に必要なスキルを見いだすことができる。 (思判表力) 社会人としてふさわしい言葉遣いや服装を考え、場面に応じて適切な言葉遣いや服装ができる。 (学・人) 就業体験を意識しながら、適切な言葉遣いや服装を心がけ、日常生活を過ごすことができる。	(知・技) 社会人としてのマナーを知り、自分に必要なスキルを見いだしている。 (思・判・表) 社会人としてふさわしい言葉遣いや服装を考え、場面に応じて適切な言葉遣いや服装をしている。 (主学) 就業体験を意識しながら、適切な言葉遣いや服装を心がけ、日常生活を過ごしている。	【職業や自己の進路に関する課題】 ・社会人としてのマナー（ちゅうらマナー週間） ・後期就業体験実習事前事後学習	・社会人としてのマナーを知り、自分に必要なスキルを見いだす。 ・社会人としてふさわしい言葉遣いや服装を考え、場面に応じて適切な言葉遣いや服装を考える。

後期	(知及技) 身近な生活の中で、環境に配慮した物の使い方などについて知り、実践することができる。 (思判表力) 身近な生活の中で、環境に配慮した物の使い方などについて考え、工夫することができる。 (学・人) 奉仕活動を通して、社会の一員として行動することができる。	(知及技) 身近な生活の中で、環境に配慮した物の使い方などについて知り、実践しようとしている。 (思判表力) 身近な生活の中で、環境に配慮した物の使い方などについて考え、工夫しようとしている。 (主学) 奉仕活動を通して、社会の一員として取り組もうとしている。 【評価資料】学習の様子で評価する。	【横断的・総合的な課題】 ・環境学習(地域奉仕、ワックス作業等)	・皆で校内外の清掃活動を行う。
	(知及技) 真和志フェスティバルの意義や価値を知り、周りと協力する力を身に付けることができる。 (思判表力) 真和志フェスティバルについて自分の意見や考えをまとめて、それを表現することができる。 (学・人) 主体的・協働的に学習に取り組むことができる。	(知・技) 真和志フェスティバルの意義や価値を知り、周りと協力する力を身に付けようとしている。 (思・判・表) 真和志フェスティバルについて、教師と一緒に自分の意見や考えをまとめて、それを表現しようとしている。 (主学) 主体的・協働的に学習に取り組もうとしている。 【評価資料】学習の様子で評価する。	【地域や学校の特色に応じた課題】 ・真和志フェスティバルの取り組み	・真和志フェスティバルについての意義について知る。 ・真和志フェスティバルで何をするか皆で考える。 ・皆で準備をする。 ・真和志フェスティバルでの取り組みを振り返り感想を記入する。
	(知及技) 学ぶことや働くことの意義、人との付き合い方の大切さについて知り、社会生活に必要なスキルを身に付けることができる。 (思判表力) 自分がどのような行動をしたらよい場面ごとに考え、実践することができる。 (学・人) 主体的・協働的に学習に取り組むことができる。	(知・技) 学ぶことや働くことの意義、人との付き合い方の大切さについて知り、社会生活に必要なスキルを身に付けようとしている。 (思・判・表) 自分がどのような行動をしたらよい場面ごとに考え、実践しようとしている。 (主学) 主体的・協働的に学習に取り組もうとしている。 【評価資料】学習の様子で評価する。	【職業や自己の進路に関する課題】 ・学ぶことや働くことと人との付き合い方 *前期就業体験実習 *後期就業体験実習 ・進路先に向けて ・卒業式に向けての取り組み	・就業体験実習を行い、社会生活に必要なことを学ぶ。 ・進路先について考える。 ・卒業式の練習に取り組む。
留意点 引継ぎ等	年間を通じて、真和志高等学校との交流及び共同学習を行い、障害の有無に関わらず共に学ぶ経験を重ね、社会性を養う。			

令和6年度 高等部1年（Ⅱ課程Aグループ）特別活動 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	ゆい教室1学年 1名		

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技） 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身につけることができる。 （思判表力） 集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができる。 （学・人） 主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
前期	16	【ホームルーム活動】 （知及技） 基本的な生活習慣、学校生活のきまり、社会生活におけるルールやマナー及びその意義について理解し、実践する力を身に付けることができる。 （思判表力） 多様な場面で自分と異なる考えや他者を尊重し、認め合いながら、支え合ったり補い合ったりして、協働して取り組むことができる。 （学・人） 学級や学年の一員として、助け合ったり協力し合ったりし、新たな環境のもとで人間関係を築こうとする態度を養うことができる。	【ホームルーム活動】 （知・技） 基本的な生活習慣、学校生活のきまり、社会生活におけるルールやマナー及びその意義について理解し、教師の支援を受けながら実践する力を身に付けようとしている。 （思・判・表） 多様な場面で自分と異なる考えや他者を尊重し、認め合いながら、支え合ったり補い合ったりして、協働して取り組もうとしている。 （主学） 学級や学年の一員として、助け合ったり協力し合ったりし、新たな環境のもとで人間関係を築こうとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	・学級開き ・前期HR役員決め ・学級目標や係決め ・宿泊学習計画について ・キャリアパスポート	・連携学級の担任や級友を知る。 ・HR役員決めに参加する。 ・学級目標や係決めに参加する。 ・宿泊学習の計画を確認する。 ・自己紹介を考え記入をする。 ・前期の振り返りをする。
		【生徒会活動】 （知及技） 異年齢の生徒同士で協力し、交流することができる。 （思判表力） 交流を通して、よりよい人間関係を形成することができる。 （学・人） 生徒会の取り組みに、自主的・実践的に参加することができる。	【生徒会活動】 （知・技） 異年齢の生徒同士で協力し、交流しようとしている。 （思・判・表） 交流を通して、よりよい人間関係を形成しようとしている。 （主学） 生徒会の取り組みに、自主的・実践的に参加しようとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	・HR役員認証式、対面式、部紹介 ・生徒総会 ・生徒会会長選挙	・各学級のHR役員を知る。 ・同学年や先輩方と顔を合わせる。 ・各部活動の紹介を聞き、部活動の様子を知る。 ・生徒会役員紹介や活動内容を知る。 ・生徒会会長への立候補者の演説を聞き、ふさわしいと思う一人を選択する。
		【学校行事（儀式的行事）】 （知及技） 儀式的行事の意義を理解し、規律のある行動を身に付けることができる。 （思判表力） 学校生活の節目の場においてこれまでの生活を振り返ったり、これからの学校生活を見通したりしながら、場面にふさわしい行動ができる。 （学・人） 儀式的行事を通して、新たな生活への希望や意欲につなげることができる。	【学校行事（儀式的行事）】 （知・技） 儀式的行事の意義を理解し、規律のある行動を身に付けようとしている。 （思・判・表） 学校生活の節目の場においてこれまでの生活を振り返ったり、これからの学校生活を見通したりしながら、教師の支援を受けながら場面にふさわしい行動をしようとしている。 （主学） 儀式的行事を通して、新たな生活への希望や意欲につなげようとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	・入学式、前期終業式 ・夏季休業前全体集会	・厳粛な場におけるマナー等の規律のある行動の仕方について学ぶ。 ・儀式的行事にふさわしい服装・身なりの実施。 ・夏休みの正しい過ごし方について確認をする。
		【学校行事（儀式的行事）】 （知及技） 儀式的行事の意義を理解し、規律のある行動を身に付けることができる。 （思判表力） 学校生活の節目の場においてこれまでの生活を振り返ったり、これからの学校生活を見通したりしながら、場面にふさわしい行動ができる。 （学・人） 儀式的行事を通して、新たな生活への希望や意欲につなげることができる。	【学校行事（儀式的行事）】 （知・技） 儀式的行事の意義を理解し、規律のある行動を身に付けようとしている。 （思・判・表） 学校生活の節目の場においてこれまでの生活を振り返ったり、これからの学校生活を見通したりしながら、教師の支援を受けながら場面にふさわしい行動をしようとしている。 （主学） 儀式的行事を通して、新たな生活への希望や意欲につなげようとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	・後期始業式・修了式 ・卒業式 ・冬季休業前全体集会	・厳粛な場におけるマナー等の規律のある行動の仕方について学ぶ。 ・儀式的行事にふさわしい服装・身なりの実施。 ・冬休みの正しい過ごし方について確認をする。

後 期	19	【ホームルーム活動】 (知及技) 基本的な生活習慣、学校生活のきまり、社会生活におけるルールやマナー及びその意義について理解し、実践する力を身に付けることができる。 (思判表力) 多様な場面で自分と異なる考えや他者を尊重し、認め合いながら、支え合ったり補い合ったりして、協働して取り組むことができる。 (学・人) 学級や学年の一員として、助け合ったり協力し合ったりし、新たな環境のもとで人間関係を築こうとする態度を養うことができる。	【ホームルーム活動】 (知・技) 基本的な生活習慣、学校生活のきまり、社会生活におけるルールやマナー及びその意義について理解し、教師の支援を受けながら実践する力を身に付けようとしている。 (思・判・表) 多様な場面で自分と異なる考えや他者を尊重し、認め合いながら、支え合ったり補い合ったりして、協働して取り組もうとしている。 (主学) 学級や学年の一員として、助け合ったり協力し合ったりし、新たな環境のもとで人間関係を築こうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・真和志フェスティバルの取り組み ・キャリアパスポート	・真和志フェスティバルに向けての話し合いに参加する。 ・後期に頑張りたいことの目標を立てる。 ・1年間の振り返りをする。
		【学校行事（文化的・集团的行事）】 (知及技) 文化的・集团的行事の意義を理解し、他の生徒と協力して日頃の活動の成果を発表したり、美しいものや優れたものを創り出し、自ら発表し合ったり芸術的なものや伝統文化を鑑賞したりする活動に必要な知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 周りと協力してよいよいものをつくり出し、互いに発表し合うことにより、自他の個性を認め、互いに高め合うことができる。 (学・人) 文化的・集团的行事を通して、自己の成長を振り返り、自己のよさを伸ばそうとする意欲につなげることができる。	【学校行事（文化的・集团的行事）】 (知・技) 文化的・集团的行事の意義を理解し、教師の支援を受けながら、他の生徒と協力して日頃の活動の成果を発表したり、美しいものや優れたものを創り出し、自ら発表し合ったり芸術的なものや伝統文化を鑑賞したりする活動に必要な知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 教師の支援を受けながら、周りと協力してよいよいものをつくり出し、互いに発表し合うことにより、自他の個性を認め、互いに高め合おうとしている。 (主学) 文化的・集团的行事を通して、自己の成長を振り返り、自己のよさを伸ばそうとする意欲につなげようとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・真和志フェスティバル ・予餞会	・舞台発表をする。 ・他のクラスの発表を観たり出店を見たりする。 ・舞台での演舞を観る。
		【学校行事（健康安全・体育的行事）】 (知及技) 体育的な集団活動の意義を理解し、規律ある集団行動の仕方などを身に付けることができる。 (思判表力) 自己の生活を振り返り、運動や体力の向上に関する課題と解決策について考え、他者と協力して、適切に判断し行動することができる。 (学・人) 運動に親しみ、体力の向上に積極的に取り組もうとする態度を養うことができる。	【学校行事（健康安全・体育的行事）】 (知・技) 体育的な集団活動の意義を理解し、教師の支援を受けながら、規律ある集団行動の仕方などを身に付けようとしている。 (思・判・表) 自己の生活を振り返り、教師の支援を受けながら、運動や体力の向上に関する課題と解決策について考え、他者と協力して、適切に判断し行動しようとしている。 (主学) 運動に親しみ、体力の向上に積極的に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・スポレク	・スポーツレク大会に参加する。 ・連携学級の応援をする。
		【学校行事（勤労生産・奉仕的行事）】 (知及技) 勤労の意義と尊さ、社会的・職業的な自立について理解し、ボランティア活動などの体験活動の仕方について必要な知識及び技能を身に付けることができる。 (思判表力) 勤労生産や奉仕に関して集団や社会に必要なことを見だし、自分のできることを判断し、多様な他者とともに考え、協働して実践することができる。 (学・人) 勤労生産や奉仕に関わる活動に積極的に取り組み、人間としての在り方生き方に関する自覚を深めたり、勤労観や職業観を醸成したりして、社会に貢献しようとする態度を養うことができる。	【学校行事（勤労生産・奉仕的行事）】 (知・技) 教師の支援を受けながら、勤労の意義と尊さ、社会的・職業的な自立について理解し、ボランティア活動などの体験活動の仕方について必要な知識及び技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 勤労生産や奉仕に関して集団や社会に必要なことを見だし、教師の支援を受けながら、自分のできることを判断し、多様な他者とともに考え、協働して実践しようとしている。 (主学) 勤労生産や奉仕に関わる活動に積極的に取り組み、教師の支援を受けながら、人間としての在り方生き方に関する自覚を深めたり、勤労観や職業観を醸成したりして、社会に貢献しようとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・環境について考える	・連携学級と一緒に、校内の草取りやゴミ捨てなどの環境美化に努める。
		・年間を通じて、真和志高等学校との交流及び共同学習を行い、障害の有無に関わらず共に学ぶ経験を重ね、社会性を養う。			
留意点 引継ぎ等					

令和6年度 高等部2年（Ⅱ課程Aグループ）特別活動 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	ゆい教室2学年 1名		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けることができる。 (思判表力) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができる。 (学・人) 主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
前期	16	【ホームルーム活動】 (知及技) 基本的な生活習慣、学校生活のきまり、社会生活におけるルールやマナー及びその意義について理解し、実践する力を身に付けることができる。 (思判表力) 多様な場面で自分と異なる考えや他者を尊重し、認め合いながら、支え合ったり補い合ったりして、協働して取り組むことができる。 (学・人) 学級や学年の一員として、助け合ったり協力し合ったりし、新たな環境のもとで人間関係を築こうとする態度を養うことができる。	【ホームルーム活動】 (知・技) 基本的な生活習慣、学校生活のきまり、社会生活におけるルールやマナー及びその意義について理解し、教師の支援を受けながら実践する力を身に付けようとしている。 (思・判・表) 多様な場面で自分と異なる考えや他者を尊重し、認め合いながら、支え合ったり補い合ったりして、協働して取り組もうとしている。 (主学) 学級や学年の一員として、助け合ったり協力し合ったりし、新たな環境のもとで人間関係を築こうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・学級開き ・前期HR役員決め ・学級目標や係決め ・校外学習計画について ・キャリアパスポート	・連携学級の担任や級友を知る。 ・HR役員決めに参加する。 ・学級目標や係決めに参加する。 ・校外学習の計画を確認する。 ・自己紹介を考え記入をする。 ・前期の振り返りをする。
		【生徒会活動】 (知及技) 異年齢の生徒同士で協力し、交流することができる。 (思判表力) 交流を通して、よりよい人間関係を形成することができる。 (学・人) 生徒会の取り組みに、自主的・実践的に参加することができる。	【生徒会活動】 (知・技) 異年齢の生徒同士で協力し、交流しようとしている。 (思・判・表) 交流を通して、よりよい人間関係を形成しようとしている。 (主学) 生徒会の取り組みに、自主的・実践的に参加しようとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・HR役員認証式、対面式、部紹介 ・生徒総会	・各学級のHR役員を知る。 ・同学年や先輩方と顔を合わせる。 ・各部活動の紹介を聞き、部活動の様子を知る。 ・生徒会役員紹介や活動内容を知る。
		【生徒会活動】 (知及技) 生徒会役員選挙の意義について理解し、選挙公約を聞くことができる。 (思判表力) 選挙公約等を聞き、立候補者の中から自分で選び、投票することができる。 (学・人) 積極的に学校生活の充実と向上に向けて、生徒会役員選挙に取り組む態度を養うことができる。	【生徒会活動】 (知・技) 教師の支援を受けながら、生徒会役員選挙の意義について理解し、選挙公約を聞くことができる。 (思・判・表) 選挙公約等を聞き、立候補者の中から自分で選び、投票しようとしている。 (主学) 積極的に学校生活の充実と向上に向けて、生徒会役員選挙に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・生徒会役員選挙	・生徒会役員選挙の演説を聞き、投票をする。
	19	【学校行事（儀式的行事）】 (知及技) 儀式的行事の意義を理解し、規律のある行動を身に付けることができる。 (思判表力) 学校生活の節目の場においてこれまでの生活を振り返ったり、これからの学校生活を見通したりしながら、場面にふさわしい行動ができる。 (学・人) 儀式的行事を通して、新たな生活への希望や意欲につなげることができる。	【学校行事（儀式的行事）】 (知・技) 儀式的行事の意義を理解し、規律のある行動を身に付けようとしている。 (思・判・表) 学校生活の節目の場においてこれまでの生活を振り返ったり、これからの学校生活を見通したりしながら、教師の支援を受けながら場面にふさわしい行動をしようとしている。 (主学) 儀式的行事を通して、新たな生活への希望や意欲につなげようとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・後期始業式・修了式 ・卒業式 ・冬季休業前全体集会	・厳粛な場におけるマナー等の規律のある行動の仕方について学ぶ。 ・儀式的行事にふさわしい服装・身なりの実施。 ・冬休みの正しい過ごし方について確認をする。

後期	【ホームルーム活動】 (知・技) 基本的な生活習慣、学校生活のきまり、社会生活におけるルールやマナー及びその意義について理解し、実践する力を身に付けることができる。 (思・判・表力) 多様な場面で自分と異なる考えや他者を尊重し、認め合いながら、支え合ったり補い合ったりして、協働して取り組むことができる。 (学・人) 学級や学年の一員として、助け合ったり協力し合ったりし、新たな環境のもとで人間関係を築こうとする態度を養うことができる。	【ホームルーム活動】 (知・技) 基本的な生活習慣、学校生活のきまり、社会生活におけるルールやマナー及びその意義について理解し、教師の支援を受けながら実践する力を身に付けようとしている。 (思・判・表力) 多様な場面で自分と異なる考えや他者を尊重し、認め合いながら、支え合ったり補い合ったりして、協働して取り組もうとしている。 (主・学) 学級や学年の一員として、助け合ったり協力し合ったりし、新たな環境のもとで人間関係を築こうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・真和志フェスティバルの取り組み ・キャリアパスポート	・真和志フェスティバルに向けての話し合いに参加する。 ・後期に頑張りたいことの目標を立てる。 ・1年間の振り返りをする。
	【学校行事（文化的・集团的行事）】 (知・技) 文化的・集团的行事の意義を理解し、他の生徒と協力して日頃の活動の成果を発表したり、美しいものや優れたものを創り出し、自ら発表し合ったり芸術的なものや伝統文化を鑑賞したりする活動に必要な知識や技能を身に付けることができる。 (思・判・表力) 周りと協力してよいよいものをつくり出し、互いに発表し合うことにより、自他の個性を認め、互いに高め合うことができる。 (学・人) 文化的・集团的行事を通して、自己の成長を振り返り、自己のよさを伸ばそうとする意欲につなげることができる。	【学校行事（文化的・集团的行事）】 (知・技) 文化的・集团的行事の意義を理解し、教師の支援を受けながら、他の生徒と協力して日頃の活動の成果を発表したり、美しいものや優れたものを創り出し、自ら発表し合ったり芸術的なものや伝統文化を鑑賞したりする活動に必要な知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表力) 教師の支援を受けながら、周りと協力してよいよいものをつくり出し、互いに発表し合うことにより、自他の個性を認め、互いに高め合うようとしている。 (主・学) 文化的・集团的行事を通して、自己の成長を振り返り、自己のよさを伸ばそうとする意欲につなげようとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・真和志フェスティバル ・予餞会	・展示発表をする。 ・他のクラスの発表を観たり出店を見たりする。 ・舞台での演舞を観る。
	【学校行事（健康安全・体育的行事）】 (知・技) 体育的な集団活動の意義を理解し、規律ある集団行動の仕方などを身に付けることができる。 (思・判・表力) 自己の生活を振り返り、運動や体力の向上に関する課題と解決策について考え、他者と協力して、適切に判断し行動することができる。 (学・人) 運動に親しみ、体力の向上に積極的に取り組もうとする態度を養うことができる。	【学校行事（健康安全・体育的行事）】 (知・技) 体育的な集団活動の意義を理解し、教師の支援を受けながら、規律ある集団行動の仕方などを身に付けようとしている。 (思・判・表力) 自己の生活を振り返り、教師の支援を受けながら、運動や体力の向上に関する課題と解決策について考え、他者と協力して、適切に判断し行動しようとしている。 (主・学) 運動に親しみ、体力の向上に積極的に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・スポレク	・スポーツレク大会に参加する。 ・連携学級の応援をする。
	【学校行事（勤労生産・奉仕的行事）】 (知・技) 勤労の意義と尊さ、社会的・職業的な自立について理解し、ボランティア活動などの体験活動の仕方について必要な知識及び技能を身に付けることができる。 (思・判・表力) 勤労生産や奉仕に関して集団や社会に必要なことを見だし、自分のできることを判断し、多様な他者とともに考え、協働して実践することができる。 (学・人) 勤労生産や奉仕に関わる活動に積極的に取り組み、人間としての在り方生き方に関する自覚を深めたり、勤労観や職業観を醸成したりして、社会に貢献しようとする態度を養うことができる。	【学校行事（勤労生産・奉仕的行事）】 (知・技) 教師の支援を受けながら、勤労の意義と尊さ、社会的・職業的な自立について理解し、ボランティア活動などの体験活動の仕方について必要な知識及び技能を身に付けようとしている。 (思・判・表力) 勤労生産や奉仕に関して集団や社会に必要なことを見だし、教師の支援を受けながら、自分のできることを判断し、多様な他者とともに考え、協働して実践しようとしている。 (主・学) 勤労生産や奉仕に関わる活動に積極的に取り組み、教師の支援を受けながら、人間としての在り方生き方に関する自覚を深めたり、勤労観や職業観を醸成したりして、社会に貢献しようとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・環境について考える	・連携学級と一緒に、校内の草取りやゴミ捨てなどの環境美化に努める。
留意点 引継ぎ等	年間を通じて、真和志高等学校との交流及び共同学習を行い、障害の有無に関わらず共に学ぶ経験を重ね、社会性を養う。			

令和6年度 高等部3年（Ⅱ課程Aグループ）特別活動 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1／35	ゆい教室3学年 2名		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身につけるようにする。 (思判表力) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 (学・人) 主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
前期	16	【ホームルーム活動】 (知及技) 基本的な生活習慣、学校生活のきまり、社会生活におけるルールやマナー及びその意義について理解し、実践する力を身に付けることができる。 (思判表力) 多様な場面で自分と異なる考えや他者を尊重し、認め合いながら、支え合ったり補い合ったりして、協働して取り組むことができる。 (学・人) 学級や学年の一員として、助け合ったり協力し合ったりし、新たな環境のもとで人間関係を築こうとする態度を養うことができる。	【ホームルーム活動】 (知・技) 基本的な生活習慣、学校生活のきまり、社会生活におけるルールやマナー及びその意義について理解し、教師の支援を受けながら実践する力を身に付けようとしている。 (思・判・表) 多様な場面で自分と異なる考えや他者を尊重し、認め合いながら、支え合ったり補い合ったりして、協働して取り組もうとしている。 (主学) 学級や学年の一員として、助け合ったり協力し合ったりし、新たな環境のもとで人間関係を築こうとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	・学級開き ・前期HR役員決め ・学級目標や係決め ・校外学習計画について ・キャリアパスポート ・後期HR役員決め	・連携学級の担任や級友を知る。 ・HR役員決めに参加する。 ・学級目標や係決めに参加する。 ・校外学習の計画を確認する。 ・キャリアパスポート ・自己紹介を考え記入をする。 ・前期の振り返りをする。
		【生徒会活動】 (知及技) 異年齢の生徒同士で協力し、交流することができる。 (思判表力) 交流を通して、よりよい人間関係を形成することができる。 (学・人) 生徒会の取り組みに、自主的・実践的に参加することができる。	【生徒会活動】 (知・技) 異年齢の生徒同士で協力し、交流しようとしている。 (思・判・表) 交流を通して、よりよい人間関係を形成しようとしている。 (主学) 生徒会の取り組みに、自主的・実践的に参加しようとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	・HR役員認証式、対面式、部紹介 ・生徒総会 ・生徒会長選挙	・各学級のHR役員を知る。 ・同学年や先輩方と顔を合わせる。 ・各部活動の紹介を聞き、部活動の様子を知る。 ・生徒会役員紹介や活動内容を知る。 ・生徒会長への立候補者の演説を聞き、ふさわしいと思う一人を選択する。
		【学校行事（儀式的行事）】 (知及技) 儀式的行事の意義を理解し、規律のある行動を身に付けることができる。 (思判表力) 学校生活の節目の場においてこれまでの生活を振り返ったり、これからの学校生活を見通したりしながら、場面にふさわしい行動ができる。 (学・人) 儀式的行事を通して、新たな生活への希望や意欲につなげることができる。	【学校行事（儀式的行事）】 (知・技) 儀式的行事の意義を理解し、規律のある行動を身に付けようとしている。 (思・判・表) 学校生活の節目の場においてこれまでの生活を振り返ったり、これからの学校生活を見通したりしながら、教師の支援を受けながら場面にふさわしい行動をしようとしている。 (主学) 儀式的行事を通して、新たな生活への希望や意欲につなげようとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	・前期始業式 ・夏季休業前LHR ・夏季休業明け全体集会 ・前期終了LHR	・厳粛な場におけるマナー等の規律のある行動の仕方について学ぶ。 ・儀式的行事にふさわしい服装・身なりの実施。 ・夏休みの正しい過ごし方について確認をする。
		【学校行事（儀式的行事）】 (知及技) 儀式的行事の意義を理解し、規律のある行動を身に付けることができる。 (思判表力) 学校生活の節目の場においてこれまでの生活を振り返ったり、これからの学校生活を見通したりしながら、場面にふさわしい行動ができる。 (学・人) 儀式的行事を通して、新たな生活への希望や意欲につなげることができる。	【学校行事（儀式的行事）】 (知・技) 儀式的行事の意義を理解し、規律のある行動を身に付けようとしている。 (思・判・表) 学校生活の節目の場においてこれまでの生活を振り返ったり、これからの学校生活を見通したりしながら、教師の支援を受けながら場面にふさわしい行動をしようとしている。 (主学) 儀式的行事を通して、新たな生活への希望や意欲につなげようとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	・冬季休業前LHR ・冬季休業明け全体集会 ・卒業式に向けて	・厳粛な場におけるマナー等の規律のある行動の仕方について学ぶ。 ・儀式的行事にふさわしい服装・身なりの実施。 ・冬休みの正しい過ごし方について確認をする。

後期	19	【ホームルーム活動】 (知・技) 基本的な生活習慣、学校生活のきまり、社会生活におけるルールやマナー及びその意義について理解し、実践する力を身に付けることができる。 (思・判・表) 多様な場面で自分と異なる考えや他者を尊重し、認め合いながら、支え合ったり補い合ったりして、協働して取り組むことができる。 (学・人) 学級や学年の一員として、助け合ったり協力し合ったりし、新たな環境のもとで人間関係を築こうとする態度を養うことができる。	【ホームルーム活動】 (知・技) 基本的な生活習慣、学校生活のきまり、社会生活におけるルールやマナー及びその意義について理解し、教師の支援を受けながら実践する力を身に付けようとしている。 (思・判・表) 多様な場面で自分と異なる考えや他者を尊重し、認め合いながら、支え合ったり補い合ったりして、協働して取り組もうとしている。 (主・学) 学級や学年の一員として、助け合ったり協力し合ったりし、新たな環境のもとで人間関係を築こうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・真和志フェスティバルの取り組み ・キャリアパスポート	・真和志フェスティバルに向けての話し合いに参加する。 ・後期に頑張りたいことの目標を立てる。 ・1年間の振り返りをする。
		【学校行事（文化的・集团的行事）】 (知・技) 文化的・集团的行事の意義を理解し、他の生徒と協力して日頃の活動の成果を発表したり、美しいものや優れたものを創り出し、自ら発表し合ったり芸術的なものや伝統文化を鑑賞したりする活動に必要な知識や技能を身に付けることができる。 (思・判・表) 周りと協力してよいよいものをつくり出し、互いに発表し合うことにより、自他の個性を認め、互いに高め合うことができる。 (学・人) 文化的・集团的行事を通して、自己の成長を振り返り、自己のよさを伸ばそうとする意欲につなげることができる。	【学校行事（文化的・集团的行事）】 (知・技) 文化的・集团的行事の意義を理解し、教師の支援を受けながら、他の生徒と協力して日頃の活動の成果を発表したり、美しいものや優れたものを創り出し、自ら発表し合ったり芸術的なものや伝統文化を鑑賞したりする活動に必要な知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 教師の支援を受けながら、周りと協力してよいよいものをつくり出し、互いに発表し合うことにより、自他の個性を認め、互いに高め合おうとしている。 (主・学) 文化的・集团的行事を通して、自己の成長を振り返り、自己のよさを伸ばそうとする意欲につなげようとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・真和志フェスティバル ・予餞会	・皆で販売に取り組む。 ・他のクラスの発表を観たり、出店を見たりする。
		【学校行事（健康安全・体育的行事）】 (知・技) 体育的な集団活動の意義を理解し、規律ある集団行動の仕方などを身に付けることができる。 (思・判・表) 自己の生活を振り返り、運動や体力の向上に関する課題と解決策について考え、他者と協力して、適切に判断し行動することができる。 (学・人) 運動に親しみ、体力の向上に積極的に取り組もうとする態度を養うことができる。	【学校行事（健康安全・体育的行事）】 (知・技) 体育的な集団活動の意義を理解し、教師の支援を受けながら、規律ある集団行動の仕方などを身に付けようとしている。 (思・判・表) 自己の生活を振り返り、教師の支援を受けながら、運動や体力の向上に関する課題と解決策について考え、他者と協力して、適切に判断し行動しようとしている。 (主・学) 運動に親しみ、体力の向上に積極的に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・スボレク選手決め ・M3チャンピオン	・スポーツレク大会に参加する。 ・連携学級の応援をする。 ・皆で楽しくM3チャンピオンに参加する。
		【学校行事（勤労生産・奉仕的行事）】 (知・技) 勤労の意義と尊さ、社会的・職業的な自立について理解し、ボランティア活動などの体験活動の仕方について必要な知識及び技能を身に付けることができる。 (思・判・表) 勤労生産や奉仕に関して集団や社会に必要なことを見だし、自分のできることを判断し、多様な他者とともに考え、協働して実践することができる。 (学・人) 勤労生産や奉仕に関わる活動に積極的に取り組み、人間としての在り方生き方に関する自覚を深めたり、勤労観や職業観を醸成したりして、社会に貢献しようとする態度を養うことができる。	【学校行事（勤労生産・奉仕的行事）】 (知・技) 教師の支援を受けながら、勤労の意義と尊さ、社会的・職業的な自立について理解し、ボランティア活動などの体験活動の仕方について必要な知識及び技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 勤労生産や奉仕に関して集団や社会に必要なことを見だし、教師の支援を受けながら、自分のできることを判断し、多様な他者とともに考え、協働して実践しようとしている。 (主・学) 勤労生産や奉仕に関わる活動に積極的に取り組み、教師の支援を受けながら、人間としての在り方生き方に関する自覚を深めたり、勤労観や職業観を醸成したりして、社会に貢献しようとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・環境について考える	・連携学級と一緒に、校内の草取りやゴミ捨てなどの環境美化に努める。
留意点 引継ぎ等		年間を通じて、真和志高等学校との交流及び共同学習を行い、障害の有無に関わらず共に学ぶ経験を重ね、社会性を養う。			

R6 真和志分教室の時間割

1年次

時間	月	火	水	木	金
1時限	自立	職業	自立	自立	自立
2時限	理科	職業	家庭	英語 英語会話	社会
3時限	音楽 音 I	社会 沖縄の歴史	体育 体育1B	国語	理科 環境の科学
4時限	音楽 音 I	数学 ベーシック英数	体育 体育1B	数学	国語 国語表現
5時限	自立 保育基礎	美術 陶芸一般	LHR	職業	体育 体育1B
6時限	道徳	美術 陶芸一般	総探	職業	体育 体育1B

2年次

時間	月	火	水	木	金
1時限	自立	職業	自立	自立	自立
2時限	国語	職業	家庭	英語 英語会話	社会
3時限	理科	社会 沖縄の歴史	職業	体育 体育2B	理科 環境の科学
4時限	情報	数学 ベーシック英数	数学	体育 体育2B	国語 国語表現
5時限	自立 保育基礎	音楽 沖縄の音楽	LHR	職業	美術 クラフトデザイン
6時限	道徳	音楽 沖縄の音楽	総探	職業	美術 クラフトデザイン

3年次

時間	月	火	水	木	金
1時限	美術 美術Ⅱ	職業	自立	自立	体育 体育3A
2時限	美術 美術Ⅱ	職業	家庭	英語 英語会話	体育 体育3A
3時限	自立	社会 沖縄の歴史	職業	音楽 音Ⅲ	理科
4時限	情報	数学 ベーシック英数	数学	音楽 音Ⅲ	国語 国語表現
5時限	自立 保育基礎	国語	LHR	職業	社会
6時限	道徳	理科	総探	職業	自立

※色塗り部分は真和志高等学校との交流及び共同学習